

# Panasonic



## デジタルビデオカメラ 取扱説明書

品番 NV-C5



上手に使って上手に節電

保証書別添付 この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。  
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

Mini DV  
NTSC



このたびは、デジタルビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

インターネット上にパナソニックビデオ/ビデオカメラのホームページを設けています。アクセスをお待ちしています。  
Panasonic VIDEO HOME PAGE  
<http://www.panasonic.co.jp/avc/video/>

**もくじ** (すぐに撮って、見たい方は、安全の項目をお読みの後、  
♣印の項目をお読みください)

## 安全

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 安全上のご注意(必ずお守りください)..... | 6  |
| 危険 .....                | 7  |
| 警告 .....                | 8  |
| 注意.....                 | 12 |

## 使う前に

|  |    |
|--|----|
| 使う前に.....                              | 15 |
| 各部の名前と働き(本体/リモコン).....                 | 16 |
| バッテリーを充電するときは.....                     | 22 |
| バッテリーを付けるときは.....                      | 22 |
| 電源コンセントにつないで使うときは♣.....                | 24 |
| 車で使うときは.....                           | 24 |
| ウエストホルダー(腰付け)型のバッテリー(VW-VBD5)を使うときは .. | 25 |
| カセットを入れるときは♣.....                      | 26 |
| ファインダーを使うときは.....                      | 28 |
| 液晶モニターを使うときは.....                      | 28 |
| 電源/操作モード切換えスイッチの操作方法.....              | 29 |
| リモコンにボタン電池を入れるときは.....                 | 30 |
| リモコンを使うときは.....                        | 30 |
| グリップベルトを調整するときは.....                   | 32 |
| レンズキャップを付けるときは.....                    | 32 |
| メニュー画面を操作するときは.....                    | 34 |

## 撮る 見る

|  |    |
|--|----|
| 撮るときは♣.....  | 36 |
| 静止画を撮るときは(テープフォトショット/連写フォトショット/デジタル静止画) .....      | 38 |
| より高画質な静止画を撮るときは(プログレッシブ機能) .....                   | 40 |
| 大きくまたは広く(広角に)撮るときは(ズームイン/アウト) .....                | 42 |
| 撮るさらに拡大して撮るときは(デジタルズーム).....                       | 42 |
| 映画のように撮るときは(シネマ) .....                             | 44 |
| 長時間撮影するときは(LPモード) .....                            | 44 |
| ぶれを少なくして撮るときは(手ぶれ補正) .....                         | 46 |
| 風の強いときに撮るときは(風音低減) .....                           | 46 |
| 自分を撮るときは(対面撮影) .....                               | 48 |
| 証明写真サイズで撮るときは(証明写真機能) .....                        | 48 |
| 見その場で見るときは(再生)♣ .....                              | 50 |
| 音量を調整するときは .....                                   | 50 |
| 見たいところをさがすときは(早送り再生/巻戻し再生/可变速サーチ) .....            | 52 |
| 見るスローモーションで再生するときは(スロー再生) .....                    | 54 |
| 静止画の再生と1コマごとの再生をするときは<br>(静止画再生/コマ送り再生/ジョグ再生)..... | 54 |
| テレビで見るときは .....                                    | 56 |

## より楽しく

|  |    |
|--|----|
| 撮影の一時停止中に撮った場面を見るときは(カメラサーチ) .....             | 58 |
| 撮った最後の部分をさがすときは(ブランクサーチ).....                  | 58 |
| 撮った作品の頭出しをするときは(頭出し) .....                     | 60 |
| サーチ逆光で撮るときは(逆光補正) .....                        | 62 |
| 調整手動でピントを合わせて撮るときは(マニュアルフォーカス) .....           | 62 |
| 自然な色合いで撮るときは(白バランス) .....                      | 64 |
| 動きの速いものを撮るときは(電子シャッター).....                    | 66 |
| 明るさを調整して撮るときは(絞り/ゲイン) .....                    | 66 |
| 整いろいろな場面で撮るときは(AE設定) .....                     | 68 |
| 演出(撮影系)スポーツ ポートレート ローライト スポットライト サーフ&スノー ..... | 70 |
| 映像と音声を徐々に現して撮るときは(フェードイン) .....                | 70 |
| 映像と音声を徐々に消して撮るときは(フェードアウト).....                | 70 |

# もくじ(つづき)

## より楽しく

|  |   |    |
|--|---|----|
| 演出<br>(撮影系)  | 特殊効果を使って撮るときは(デジタル機能/デジタル効果) .....                              | 72 |
|  | マルチ&コガメン ワイプ ミックス ストロボ コウカンド キセキ<br>モザイク ミラー ネガポジ セピア モノトーン アート |    |
|  | 子画面を表示するときは(子画面P in P機能) .....                                  | 76 |
|  | 9画面の連続画像を撮るときは(ストロボ マルチモード撮影) .....                             | 78 |
|  | 9画面の任意画像を撮るときは(マニュアル マルチモード撮影) .....                            | 80 |
|  | 再生映像から連続で9画面取り込むときは(ストロボ マルチモード) .....                          | 82 |
|  | 再生映像から任意に9画面取り込むときは(マニュアル マルチモード) .....                         | 84 |
|  | 再生映像からインデックス信号で9画面取り込むときは<br>(インデックス マルチモード) .....              | 86 |
|  | 再生の9画面表示した画像から1枚さがすときは(マルチ画面サーチ) .....                          | 88 |
|  | 映像効果を入れて再生するときは .....   | 90 |
| マルチ ワイプ ミックス ストロボ ネガポジ セピア<br>モノトーン キセキ アート モザイク ミラー |   |    |
| 再生画面を大きく表示するときは(再生ズーム) .....                         | 92  |    |
| カードを入れるときは .....                                     | 94  |    |
| 認識できないカードを使えるようにするには(フォーマット) .....                   | 94  |    |
| 静止画をカードに記録するときは(カードフォトショット) .....                    | 96  |    |
| カードのメモリー画像を再生するときは(カード再生) .....                      | 98  |    |
| カードのメモリー画像をテープに記録するときは .....                         | 100   |    |
| タイトルを入れるときは(タイトルイン) .....                            | 102   |    |
| タイトルを作るときは(タイトル作成) .....                             | 104   |    |
| カードの画像を消去するときは(メモリー消去) .....                         | 106   |    |
| プリント情報をカードに書き込むときは(DPOF設定) .....                     | 108   |    |
| 撮った後に別の音声を入れるときは(アフレコ) .....                         | 110   |    |
| S-VHS (VHS) カセットにコピーするときは(ダビング) .....                | 112   |    |
| デジタルビデオ機器とつないで使うときは(デジタルダビング) .....                  | 114   |    |
| 本機の自動プリント機能を使うときは .....                              | 116   |    |
| デジタルビデオカセットレコーダーをつないで使うときは .....                     | 118   |    |
| 編集コントローラーをつないで使うときは .....                            | 119   |    |
| パソコンにつないで使うときは .....                                 | 120   |    |
| パソコンでカードのメモリー画像を使うときは .....                          | 122   |    |
| 使い終わったら .....  | 122   |    |

## 便利な情報

|  |     |
|--|-----|
| メニュー画面の表示 .....  | 123 |
| お知らせブザーについて .....                                      | 127 |
| 液晶モニター/ファインダーを調整するときは .....                            | 128 |
| 内蔵日付用電池を充電するときは .....                                  | 128 |
| 年月日、時刻を合わせるときは .....                                   | 129 |
| ファインダー/液晶モニターの表示 .....                                 | 130 |
| 撮影のテクニックガイド .....                                      | 134 |
| 使用上のお願い .....  | 135 |
| ビデオカメラ パッテリー カセット マルチメディアカード<br>液晶モニター ファインダー 定期点検のお願い |     |
| つゆつきについて .....   | 138 |
| ヘッドよごれについて .....                                       | 138 |
| オールウェザーパック/レンズフード/ごみ取りカバーについて .....                    | 139 |
| 海外で使うときは .....   | 140 |
| 用語解説 .....   | 142 |
| 故障?と思ったら (Q&A) .....                                   | 147 |
| 仕様 .....   | 152 |
| 保証とアフターサービス (よくお読みください) .....                          | 153 |
| 索引 .....   | 裏表紙 |

付属品をお確かめください。

リモコン  
VEQ2288 (P30)  
ボタン電池  
CR2025 (P30)

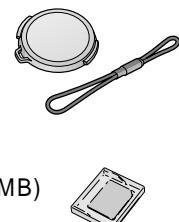


レンズキャップ  
(P32) VYP7023  
レンズキャップひも  
(P32) VGQ5138

液晶クリーナー  
VFC1792 (P137)



マルチメディアカード (4MB)  
VFA0302 (P94)



映像/音声コード  
(ミニジャック対応)  
VJA1028 (P56)



# ● 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」はビデオカメラに共通のものです。記載されているビデオカメラの図は、実物と多少異なりますがご了承ください。

## 危険

バッテリーの充電は、専用の充電器を使う



機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーの液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

バッテリーを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない



液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

バッテリーを指定以外の機器に使わないでください。

バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない



液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

バッテリーの端子部(+)と(-)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

不要(寿命)になったバッテリーについては、136ページをご参照ください。

ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

液もれしたときは:

万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

## ⚠ 警告

煙が出ている、異常に熱い、異常においや音がするときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。  
販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。  
販売店にご相談ください。

外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。  
販売店にご相談ください。  
お客様による修理は絶対におやめください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わない  
また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない



禁止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

接続する前に、指定の電源電圧値の範囲に適合しているか、もう一度確かめてください。

## ⚠ 警告

分解や改造をしない



分解禁止



分解や改造は、火災・感電・故障につながります。

修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。  
お手入れ時で、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

電源コードやプラグを破損させない



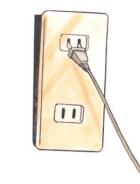
禁止



無理な折り曲げ、ねじり、束ね、引っ張り、加工、熱器具への接近、角のとがったものや重いものの下敷きなどは、電源コードの破損（芯線が見えているなど）となり、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

電源コードやプラグが破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

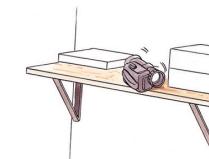


不完全な差し込みは、接触不良で発熱し、火災・感電につながります。

いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。  
プラグは時々点検してください。



禁止



頭や足の上に落下すると、けがにつながるだけでなく、製品の故障にもつながります。

コード類が下に垂れないように注意し、安定したところに置いてください。

## ⚠ 警告

水をかけたり、ぬらしたりしない



内部に水が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

水が入ったと思われるときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない



禁止



交通事故誘発につながります。

運転者が使うときは、車を安全な場所に止めてください。

歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない



ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

乳幼児にご注意ください。

電源プラグのほこりなどは取る



プラグにほこりや金属物が付いていると、湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

プラグを抜き、かわいた布でふいてください。  
プラグは時々点検してください。

## ⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電につながります。

ぬれ手禁止

必ず、かわいた手で持ってください。

不安定な状態で使わない



禁止

特に高所の場合、転落すると、死亡や大けがにつながります。

安定した足場、安定した体勢を確保してください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグにふれない



落雷すると、感電につながります。

接触禁止

ボタン電池は、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って乳幼児が飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

## ⚠ 注意

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品を破損させ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障のおそれがあります。



禁止

ボタン電池を分解、加工（はんだ付けなど）加圧、加熱、火中投入などをしない



禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

内部に熱がこもり、外装ケースが変形するだけでなく、内部の温度が上がり発熱し、火災・感電・故障のおそれがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない



禁止

指定以外を使うと、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

ボタン電池の $\oplus$ ・ $\ominus$ 部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

接触すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。



禁止

ボタン電池は、 $\oplus$ ・ $\ominus$ （極性表示といいます）を確かめ、正しく入れる



間違えると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

## ⚠ 注意

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない



禁止

集光により、内部部品破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災のおそれがあります。



禁止

電源コードを持って抜かない

コード破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

必ず、電源プラグを持ってください。

カセット入れ口（カセット収納部）に指をはさまれないように注意する



指に注意

はさまれたり、内部の金具にふれると、けがをするおそれがあります。



本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。

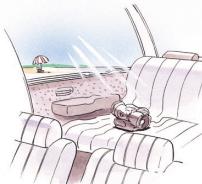
飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

乳幼児にご注意ください。

病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

## ⚠ 注意

高温になるところに放置しない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60以上）になります。カセットテープやビデオカメラ、バッテリー、アダプターなどを絶対に放置しないでください。外装ケースが変形するだけでなく、内部部品も破損し、故障の原因となります。そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところで使わない



禁 止

内部や端子部に水やほこりが入ったり、激しい振動などで内部部品が損傷し、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

3年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。  
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)  
費用についても、そのときお確かめください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く



電源プラグ  
を抜く

お手入れの際に誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災につながるおそれがあります。（テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください）

## 使う前に

まずお読みください！

事前にためし撮りをしてください。大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影（録画）や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません。

本機およびカセット（テープ）、マルチメディアカードの不具合で撮影（録画）や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください。

あなたが撮影（録画）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

マルチメディアカードの画像について  
他機で記録、作成した画像の本機での再生、本機で記録した画像の他機での再生については、保証いたしません。

本書内の写真について

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。実物とは多少異なりますが、ご了承ください。

本書内のイラストについて

本書内の製品姿図・イラストは、実物とは多少異なりますが、ご了承ください。

参照ページについて

参照いただくページを（P00）で示しています。

- 本機で使用できるカセットは  
MiniDVマークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

- 本機で使用できるカードは  
マルチメディアカードです。

- 本機をお使いになるには、別売のアクセサリーキットVW-PDS9が必要です。  
以下の商品が入っています。

- ACアダプター

- ・電源コード
- ・DCコード

- AVワンタッチステーション

- ・S映像コード
- ・映像／音声コード

- バッテリー

- ショルダーベルト

- 本機は、3電源方式です。

- 1) ACアダプター/VW-AD9（別売）を使って、電源コンセントで（P24）

- 2) バッテリー（別売）で（P22）

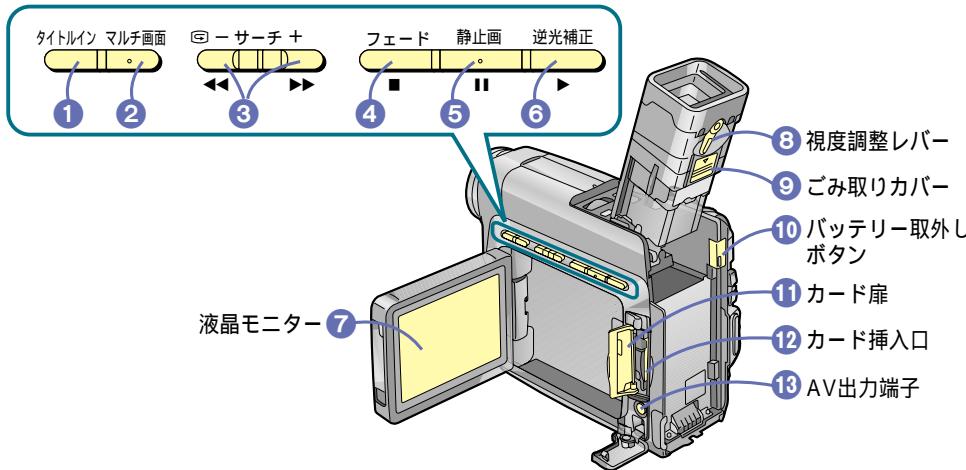
- 3) カーアダプター/VW-KA7（別売）を使って、車のシガレットライターソケットで（P24）

- i.LINKは国際規格IEEE1394-1995仕様の呼称です。

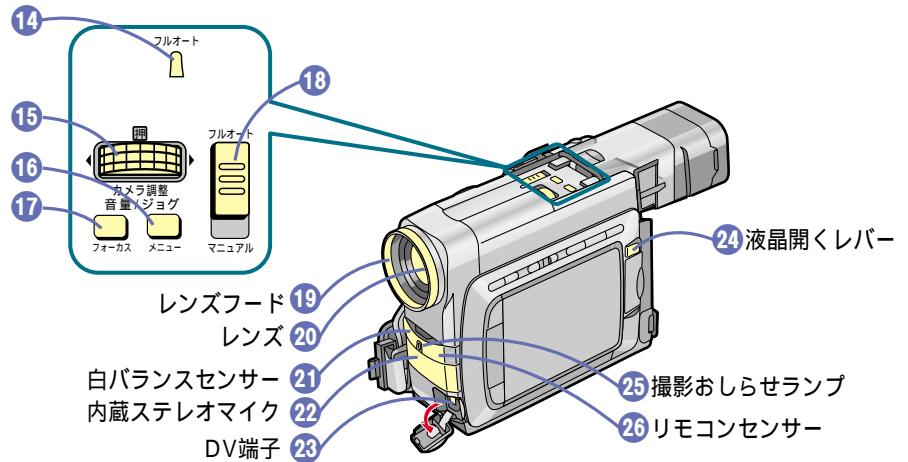
- iはi.LINKに準拠した商品につけられるロゴです。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

# 各部の名前と働き～本体～

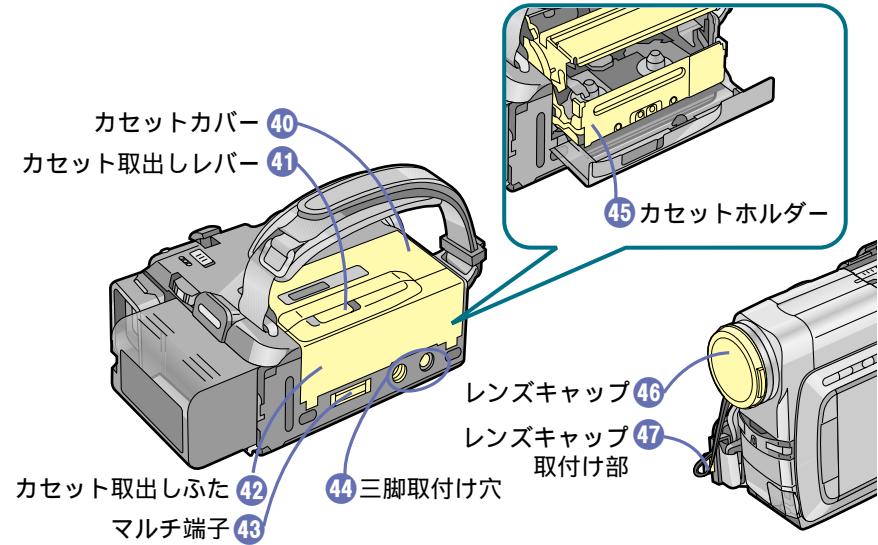
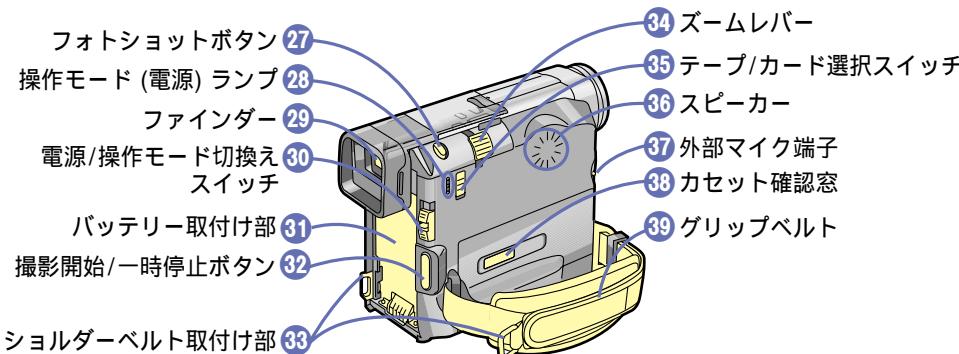


- ① タイトルインボタン 映像にタイトルを入れるとき、消すときには使います。(P102)
- ② マルチ画面ボタン マルチ画面表示にするときに使います。(P78~89、98、102)
- ③ サーチ/巻戻し(◀◀)/撮影チェック(⌚)/早送り(▶▶)ボタン 撮影：カメラサーチ(P58)、撮影チェック(P36)をします。 再生：巻戻し・巻戻し再生・早送り・早送り再生します。(P50、52) カード再生：カードのメモリー画像を送り戻し再生します。(P98)
- ④ フェード/停止(■)ボタン 撮影：フェード効果に使います。(P70) 再生：テープ走行を停止します。(P50) カード再生：カードのメモリー画像の連続再生を停止します。(P98)
- ⑤ 静止画(■)ボタン 撮影：静止画にします。(P38) 2回押すと、子画面静止画が出ます。(P76) 再生：静止画再生します。(P54)
- ⑥ 逆光補正/再生(▶)ボタン 撮影：逆光補正します。(P62) 再生：再生します。(P50) 2度押すと、可変速サーチモードになります。(P52) カード再生：カードのメモリー画像を連続再生します。(P98)
- ⑦ 液晶モニター(P28、128)
- ⑧ 視度調整レバー 視力に合わせてファインダーを調整するときに使います。(P28)
- ⑨ ごみ取りカバー カバーを取り外して、ここからごみを取り除きます。(P139)
- ⑩ バッテリー取外しボタン バッテリーを取り外します。(P23)
- ⑪ カード扉 マルチメディアカードを出し入れするときに開きます。(P94)
- ⑫ カード挿入口 マルチメディアカードを使うときはここからカードを入れます。(P94)



- ⑬ AV出力端子 付属の映像/音声コード(ミニジャック対応)でつなぐとテレビで映像が見られます。(P56)
- ⑭ フルオートランプ フルオート時に点灯します。
- ⑮ マルチプッシュダイヤル メニューの項目選択・設定(P34) マニュアルフォーカスのピント合わせ(P62) 白バランスの選択・設定(P64) 電子シャッター、絞り/ゲインの選択・設定(P66) 音量調整(P50) 再生時のジョグ操作(P52、54) 可変速サーチの速度調整(P52) マルチ画面の画像を選択(P88、98、102、108)
- ⑯ メニューボタン 撮影：撮影系メニューを表示します。(P123) 再生：再生系メニューを表示します。(P126) カード再生：カード再生系メニューを表示します。(P127)
- ⑰ フォーカスボタン 手動でピントを合わせます。(マニュアルフォーカス)(P62)
- ⑱ フルオート・マニュアル切換えスイッチ フルオートとマニュアルを切り替えます。(P62~69)
- ⑲ レンズフード(P139)
- ⑳ レンズ
- ㉑ 白バランスセンサー 白バランスを自動的に切り換えるセンサーです。(P64) 指などでふさがないでください。
- ㉒ 内蔵ステレオマイク(P110)
- ㉓ DV端子 デジタル信号の入出力用端子です。DV端子を持つデジタルビデオ機器と接続します。(P114、118)
- ㉔ 液晶開くレバー 液晶モニターを開くときに使います。(P28)
- ㉕ 撮影おしらせランプ 撮影中に点灯して、撮影していることを知らせます。(P37) リモコン受信時は、点滅します。
- ㉖ リモコンセンサー リモコンからの信号を受けるセンサーです。(P30) 指などでふさがないでください。

# 各部の名前と働き ~本体~ (つづき)

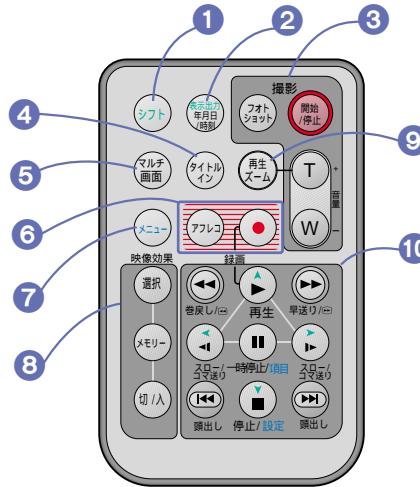


- 27 フォトショットボタン  
③が「テープ」のとき：  
フォトショット画像をテープに記録します。(P38)  
カードのメモリー画像をテープに記録します。(P100)
- 28 操作モード(電源)ランプ  
操作モード(撮影/再生/カード再生)のランプが点灯します。(P29)
- 29 ファインダー  
液晶モニターを閉じたときに、映像を見るところです。(P28、130)  
対面撮影時はファインダーにも映像が映ります。(P48)
- 30 電源/操作モード切換えスイッチ  
電源の「入」「切」操作をします。  
上にずらすごとに操作モードが切りわります。(P29)

- 31 バッテリー取付け部  
バッテリーを付けるところです。(P22)
- 32 撮影開始/一時停止ボタン  
撮影を始めるとき、一時停止するときに使います。(P36)
- 33 ショルダーベルト取付け部  
別売のアクセサリーキットに入っているショルダーベルトを付けます。
- 34 ズームレバー  
ズーム操作に使います。(P42)
- 35 テープ/カード選択スイッチ  
フォトショット画像をテープ、カードのどちらに記録するか選択します。(P38、96)
- 36 スピーカー(P50)
- 37 外部マイク端子  
外部マイクをつなぎます。(P110)
- 38 カセット確認窓  
カセットが入っているかを確認する窓です。(P26)

- 39 グリップベルト  
手の大きさに合わせてグリップベルトを調整できます。(P32)
- 40 カセットカバー  
カセットを入れたあと、ここを閉じます。(P26)
- 41 カセット取出しレバー  
カセット取出しふたを開くときに使います。(P26)
- 42 カセット取出しふた  
開くとカセットホルダーが出ます。(P26)
- 43 マルチ端子  
別売のアクセサリーキットに入っているAVワンタッチステーションを付けるところです。(P56)
- 44 三脚取付け穴  
三脚を取り付けるところです。
- 45 カセットホルダー  
ここにカセットを入れます。(P26)
- 46 レンズキャップ(P32)
- 47 レンズキャップ取付け部  
レンズキャップの裏面のみぞに差し込んで固定します。(P33)

# 各部の名前と働き ~リモコン~



## ① シフトボタン (P92)

再生：再生ズーム時にシフトボタンを押しながら、方向ボタンを押して、再生ズーム位置を変えます。

シフトボタンを押していると、以下のボタンが方向ボタンになります。

再生 (▶) 上方向 (▲)

スロー/コマ送り(◀、▶) 左右方向 (◀、▶)

停止 (■) 下方向 (▼)

## ② 表示出力 / 年月日 / 時刻ボタン

撮影/再生/カード再生：

シフトボタンを押しながら、このボタンを押して、画面の機能表示をテレビに表示させます。(P57)

年月日、時刻を表示させます。(P51)

## ③ 撮影操作 / 音量調整部

フォトショットボタン (P39、97)  
ビデオカメラ本体のボタンと同じ機能です。

撮影開始 / 停止ボタン (P37)

ビデオカメラ本体の「撮影開始/一時停止ボタン」と同じ機能です。

## ④ ズーム / 音量ボタン

撮影：ズーム操作に使います。(P43)

再生：内蔵スピーカーの音量を調整するときを使います。(P51)  
再生ズームの倍率を変えるときを使います。(P92)

## ⑤ タイトルインボタン (P103)

ビデオカメラ本体のボタンと同じ機能です。

## ⑥ マルチ画面ボタン

(P79～89、99、103)

ビデオカメラ本体のボタンと同じ機能です。

## ⑦ 編集 / 録画操作部

アフレコボタン (P110)

再生：アフレコ操作に使います。

## ⑧ 録画ボタン ( ) (P114)

再生：再生ボタンと同時に押して、録画を開始します。

## ⑨ メニュー ボタン (P35)

ビデオカメラ本体のボタンと同じ機能です。

## ⑩ 映像効果部

### 選択ボタン (P90)

再生：「再生キノウ」メニューの「エイゾウコウカ」のモードを設定します。

### メモリー ボタン (P90)

再生：「エイゾウコウカ」のワイプ、ミックス時のメモリー画像を決定するときに使います。

### 切/入ボタン (P90)

再生：選択モードを一時解除するとき、有効にするときに使います。

「エイゾウコウカ」のワイプ、ミックス効果を始めるときにも使います。

## ⑪ 再生ズームボタン (P92)

再生：再生映像を拡大するときに使います。

## ⑫ 再生操作 / メニュー 設定部

### 巻戻しボタン (◀) (P51、53、99)

ビデオカメラ本体のボタンと同じ機能です。

### 早送りボタン (▶) (P53、99)

ビデオカメラ本体のボタンと同じ機能です。

### 再生ボタン (▶)

再生：再生をします。(P51)  
また、録画ボタンと同時に押して、録画します。(P114)

シフトボタンを押しながら、このボタンを押して、再生ズーム画像を上方向に移動するときに使います。(P92)

カード再生：カードのメモリー画像を約5秒ごとに連続再生します。(P99)

## スロー / コマ送りボタン

### (◀、▶)

再生：再生中に押すと、スロー再生、一時停止中に押すと、コマ送り再生になります。(P54)

(◀は逆方向、▶は正方向です)

シフトボタンを押しながら、これらのボタンを押して、再生ズーム画像を左右方向に移動するときに使います。(P92)

## 頭出しボタン (◀◀、▶▶)

再生：撮影した映像を頭出します。(P60)

マルチ画面の画像を頭出します。(P88)

(◀◀は逆方向、▶▶は正方向です。ただし、マルチ画面の頭出しあは正逆の区別はありません)

## 停止ボタン (■)

再生：テープ走行を停止します。(P51)

シフトボタンを押しながら、このボタンを押して、再生ズーム画像を下方向に移動するときに使います。(P92)

メニュー画面表示時は、選んだ項目の値やモードを設定する設定ボタンに変わります。(P35)

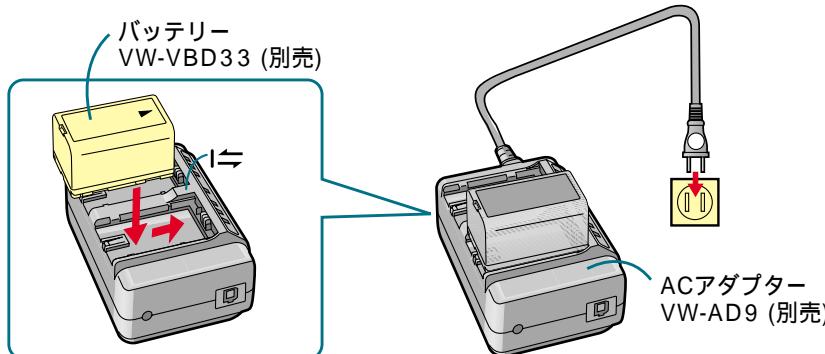
## 一時停止ボタン (■)

再生：静止画再生します。(P54)

メニュー画面表示時は、メニュー内の項目を選ぶ項目ボタンに変わります。(P35)

● バッテリーを充電するときは

● バッテリーを付けるときは



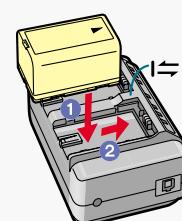
**タイトル**

## バッテリーを充電するときは

バッテリーは充電すると使えるようになります。  
「急速」ランプ点灯で、約1時間の連続撮影が可能になります。  
(急速充電対応のバッテリー充電時)

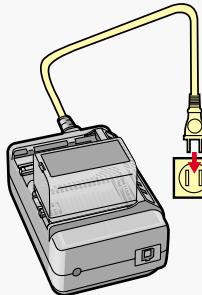
**1**

マークにそって、  
バッテリーを水平  
にのせ、押す



**2**

電源コードをつなぐ



## 充電時間と撮影可能時間について

## ファインダー使用時(緑は液晶モニター使用時)

| バッテリー品番          | 電圧/容量              | 充電時間    | 連続撮影可能時間                  | 間欠撮影可能時間                  | 急速ランプ点灯での連続撮影可能時間 |
|------------------|--------------------|---------|---------------------------|---------------------------|-------------------|
| VW-VBD21<br>(別売) | 7.2 V/<br>800 mAh  | 約1時間    | 約1時間20分<br><b>約1時間5分</b>  | 約40分<br><b>約35分</b>       | 急速充電未対応           |
| VW-VBD22<br>(別売) | 7.2 V/<br>1400 mAh | 約1時間30分 | 約2時間15分<br><b>約1時間55分</b> | 約1時間10分<br><b>約1時間</b>    | 約20分で点灯 約1時間撮影可能  |
| VW-VBD33<br>(別売) | 7.2 V/<br>1500 mAh | 約1時間10分 | 約2時間50分<br><b>約2時間20分</b> | 約1時間25分<br><b>約1時間10分</b> | 約15分で点灯 約1時間撮影可能  |
| VW-VBD25<br>(別売) | 7.2 V/<br>2800 mAh | 約2時間    | 約4時間40分<br><b>約4時間5分</b>  | 約2時間20分<br><b>約2時間5分</b>  | 約15分で点灯 約1時間撮影可能  |
| VW-VBD5<br>(別売)  | 7.2 V/<br>5300 mAh | 約4時間30分 | 約9時間10分<br><b>約7時間40分</b> | 約4時間35分<br><b>約3時間50分</b> | 急速充電未対応           |

上表は常温(温度20°C/湿度60%)での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなります。めやすにしてください。

上表の間欠撮影可能時間とは、撮影、停止などをくり返したときにテープに記録できる時間です。実際にはこれより短くなることがあります。

**お願い／ヒントなど**

DCコードがACアダプターにつながっていると、充電できません。  
アクセサリーキットまたはACアダプターの説明書もよくお読みください。

ビデオカメラからバッテリーを外すときは、電源スイッチを「切」にしてから外してください。

使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また、使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが、故障ではありません。

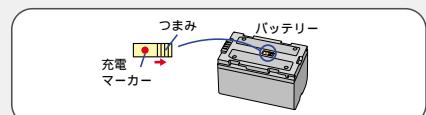
バッテリーの長期保管については、136ページをご参照ください。

ACアダプターの数字(80、100%)は充電量のめやすです。

急速充電対応のバッテリーをACアダプターに付けると、「急速」ランプが点滅します。

## 充電マーカーの利用

充電マーカーのあるバッテリーの場合、充電済みバッテリーのマーカー( )が見えるようにしておくと、未充電のバッテリーと識別することができます。



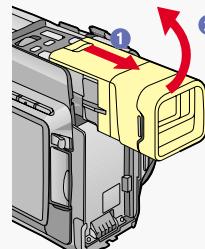
**タイトル**

## バッテリーを付けるときは

充電済みのバッテリーを付けると、ビデオカメラを操作できるようになります。

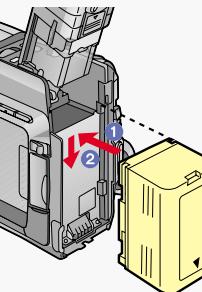
**1**

ファインダーを完全に引いて、上げる



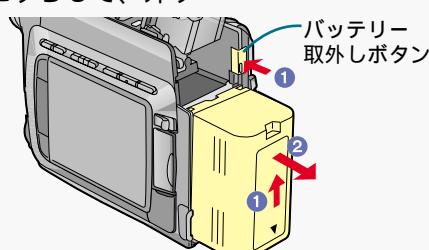
**2**

バッテリーをまっすぐ押しあて、「カチッ」と音がするまで、下にずらす



## バッテリーの外しかた

バッテリー取外しボタンを押しながら、  
上にずらして、外す

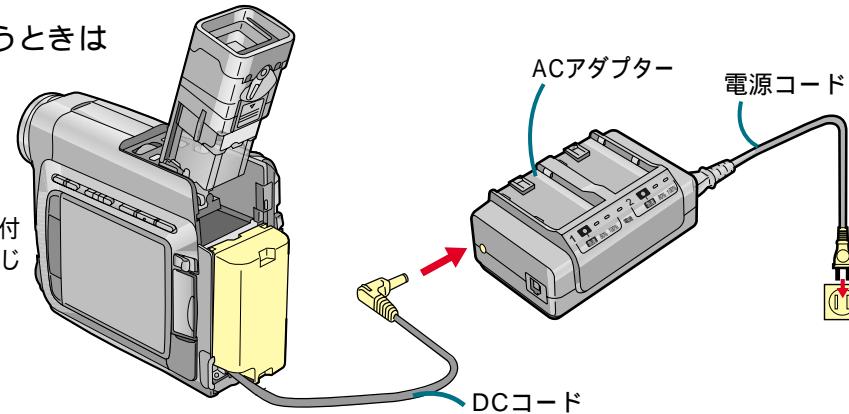


バッテリーを落とさせないように手で支えておいてください。

● 電源コンセントにつないで使うときは

● 車で使うときは

バッテリーを付けるときと同じようにする  
(P22)



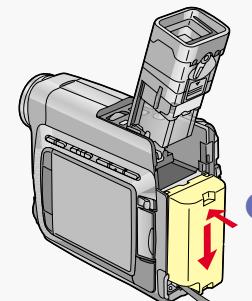
### タイトル

## 電源コンセントにつないで使うときは

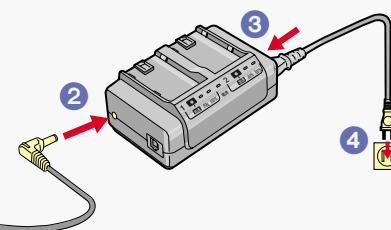
ACアダプター/VW-AD9(別売)を使って、電源コンセントにつなぐと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

DCコード、電源コードはACアダプターに付属しています。

### 1 DCコードをつなぐ



### 2 電源コードをつなぐ



### お願い／ヒントなど

ACアダプターは、海外でも使うことができます。(P140)  
電源を外すときは、電源スイッチを「切」にしてから外してください。  
長時間使用すると、ビデオカメラ本体が温かくなりますが、故障ではありません。  
ACアダプターの説明書もお読みください。

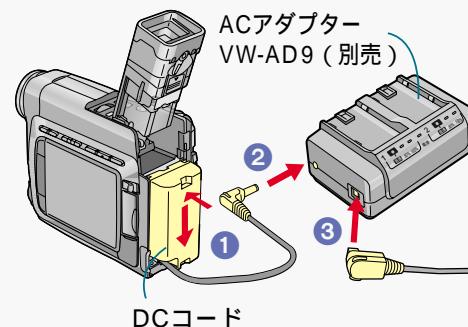
### タイトル

## 車で使うときは

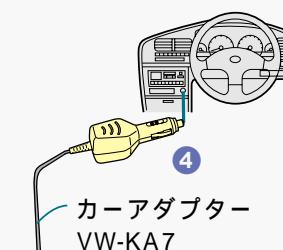
カーアダプター/VW-KA7(別売)を使うと、車のシガレットライターソケットから電源を供給できます。また、バッテリーの充電にも使えます。

DCコードはACアダプターに付属しています。

### 1 車のエンジンをかける



### 2 コードをつなぐ



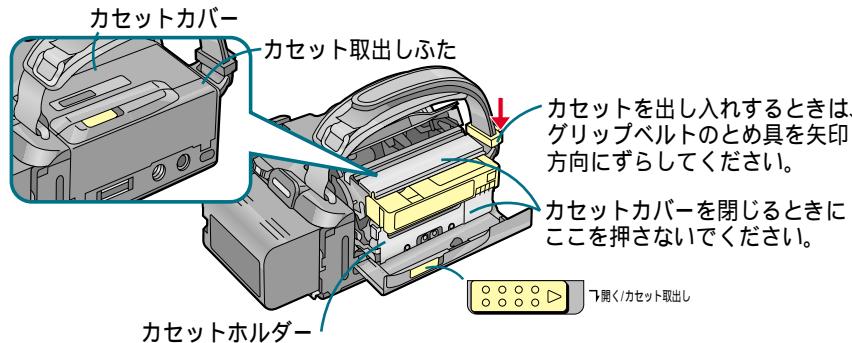
\*電源コードはつながないでください。

### お願い／ヒントなど

カーアダプター、ACアダプターの説明書もお読みください。  
使用後は、必ずシガレットライターソケットから外してください。  
カーアダプター使用時は急速充電できません。  
エンジンをかける前に接続すると、ヒューズが切れるおそれがあります。  
DCコードはACアダプターに付属のものをお使いください。  
電源を外すときは、電源スイッチを「切」にしてから外してください。  
長時間使用すると、ビデオカメラ本体が温かくなりますが、故障ではありません。



## カセットを入れるときは



### タイトル カセットを入れるときは

使用できる当社のカセット  
(99年6月現在)

| カセット品番    | 使用できる時間 |      |
|-----------|---------|------|
|           | SP      | LP   |
| AY-DVM30E | 30分     | 45分  |
| AY-DVM60E | 60分     | 90分  |
| AY-DVM80E | 80分     | 120分 |

SP : Standard Play (標準) の意味です。

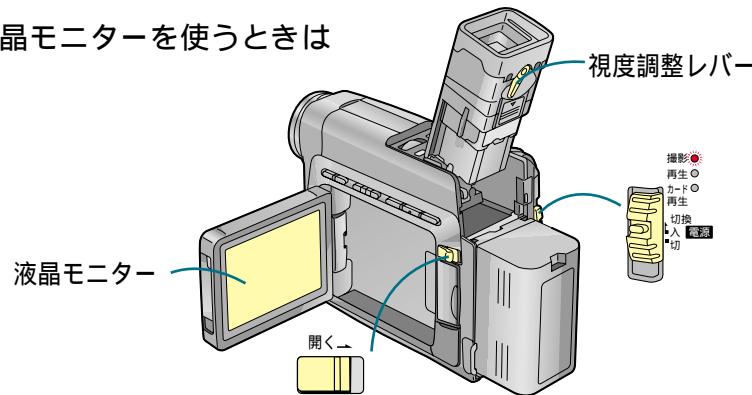
LP : Long Play (長時間) の意味です。  
(P44)

カセットは絶対に高温の場所に置かないでください。テープがいたんで再生時にモザイク状のノイズが出る場合があります。

| タイトル<br>カセットを入れるときは   | 1<br>レバーをずらした<br>状態で、ふたを水<br>平になるまで開く  | 2<br>カセットホルダー<br>が開いてから、カ<br>セットを入れる   | 3<br>カセットカバーを<br>押して、閉じる | 4<br>カセットホルダー<br>が完全に納まっ<br>てから、ふたを閉じる   | お願い／ヒントなど |
|---|--|--|--------------------------|--|-----------|
|   |  |  |                          | <p>カセットを出し入れするときは<br/>カセットカバーを閉じるときはグリップ<br/>ベルトやレンズキャップひもをはさまこ<br/>まないように気を付けてください。<br/>グリップベルトが当たって、カセットホ<br/>ルダーが完全に開かないことがあります<br/>ので、グリップベルトが当たらないよう<br/>に気を付けてください。<br/>カセットを入れるときは方向をよく確か<br/>め最後まで確実に入れてください。<br/>使用途中のカセットを入れたときは、カメ<br/>ラサーチ機能 (P58) を使って、続けて撮<br/>影する部分をさがしておきましょう。特に、<br/>一度使用したカセットに重ね撮りする場<br/>合、必ず続けて撮影する部分をさがしてか<br/>ら、撮影してください。</p> |           |
| <p>カセットの取り出し</p> <p>本機に電源が供給されていれば、本機の電<br/>源スイッチを入れなくても、カセットの出<br/>し入れをすることができます。</p> <p>カセットをまっすぐに抜き取ります。</p> | <p>誤消去防止つまみについて</p> <p>誤って撮影内容を消さないために、カセッ<br/>トの誤消去防止つまみを「SAVE」側 (開<br/>く) にしておくことをおすすめします。こ<br/>うしておくと、撮影ができなくなります。<br/>「REC」側に戻すと、撮影が可能になります。</p> | <p>カセットホルダーが納まらない場合は以<br/>下の処置を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「閉じる」を押してカセットカバーを<br/>確実に閉じる</li> <li>電源スイッチを入れ直す</li> <li>バッテリーが消耗していないか確認する</li> </ul> <p>カセットホルダーが出てこない場合は以<br/>下の処置を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カセット取出しふたを一度完全に閉じ<br/>てから、再度開く</li> <li>バッテリーが消耗していないか確認する</li> </ul> |                          |  |           |

● ファインダーを使うときは

● 液晶モニターを使うときは



### タイトル

## ファインダーを使うときは

ファインダーを使う前に、視力に合わせてファインダー内の文字が一番よく見えるようにします。

### 準備

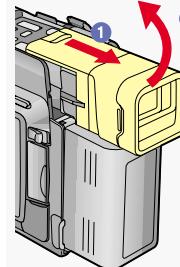
液晶モニターを閉じておいてください。  
液晶モニターが開いているとファインダーは点灯しません。

### 1 「入」にする



中央のボタンを押しながらずらします。

### 2 完全に引いて、上げる

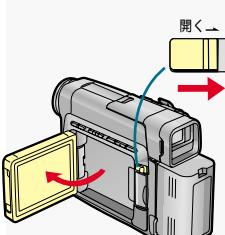


### 1 「入」にする



中央のボタンを押しながらずらします。

### 2 レバーを横にずらして、開く



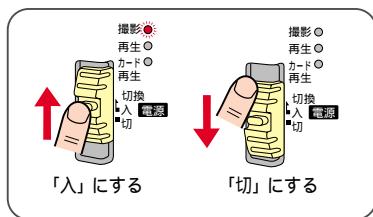
### タイトル

## 液晶モニターを使うときは

液晶モニターを見ながら撮ることもできます。

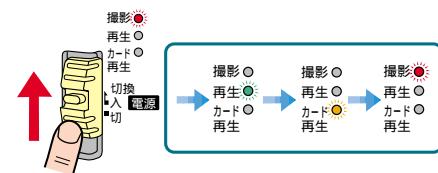
### 電源/操作モード切換えスイッチの操作方法

中央のボタンを押しながら、「入」  
になると、電源が入ります。  
(撮影ランプが点灯します)



「切」にすると、電源が切れます

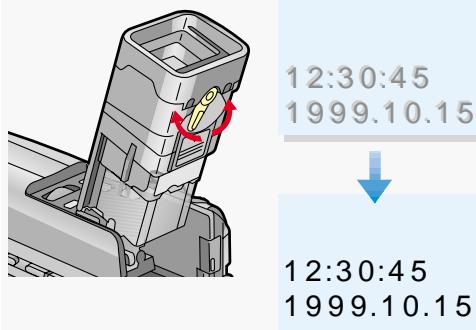
電源を「入」にした後、上にずらして操作モードを切り替えます。  
ずらすごとに「再生」「カード再生」「撮影」と切り換わります。



操作の切り換わり動作中に、スイッチを操作  
しないでください。

### 視度を調整する

視度調整レバーを動かして調整する

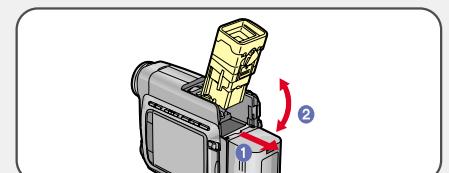


12:30:45  
1999.10.15

12:30:45  
1999.10.15

### お願い／ヒントなど

ファインダー部の角度を変えるときは、  
ファインダーを完全に引き出した状態で  
行ってください。



液晶モニターは確実に閉じてください。  
メニューでファインダーの明るさ、液晶モニターの色の濃さ、明るさが調整できます。(P128)

液晶モニターをレンズ方向に180°回して閉じると、再生映像を見るときなどに便利です。



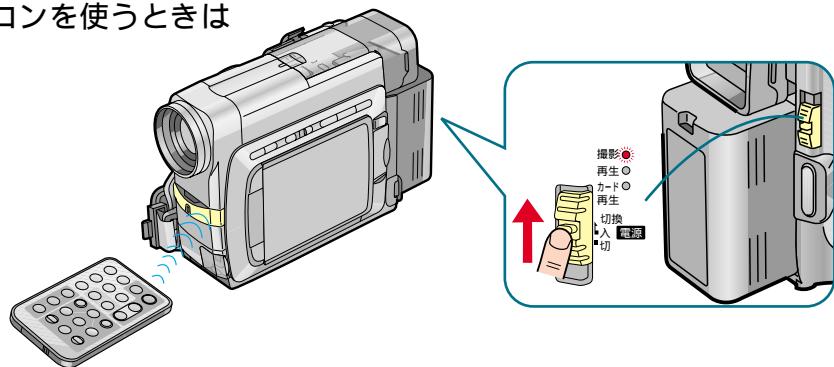
ファインダーは、液晶モニターを開くと消灯します。

液晶モニターを閉じるとファインダーが点灯します。

ただし液晶モニターをレンズ方向へ回転させたとき(対面撮影時)は、ファインダーと液晶モニターが同時に点灯します。(P48)

リモコンにボタン電池を入れるときは

リモコンを使うときは



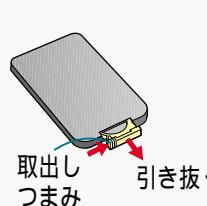
タイトル

リモコンにボタン電池を入れるときは

リモコンを操作する前に、付属のボタン電池をリモコンに入れておきます。

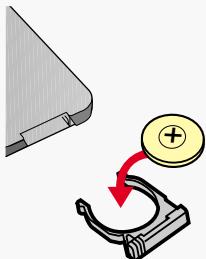
1

取出しつまみを矢印の方向に押しながら引き抜く



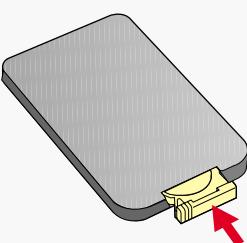
2

⊕マークを上に向け、電池を入れる



3

元に戻す



タイトル

リモコンを使うときは

1

ビデオカメラに電源をつないでおく  
(P22~25)

2

電源を「入」にする



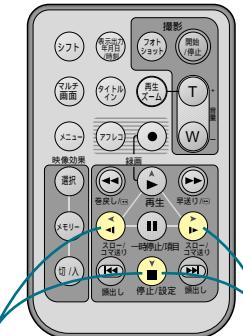
中央のボタンを押しながら、ずらします。撮影ランプが点灯します。点灯後、ずらすごとに操作モードが切り換わります。  
(P29)

リモコンの設定

同時に2台のビデオカメラを使う場合にそれぞれのリモコンとビデオカメラを区別するための設定です。

設定が合っていないときは、画面に「リモコン」表示が出ます。

ボタン電池を交換すると、設定はVTR1になります。



同時に押す  
VTR2用の設定

同時に押す  
VTR1用の設定

ビデオカメラ本体側の設定は、メニューの「リモコン」の項目で設定します。  
(P34、124、126、127)

お願い／ヒントなど

電池の向きは、よく確認して入れてください。

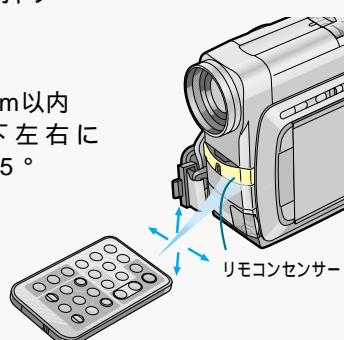
ボタン電池が消耗した場合は、新しいボタン電池(CR2025)と交換してください。

(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です)

ボタン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

3

リモコンセンサーに向けてリモコンの操作ボタンを押す



距離：約5m以内  
角度：上下左右に  
約15°

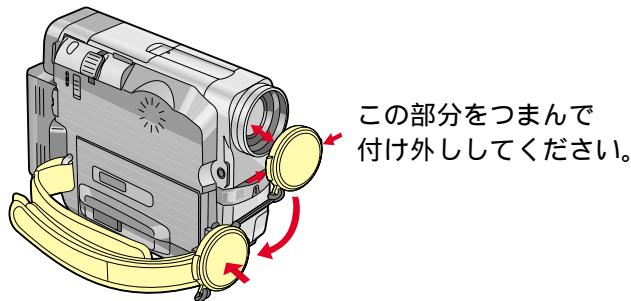
お願い／ヒントなど

リモコンの操作範囲は、室内で使用したときの値です。屋外やリモコンセンサー部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

近距離(約1m以内)で操作するときは、センサー横(液晶モニター側)からもリモコン操作ができます。

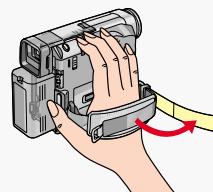
● グリップベルトを調整するときは

● レンズキャップを付けるときは

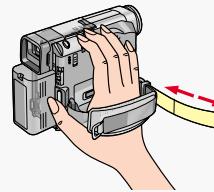


## タイトル グリップベルトを調整するときは

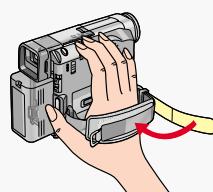
1 ベルトをめくる



2 ベルトの長さを調整する



3 元に戻す

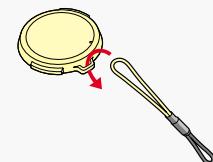


### お願い／ヒントなど

カセットを出し入れするときは、グリップベルトが当たって、カセットホルダーが完全に開かないことがあります。グリップベルトが当たらないように気を付けてください。

## タイトル レンズキャップを付けるときは

1 レンズキャップひもの先端をレンズキャップに通す



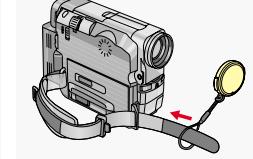
2 ひもの反対側をひもの輪の部分に通す



3 矢印の方向に引っ張る

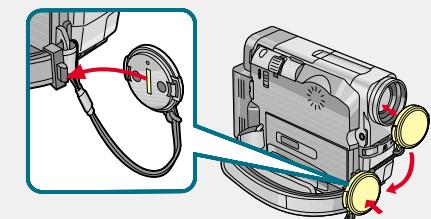


4 レンズキャップをグリップベルトに付ける



### お願い／ヒントなど

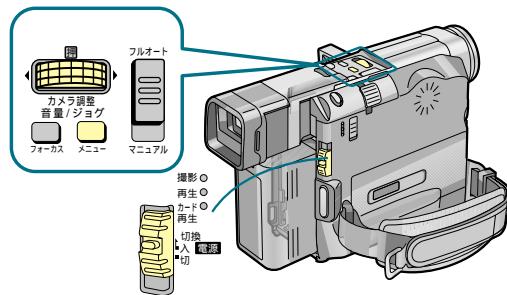
レンズキャップについて  
撮影をしないときは、付属のレンズキャップを付けて、レンズ面を保護してください。



レンズキャップはレンズキャップ取付け部に付けておくことができます。



## メニュー画面を操作するときは



## タイトル メニュー画面を操作するときは

メニューで本機の様々な機能を設定することができます。

### 1 「入」にする



中央のボタンを押しながらずらします。

### 5 押して、項目を表示させる



**マルチ&コガメン**  
マルチモード ストロボ マニュアル  
ストロボソクド ハヤイ フツウ オソイ  
スイングモード 切 入  
コガメンイチ 1 2 3 4  
まえのメニューに戻る

### 2 操作したいモードを選ぶ



上にずらすごとに、操作モードが切り換わります。(P29)

### 6 回して選び、押して設定する(右記参照)



**マルチ&コガメン**  
マルチモード ストロボ マニュアル  
ストロボソクド ハヤイ フツウ オソイ  
スイングモード 切 入  
コガメンイチ 1 2 3 4  
まえのメニューに戻る

### 3 押して、メニューを表示させる



### 4 回して、任意の項目を選ぶ



**メニュー**  
1 デジタルセッティ  
2 メモリキロ  
3 マルチ&コガメン  
4 カメラキノウ  
5 キロセッティ  
6 ヒヨウセッティ  
7 エキシジョウセッティ  
8 デモモード  
戻る時はメニューボタン

**メニュー**  
1 デジタルセッティ  
2 メモリキロ  
3 マルチ&コガメン  
4 カメラキノウ  
5 キロセッティ  
6 ヒヨウセッティ  
7 エキシジョウセッティ  
8 デモモード  
戻る時はメニューボタン

### 前の中のメニューに戻る 回して「まえのメニューに戻る」を選び、押す



**マルチ&コガメン**  
マルチモード ストロボ マニュアル  
ストロボソクド ハヤイ フツウ オソイ  
スイングモード 切 入  
コガメンイチ 1 2 3 4  
まえのメニューに戻る

### メニューを終了する 押す



メニュー画面が消えます。

## リモコンを使う場合

メニュー操作ができます。項目を選ぶときは、項目ボタン、設定するときは設定ボタンを使います。



メニュー  
ボタン  
項目  
ボタン  
設定  
ボタン

## お願い／ヒントなど

手順6の後にメニューボタンを押してメニュー画面を終了することができます。  
(手順6の設定は有効です)

メニュー画面の各項目の説明については、「メニュー画面の表示」をご参照ください。(P123~127)

撮影中、録画中にメニューは表示されません。

メニュー表示中は撮影操作、再生、カード再生操作はできません。  
使えない項目は濃い青色で表示されます。

## メニュー画面の動きかた(手順6)

### ① 設定項目の移動

回すと、下画面の赤い矢印の順に項目が移動します。

### ② 設定

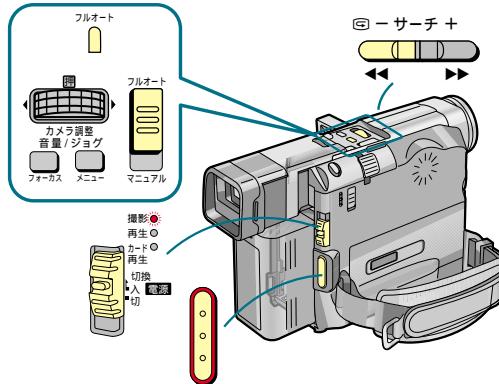
押すごとに下画面の緑の矢印の順にが移動します。

#### マルチ&コガメン

マルチモード ストロボ マニュアル  
ストロボソクド ハヤイ フツウ オソイ  
スイングモード 切 入  
コガメンイチ →1→2→3→4

まえのメニューに戻る

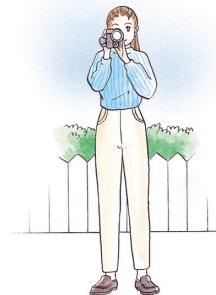
# 撮るときは



レンズキャップをして電源を入れると、オートホワイトバランス(P144)がうまく合わないことがあります。レンズキャップを外してから電源を入れてください。

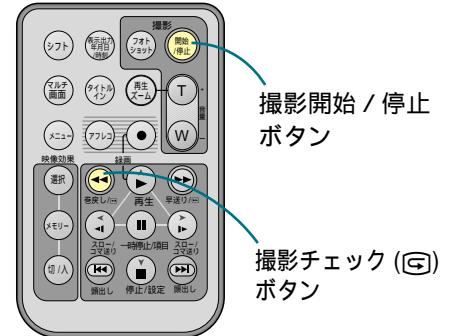
## 基本的な構えかた

グリップベルトに手を通す  
両手で持つ  
足を少し開く  
わきをしめる  
マイク部や白バランスセンサーを指で触れないようにする



## リモコンを使う場合

撮影開始 / 一時停止操作、撮影チェックができます。



### タイトル

## 撮るときは

フルオート・マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にすると、自動でピントや色合いを合わせて撮ることができます。

光源や撮る場面によっては、ピントや色合いが自動で合わない場合があります。そのようなときには、手動で調整する必要があります。(ピント:P62、P143)(色合い:P64、P144)

### 撮る前に

大切な撮影をする前には、以下の設定を確認してください。

- SP / LPモードの設定(P34、44、145)  
後で編集、アフレコなどをする場合:「SP」
- 音声記録モードの設定(P34、110)  
アフレコする場合:「12bit」
- ワイドモードの設定(P34、44)

### 1 「入」にする

中央のボタンを押しながります。

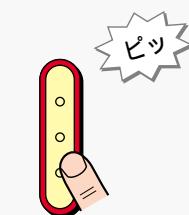


撮影ランプが点灯します。

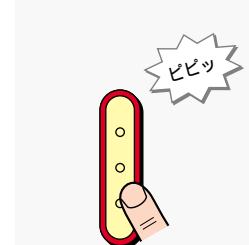


### 2 押す

撮影が始まります。



### 3 撮影を一時停止するには: もう一度押す



### 撮影をチェックする 撮影の一時停止中にポンと押す

撮影した最後の部分を約2、3秒間再生します。



チェック後は撮影の一時停止に戻ります。

### お願い／ヒントなど

撮影の一時停止状態が5分以上続くと、テープ保護とバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び撮るときは、電源スイッチを「切」にしてから再度、「入」にしてください。

撮影中にフォトショット(P38、96)をすると、テープは停止します。撮影チェックをするときには、撮影したモード(SPまたはLP)と同じモードでチェックしてください。モードが異なっているとチェック画面が乱れる場合があります。

「キロクセッティ」メニューの「おしさせブザー」を「切」にすると、お知らせブザーは鳴らなくなります。(P127)

### 撮影お知らせランプについて 撮影中に点灯します。

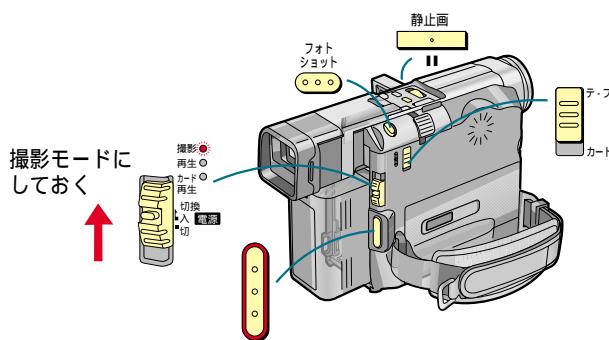
「キロクセッティ」メニューの「サツエイランプ」を「切」にすると、点灯しなくなります。(P34)

リモコン受信時は点滅します。





## 静止画を撮るときは (テープフォトショット/連写フォトショット/デジタル静止画)



### タイトル

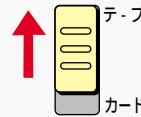
## 静止画を撮るときは

(テープフォトショット/連写フォトショット/デジタル静止画)

フォトショット機能やデジタル静止画機能を使って静止画を撮ることができます。  
プログレッシブ機能を使うと、より高画質な静止画を撮ることができます。(P40)  
カードに静止画を撮ることもできます。  
(カードフォトショット)(P96)

### テープフォトショット

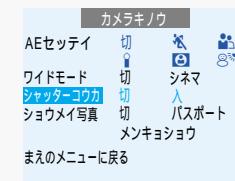
①「テープ」にする ②ポンと押す



約7秒間静止画を撮影して、撮影の一時停止になります。



「カメラキノウ」メニューの「シャッターコウカ」を「入」にすると、シャッター映像とシャッター音が記録されます。(P34)



連写フォトショット  
「シャッターコウカ」を「入」にして  
押し続ける



約0.7秒間隔で、連写フォトショットします。

### デジタル静止画

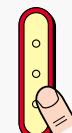
#### ①ポンと押す



1回押す: 静止画  
2回押す: 子画面静止画  
(「デジタルセッティ」メニューの「デジタルキノウ」が「マルチ&コガメン」に設定している場合のみです)  
3回押す: 元に戻る

静止画になります。

#### ②撮る、またはフォトショットする



または



リモコンを使う場合  
フォトショット操作ができます。



静止画を撮るときは  
撮る

### お願い／ヒントなど

テープフォトショットについて  
フォトショット画像はフォトサーチ(P60、86)、自動プリント(P116)できます。ただし、連写フォトショットの画像はインデックス信号が記録されないので、フォトサーチ、自動プリントはできません。

連写フォトショット時はボタンから指をはなしても1コマ多く撮れることがあります。「デジタルセッティ」メニューの「プログレッシブ」が「入」、「オート」の場合、連写フォトショットは使えません。

カードフォトショットについて(P96)  
カードフォトショット時は、「シャッターコウカ」は働きません。

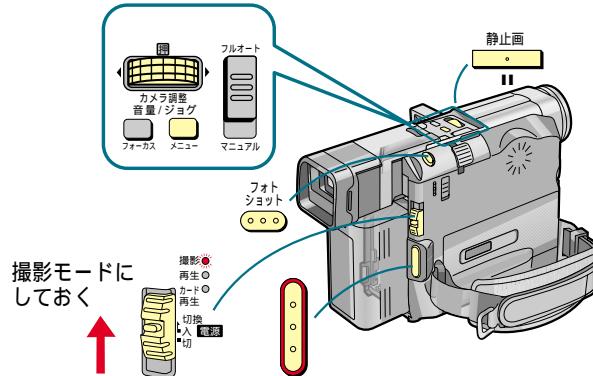
### デジタル静止画について

デジタル静止画の通常撮影ではフォトインデックス信号は記録されません。  
画面を静止画にしているときは、マルチ画面モード(P78、80)にはなりません。  
「デジタルセッティ」メニューの「デジタルキノウ」を「マルチ&コガメン」にしていない場合は、子画面静止画になりません。(P76)

撮りたいところで、静止画ボタンを押して静止画にしてから、フォトショットボタンを押すことをおすすめします。



## より高画質な静止画を撮るときは（プログレッシブ機能）

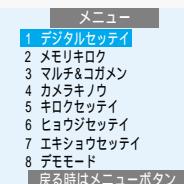


### タイトル

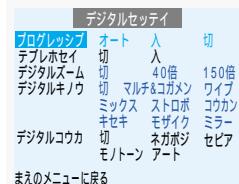
## より高画質な静止画を撮るときは (プログレッシブ機能)

プログレッシブ機能を使うと、フォトショットやデジタル静止画をより高画質なフレーム静止画で撮ることができます。（P146）

### 1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ（P34）



### 2 「プログレッシブ」を「オート」または「入」に設定する



### 3 押す



■マークが表示されます。  
(プログレッシブ機能が使えるときに■マークが表示されます)



メニュー画面が消えます。

### プログレッシブフォトショット

プログレッシブを「オート」または「入」に設定して  
ポンと押す



約7秒間静止画を撮影して、撮影の一時停止になります。

「プログレッシブ」が「オート」または「入」に設定されていると、連写フォトショットはできません。

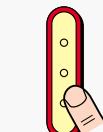
### ① 押す



### プログレッシブ静止画

プログレッシブを「入」に設定して

### ② 撮る



または



### お願い／ヒントなど

静止画になるときに、本機から「カチッ」音がしますが、故障ではありません。「カチッ」音が記録されないように、撮影の一時停止中にフォトショットボタンまたは静止画ボタンを押してください。（P146）

スポーツモード、ポートレートモード時（P68）に明るさが変わることがあります。

「プログレッシブ」を「入」にすると：  
プログレッシブ機能が常に使えます。  
ただし、以下の機能が使えなくなります。  
「デジタルキノウ」（P72～81）  
「デジタルズーム」（P42）  
電子シャッターの1/750以上（P66）

「プログレッシブ」を「オート」にすると：  
以下のときにプログレッシブ機能が使えなくなります。

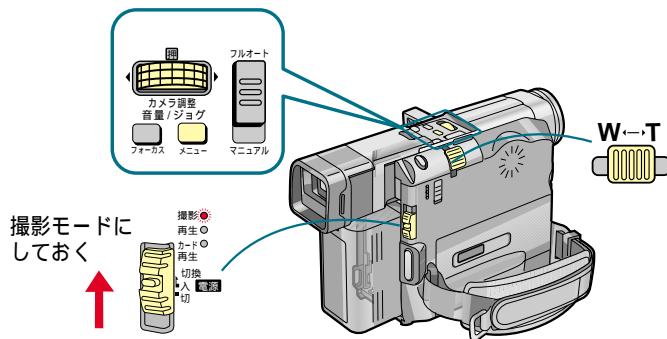
ズーム倍率が約15倍以上のとき  
電子シャッターが1/750以上のとき  
「マルチ＆コガメン」以外の「デジタルキノウ」設定時  
「マルチ＆コガメン」に設定して、静止画ボタンを押したとき  
マルチ画面が出ているとき

より高画質な静止画を撮るときは

撮る

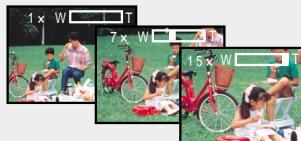
● 大きくまたは広く（広角に）撮るときは（ズームイン／アウト）

● さらに拡大して撮るときは（デジタルズーム）



## タイトル 大きくまたは広く(広角に) 撮るときは (ズームイン／アウト)

遠くの人や物を大きく撮ったり、景色などを広角に撮ることができます。



- 1 広く撮るには  
(ズームアウト): W側へ押す  
(ズームイン): T側へ押す



数秒間、倍率表示が出ます。

可変速ズーム機能  
撮影の一時停止中に、ズームレバーを最後まで押し込むと、最速約0.4秒で、1~15倍までズームできます。



撮影中は最速約0.9秒で、1~15倍までズームになります。  
ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。

## タイトル さらに拡大して撮るときは (デジタルズーム)

デジタル機能を使って、光学ズーム領域（15倍まで）よりさらに大きく拡大することができます。

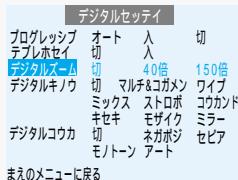
最大150倍のズームインが可能になります。



- 1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ  
(P34)



- 2 「デジタルズーム」を  
'40倍' または  
'150倍'に設定する



- 3 押す



- 4 ズーム操作する



メニュー画面が消えます。  
15倍より大きいとき  
のズームがデジタル  
ズームになります。

リモコンを使う場合  
ズーム操作ができます。



ズームボタン  
押すことを  
やめても少  
しズームが  
動きます。

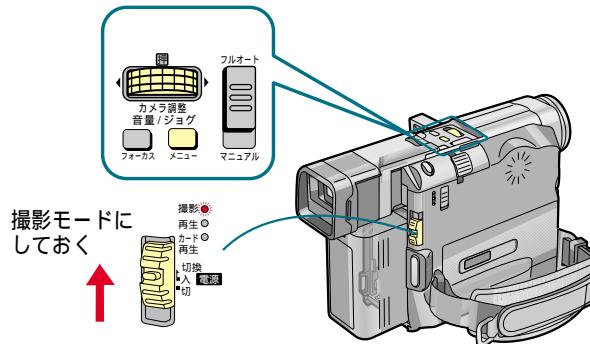
大きくまたは広く(広角に)  
撮るときは

撮る

さらに拡大して撮るときは

映画のように撮るときは(シネマ)

長時間撮影するときは(LPモード)

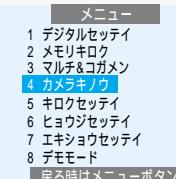


### タイトル

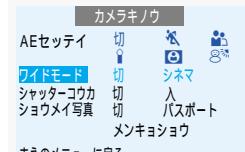
## 映画のように撮るときは (シネマ)

S2映像端子のついたワイドテレビに対応した映像を撮ることができます。

1 メニューで「カメラキノウ」を選ぶ(P34)  
回して、押す



2 「ワイドモード」を「シネマ」に設定する



3 押す



画面の上下に黒い帯のある映像になります。



### お願い／ヒントなど

シネマについて  
マルチ画面表示中、ワイドモードの設定はできません。

「シネマ」で撮ったテープの再生映像は、接続するテレビによって異なります。57ページをご参照ください。

撮れる範囲が広がるわけではありません。  
タイトルを入れると(P102)、ノーマル画像  
サイズ(4:3)の信号が出力されます。

### LPモードについて

本機の性能を十分に生かすためにパッケージに「LPモード」表示のある当社製のカセットテープをおすすめします。  
アフレコ(P110)はできません。

LPモードで撮っても画質は劣化しませんが、以下の場合に、モザイク状のノイズなどが出たり機能が制限されることがあります。

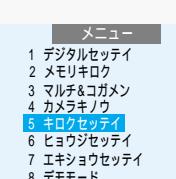
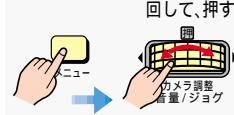
- 他のデジタルビデオ機器で再生
- 他のデジタルビデオ機器でLP録画したテープを本機で再生
- LPモードがないデジタルビデオ機器で再生
- スロー／コマ送り再生時(P54)
- カメラサーチ(戻し)時(P58)

### タイトル

## 長時間撮影するときは (LPモード)

「LP」モードに設定すると、「SP」モードの1.5倍長く記録することができます。

1 メニューで「キロクセッティ」を選ぶ(P34)  
回して、押す



2 「キロクモード」を「LP」に設定する



3 押す



メニュー画面が消えます。

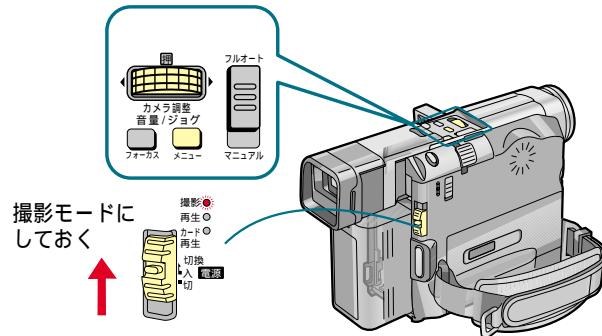
映画のように撮るときは

撮る

長時間撮影するときは

● ぶれを少なくして撮るときは(手ぶれ補正)

● 風の強いときに撮るときは(風音低減)



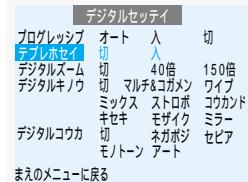
**タイトル**  
**ぶれを少なくして撮るときは**  
(手ぶれ補正)  
ズームで大きくして撮るときなど、手ぶれが起きやすい場面に使うと手ぶれが少なくなります。



1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ(P34)



2 「テブレホセイ」を「入」に設定する



3 押す



メニュー画面が消えます。

### お願い／ヒントなど

ぶれが大きい場合は補正できないことがあります。

蛍光灯の下では、映像が明るくなったり、暗くなったりします。また、色も変化することがあります。

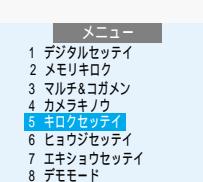
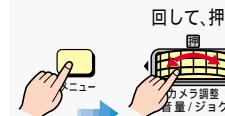
暗いところでは、手ぶれ補正が働かないことがあります。

「デジタルセッティ」メニューの「デジタルキノウ」を「コウカンド」(P72)にしているときは手ぶれ補正是働きません。(「((■))」が点滅します)

三脚使用時は、「テブレホセイ」を「切」にすることをおすすめします。

**タイトル**  
**風の強いときに撮るときは**  
(風音低減)  
マイクに当たる風の音を低減します。

1 メニューで「キロクセッティ」を選ぶ(P34)



2 「風音低減」を「入」に設定する



3 押す



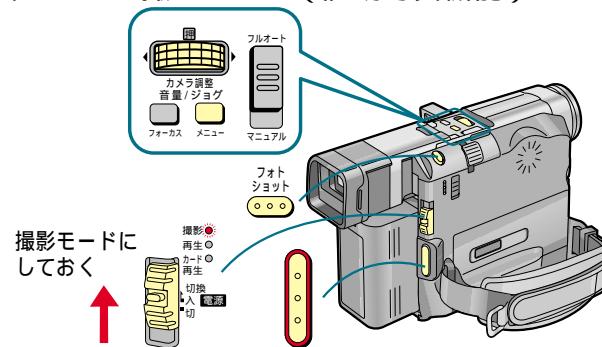
メニュー画面が消えます。

### お願い／ヒントなど

風がマイクに当たる「ボツボツ」といった音を電気的に低減するため、同じような音域(低音部)の音質が少し悪くなります。

## 自分を撮るときは（対面撮影）

## 証明写真サイズで撮るときは（証明写真機能）

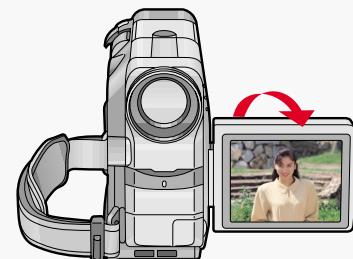


### タイトル

## 自分を撮るときは (対面撮影)

液晶モニターを見ながら自分自身を撮るときに使います。また相手にも撮影内容を見せながら撮るときに使うと便利です。

### 1 液晶モニターを開き、手前（レンズ側）に回転させる



回転させると、液晶モニターの映像が上下反転し、手前から見ても違和感なく映ります。

ファインダーにも映像が映ります。

液晶モニターを開くと、ファインダーは消灯しますが、液晶モニターをレンズ側に回転させると、ファインダーにも映像が映ります。

ファインダーを見ながら撮影し、レンズ方向からも撮影内容を確認することができます。

### お願い／ヒントなど

「エキシヨウセッティ」メニューの「タイメンモード」を「ミラー」に設定すると、液晶モニターに映る画像が左右反転して、鏡を見ているような映像になります。

「ミラー」に設定していると、警告表示は「！」と表示されます。この場合は、液晶モニターを元に戻して、警告表示内容を確認してください。(P132)

「エキシヨウセッティ」メニューの「タイメンモード」を「ノーマル」に設定すると、記録される映像と同じものが液晶モニターに映ります。モニターに映った文字を読むことができます。

### タイトル

## 証明写真サイズで撮るときは (証明写真機能)

日本国内の免許証申請やパスポート申請用に証明写真サイズの枠を付けて撮れます。当社製のビデオプリンターでプリントし、枠にそって切ってお使いください。

### 1 メニューで「カメラキノウ」を選ぶ(P34)



- メニュー  
1 デジタルセッティ  
2 メモリキロク  
3 マルチ&コガメン  
4 カメラキノウ  
5 キロックセッティ  
6 ヒヨウジセッティ  
7 エキシヨウセッティ  
8 テモモード  
戻る時はメニューボタン

### 2 「ショウメイ写真」を希望の設定にする



- AEセッティ  
ワイドモード  
シャッターコウカ  
**ショウメイ写真**  
まえのメニューに戻る

### 3 押す



### 4 撮る、または フォトショットする



メニュー画面が消えます。

枠付きの画像が撮れます。

### お願い／ヒントなど

プログレッシブ機能を使うと、より高画質に撮ることができます。(P40)

証明写真是枠内の顔の位置、背景など撮影条件が決まっています。またプリントする材質など、制約を受けることがありますので、提出先などに確認してご使用ください。プリンターなどによって、プリントされた枠が証明写真サイズと異なることがあります。

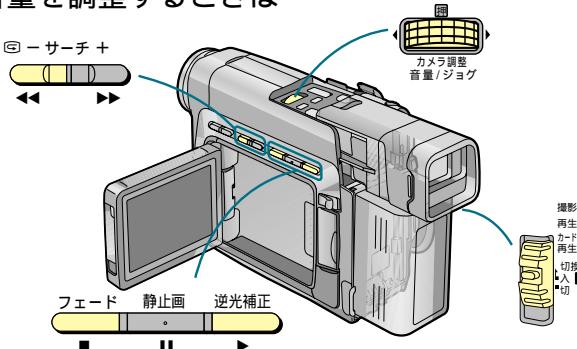
証明写真機能を使うときは、枠と日時表示が重なるので、日時表示を消してお使いください。(P51)

自分を撮るときは  
撮る

証明写真サイズで撮るときは

● その場で見るのは(再生)

● 音量を調整するときは



### タイトル

## その場で見るのは (再生)

撮った映像をその場で再生することができます。

### 1 再生ランプを点灯させる (P29)



再生モードになります。

### 2 押して、テープを巻き戻す

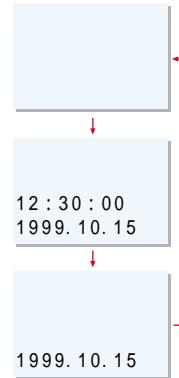


撮影を始めた部分まで巻き戻します。

### 年月日、時刻を表示させるには

年月日、時刻は、撮影すると自動的にデータとして記録されます。表示させる場合は、「ヒョウジセッティ」メニューの「日時ヒョウジ」で設定します。(P34)

または、リモコンの年月日/時刻ボタンを押します。押すごとに表示が変わります。



### リモコンを使う場合

再生、巻戻し、停止、音量調整、年月日/時刻表示操作ができます。



その場で見るのは  
見る

音量を調整するときは

### タイトル

## 音量を調整するときは

再生するときのスピーカー音量を調整します。

### 1 再生ランプを点灯させる (P29)



再生モードになります。

### 2 「オンリョウ」表示が出るまで押す



オーリョウ 小 ||| ----- 大

### 3 回して、調整する



「」バーが増えるほど、音量が大きくなります。

### 元に戻すには もう一度押す



音量表示が消えます。

### お願い／ヒントなど

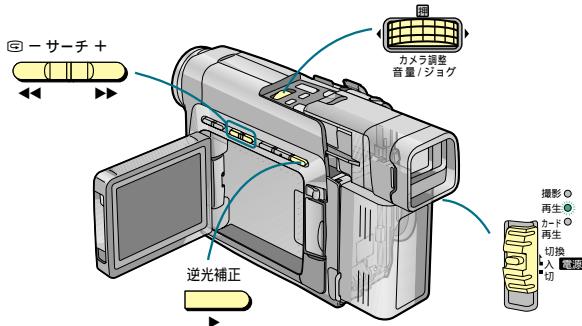
リモコンで音量調整するには：

- 1 音量ボタンの「T」を押すと音が大きくなり、「W」を押すと小さくなります。
- 2 音量表示は調整が終わると、数秒後に消えます。

音量調整できるのは本機の内蔵スピーカーからの音声だけです

再生ズーム使用時は音量調整できません。(P92)

## 見たいところをさがすときは(早送り再生/巻戻し再生/可变速サーチ)



**タイトル**

**見たいところをさがすときは**

早送りしてさがす(早送り再生)  
巻き戻してさがす(巻戻し再生)

**早送り再生**  
再生中に押し続ける

**巻戻し再生**  
再生中に押し続ける

**サーチロック機能について**

再生中に早送り(▶▶)ボタンまたは巻戻し(◀◀)ボタンをポンと押すと、ボタンから指を離しても、早送り再生、巻戻し再生を続けます。

再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。  
早送り再生、巻戻し再生をすると、動きのある場面では、画面が左図のようにモザイク状になります。

**リモコンを使う場合**

再生、早送り(再生)、巻戻し(再生)操作ができます。

見たいところをさがすときは

見る

**タイトル**

**再生速度を変えてさがす  
(可变速サーチ)**

速度を変えて、再生、逆再生します。

**1** 再生ランプを点灯させる(P29)

**2** 押す

再生モードになります。

再生します。

**3** もう一度押す

**4** 回して、速度を変える

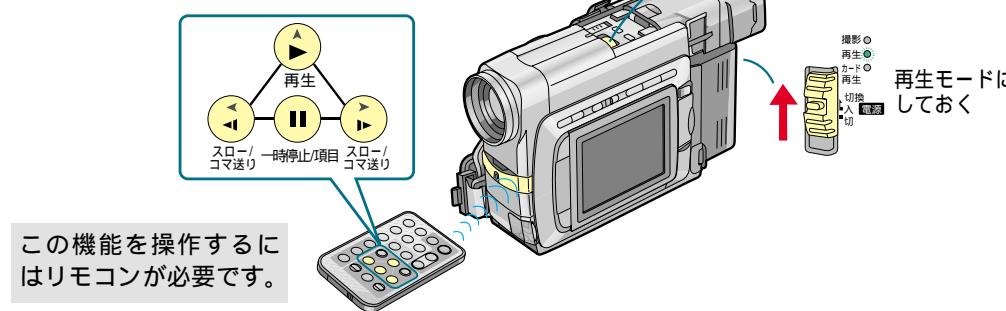
**お願い/ヒントなど**

通常の再生に戻すには：  
再生(▶)ボタンをもう一度押す

可变速サーチ中、音声はできません。  
可变速サーチの種類は、早送り再生、巻戻し再生とも1/5倍速(SPモード時のみ)、1/3倍速(LPモード時のみ)、1倍速、2倍速、5倍速、10倍速、20倍速があります。  
1/3倍速、1/5倍速はスロー再生、逆スロー再生となります。  
可变速サーチ中、画面がモザイク状になる場合があります。

● スローモーションで再生するときは(スロー再生)

● 静止画の再生と1コマごとの再生をするときは  
(静止画再生/コマ送り再生/ジョグ再生)



## タイトル

### スローモーションで再生するときは (スロー再生)

SPモードで記録した場合、約1/5の速度で再生します。  
LPモードで記録した場合、約1/3の速度で再生します。

- 1 再生ランプを点灯させる  
(P29)  

  - 2 再生する  

- 再生モードになります。

- 3 押す  
  

  - 4 押す  

- ◀を押すと逆スロー再生に、▶を押すとスロー再生になります。
- 通常の再生に戻ります。

**お願い/ヒントなど**

逆スロー再生時にタイムコード表示が一定にならない場合があります。  
子画面静止画(P76)やマルチモード画像(P78、80)をスロー再生すると、画面が縦揺れすることがあります。

## タイトル

### 静止画の再生と1コマごとの再生をするときは (静止画再生/コマ送り再生/ジョグ再生)

静止画状態の再生ができます。また、静止画を1コマごとに再生することができます。

**準備**  
再生ランプを点灯させておく  
(上段の手順1を参照)

- 1 再生する  

  - 2 押す  

- 静止画再生になります。

- 3 押す、または回す  
  

- または
- 
- ◀を押すごとに1コマ戻り、▶を押すごとに、1コマ進みます。(コマ送り再生)  
ジョグダイヤルを回して、1コマずつ進めたり、戻すことができます。(ジョグ再生)

**お願い/ヒントなど**

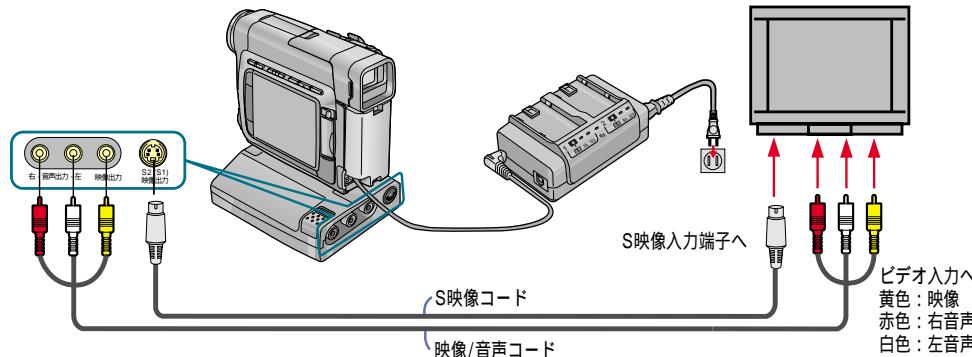
元に戻すには：  
再生(▶)ボタンをもう一度押す

静止画再生中にスロー/コマ送りボタン(◀、▶)を押し続けると、連続コマ送り再生になります。



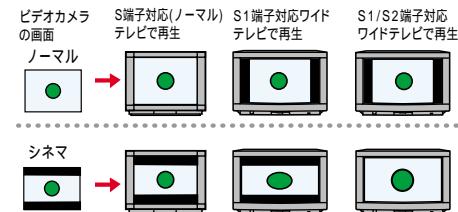
## テレビで見るときは

S映像コード使用時



### 接続するテレビと画像との関係

S映像コードを使う場合、接続する端子の種類によって再生映像が下図のようになります。  
接続するテレビの設定によって変わりますので、詳しくはテレビの説明書をお読みください。



テレビ画面に機能表示などを表示させる場合は：  
リモコンのシフトボタンを押しながら、表示出力ボタンを押す



液晶モニターまたはファインダーに表示されている情報（カウンターやモード表示など）がテレビ画面に表示されます。

### タイトル

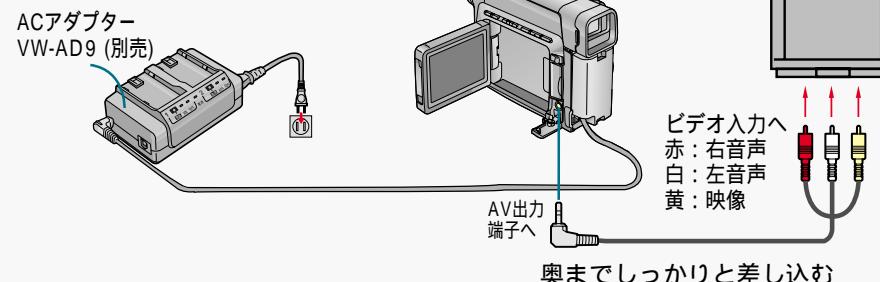
## テレビで見るときは

付属の映像/音声コード（ミニジャック対応）を接続するだけでテレビで再生映像が見られます。別売のアクセサリーキットに入っているAVワンタッチステーションを付けて見ることもできます。

映像/音声コード、S映像コードは、アクセサリーキットに入っています。  
AVワンタッチステーションの付け外しについては、アクセサリーキットの説明書をよくお読みください。

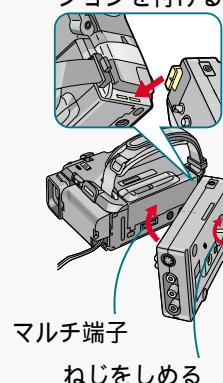
### 付属の映像/音声コードを使って見る

付属の映像/音声コード（ミニジャック対応）を本体に直接接続する（右図）



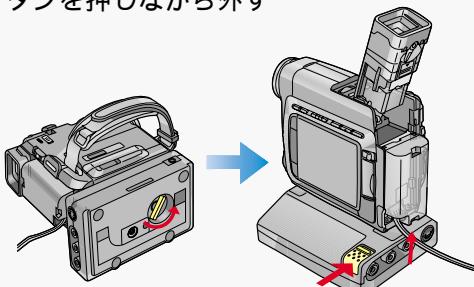
### よりきれいに見る（S映像コードをつなぐ）

- ① AVワンタッチステーションを付ける
- ② 上図（S映像コード使用時）のようにつなぐ



### AVワンタッチステーションを外すには

ねじをゆるめて、ビデオカメラ取外しボタンを押しながら外す



落下防止のため、手で支えながら外してください。

### お願い／ヒントなど

「シネマ」の映像をワイドテレビで再生するときに表示出力していたり、映像効果の「ネガポジ」「セピア」を入れていると、テレビが誤動作する（表示サイズが変わる）ことがあります。

AVワンタッチステーションを付ける前にマルチ端子部のほこりを取り除いてください。

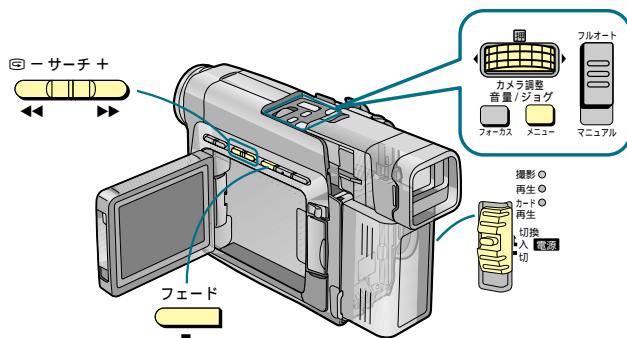
電源を「切」にしてから、AVワンタッチステーションを付け外してください。  
ACアダプターVW-AD9（別売）を使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。（P24）

AVワンタッチステーションを使って、テレビで見るときは、AV出力端子に接続している映像/音声コード（ミニジャック対応）を外してください。映像が暗くなる場合があります。

テレビで見るときは  
見る

撮影の一時停止中に撮った場面を見るときは（カメラサーチ）

撮った最後の部分をさがすときは（ブランクサーチ）



### タイトル

## 撮影の一時停止中に 撮った場面を見るときは (カメラサーチ)

撮影の一時停止中に今まで撮影した場面を見る（さがす）ことができます。  
任意の場面をさがし出し、そこから続けて撮影（つなぎ撮り）するときに便利です。

### 1 摄影ランプを点灯させる(P29)



撮影モードになります。

### 正方向にカメラサーチ

撮影の一時停止中に1秒以上押し続ける



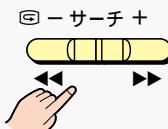
### 逆方向にカメラサーチ

撮影の一時停止中に1秒以上押し続ける



### 元に戻すには

ボタンから指を離す



撮影の一時停止に戻ります。

### リモコンを使う場合

カメラサーチの操作ができます。



早送りボタン/  
巻戻しボタン  
サーチボタンと  
同じ働きです。

### お願い／ヒントなど

カメラサーチ中の画面は、モザイク状になる場合がありますが、これは、デジタルビデオ特有の現象です。故障ではありません。

記録モード（SP / LP）の設定が、テープに記録されている設定と異なっていると、画像が乱れことがあります。

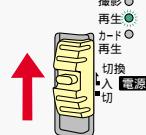
### タイトル

## 撮った最後の部分をさがす ときは

(ブランクサーチ)

撮影した場面の最後の部分（テープの未使用部分）を見つけるときは、ブランクサーチ機能を使うと便利です。

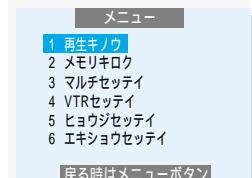
### 1 再生ランプを点灯させる(P29)



再生モードになります。

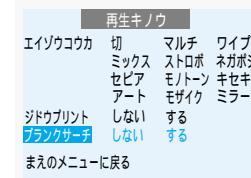
### 2 メニューで「再生キノウ」を選ぶ(P34)

回して、押す



### 3 「ブランクサーチ」を「する」に設定する

最後のシーンの約1秒手前で静止画になります。



### お願い／ヒントなど

途中でやめるには：  
停止(■)ボタンを押す

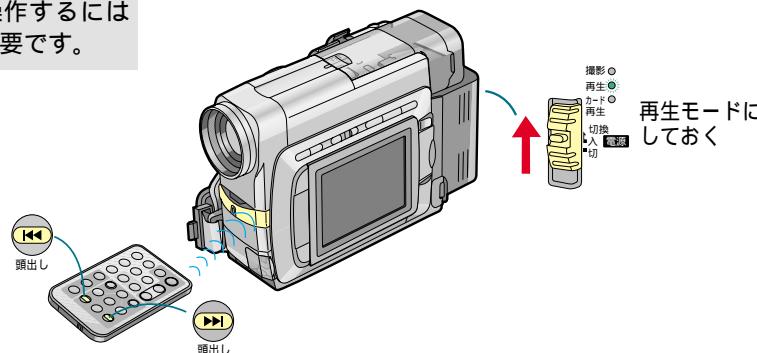
テープに未記録部分がなかった場合は、  
テープ終端で止まります。

ブランク部分を見つけたあと、撮影モードにして撮影を始めると、最後の部分からつなぎ撮りが始められます。



## 撮った作品の頭出しをするときは(頭出し)

この機能を操作するには  
リモコンが必要です。



### タイトル

**撮った作品の頭出しをするときは  
(頭出し)**

**フォトショット画像の頭出し  
(フォトサーチ)**

#### 準備

「VTRセッティ」メニューの「アタマダシ」で設定を「フォト」にしておく  
(初期設定は「フォト」です)(P34)

### 正方向の頭出し

1回押す



### 逆方向の頭出し

1回押す



### 頭出しについて

本機では、頭出しをするための目印(INDEX:インデックス)となる信号を自動的に記録します。  
(シーン(場面)インデックス  
信号記録中は、「INDEX」の表示が数秒間点滅します)

INDEX

#### ① フォトイデックス

フォトイデックス信号が入った画像の頭出し、自動プリントに使います。  
テープフォトショット時、メモリー画像伝送時に自動的に記録します。

#### ② シーン(場面)インデックス

場面の頭出しに使います。  
次の場合、自動的に記録します。  
カセットを入れた後の最初の撮影時  
「キロクセッティ」メニューの「シーン  
インデックス」の設定に従って(P34)  
日付 : 撮影終了後、日付が変わ  
った後の最初の撮影時  
2ジカン : 撮影終了後、2時間経過  
した後の最初の撮影時

操作モードを切り換えたときや日付を  
設定したときは、その後の最初のイン  
デックス信号は記録されません。

撮った作品の頭出しをするときは

より楽しく

### タイトル

**場面の頭出し  
(シーンサーチ)**

#### 準備

「VTRセッティ」メニューの「アタマダシ」で設定を「シーン」にしておく(P34)

### 正方向の頭出し

押す



### 逆方向の頭出し

押す



1回ボタンを押すと「S 1」が表示され、  
次の場面の頭出しを始めます。頭出し動作  
開始後にボタンを押すと、押すごとに  
「S 2」「S 3」が表示され、2場面目以降の  
頭出しをすることができます。

頭出しをすると、その部分から再生を始めます。  
(頭出しの指定ができるのは、前後9場面  
目までです)

S 3

### お願い/ヒントなど

インデックスとインデックスの間隔が1  
分以内の場合は、頭出しがうまく働か  
ないことがあります。

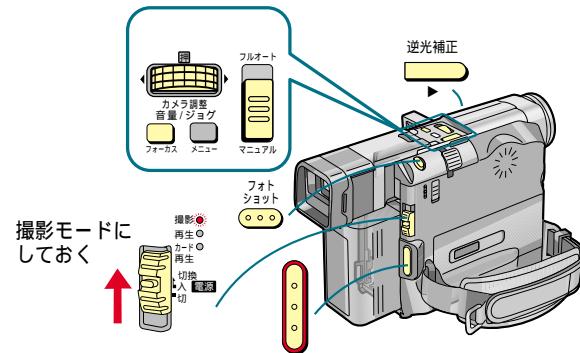
テープ始端での頭出しへできないこと  
があります。

2秒以上頭出しボタンを押し続けると、  
イントロサーチ機能が働き、場面を  
次々と頭出しして、数秒間ずつ再生しま  
す。

(解除するには、再生(▶)ボタンか停  
止(■)ボタンを押します)

逆光で撮るときは(逆光補正)

手動でピントを合わせて撮るときは(マニュアルフォーカス)



### タイトル

## 逆光で撮るときは (逆光補正)

逆光で人物などが暗くなるのを防ぐときに使います。(逆光とは、人物など、被写体の後ろ側から光が当たることです)

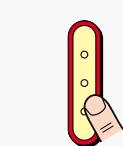
### 1 押し続ける



逆光が補正されます。



### 2 撮る



または



### 元に戻すには

指を離す



### お願い／ヒントなど

逆光補正ボタンを押すと、画面全体が明るい映像になります。  
逆光補正中はマルチ画面になりません。

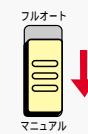
### タイトル

## 手動でピントを合わせて撮るときは (マニュアルフォーカス)

自動でピントが合いにくいとき(P143)、  
ピント(フォーカス)を手動で調整できます。

MNL : MANUALの意味です。  
MF : Manual Focusの意味です。

### 1 「マニュアル」にする



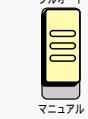
### 2 押す



### 3 回して、ピントを合わせる



### 元に戻すには 「フルオート」にする



またはフォーカスボタン押して「▶MF」を消す



### お願い／ヒントなど

合わせるコツ



大きくして合  
わせていると  
広角にしてもピ  
ントはピッタリ

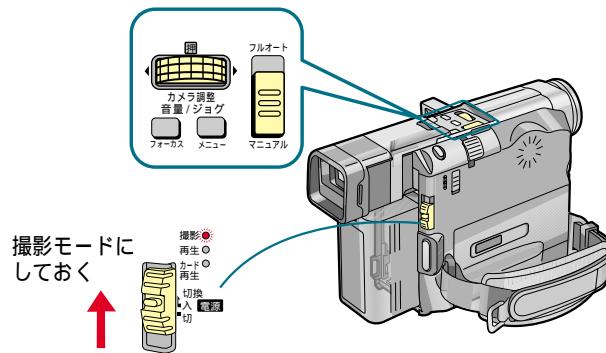
広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。  
白バランス、シャッター速度、絞り/ゲインを設定後、マニュアルフォーカスを合わせるときは再度フォーカスボタンを押します。

逆光で撮るときは／手動でピントを合わせて撮るときは

より楽しく



## 自然な色合いで撮るときは(白バランス)



### タイトル

## 自然な色合いで撮るときは (白バランス)

オートホワイト(白)バランスにより、自動で自然な色合いに撮ることができます。しかし場面の状態や光源によっては、自動では自然な色合いに撮れないことがあります。このような場合に白バランスを設定します。(P144)

### 1 「マニュアル」にする

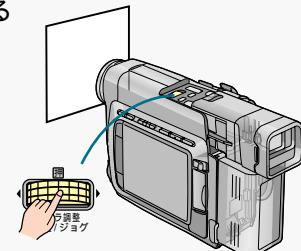


### 2 1回押す



### 4 (セットモードを選択した場合のみ)

画面いっぱいに白い被写体を映しながら、■マークが点滅から点灯に変わるまで押し続ける



AWB : Auto White Balance の意味です。

## 撮影条件と白バランス

| 撮影条件                    | モード |
|-------------------------|-----|
| 白熱電球、ハロゲンランプ            | ★   |
| 屋外の晴天下                  | ☀   |
| 蛍光灯(当社のパルック蛍光灯など)       | ●   |
| 水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯     | ■   |
| ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト | ■   |
| 日没・日の出など                | ■   |

## お願い／ヒントなど

「■」表示が点滅するときは：  
以下の場合に「■」表示が点滅します。

- ・セットモードを選択したとき  
以前にセットモードで設定した内容が保持されていることを示しています。セットモードで設定すると、再度設定するまでその内容を記憶しています。
- ・セットモードで設定できないとき  
暗いところなどでは、セットモードでの設定がうまくできないことがあります。この場合、オートモードで撮ってください。
- ・セットモードで設定中のとき  
セットモードでの設定中は「■」表示が点滅します。設定が完了したら、「■」表示が点灯に変わります。(手順4)

レンズキャップをしたまま電源を入れるとオートホワイトバランスがうまく合わないことがあります。必ずレンズキャップを外してから電源を入れてください。以下の場合は白バランスモードを変えることはできません。

- ・ズームが15倍より大きいとき
- ・デジタル機能の「コウカンド」使用時
- ・デジタル効果の「セピア」、「モノトーン」使用時

白バランスと絞り/ゲイン(P66)の両方を設定するときは、白バランスを設定した後に絞り/ゲインを設定してください。

撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるためにその都度設定し直してください。

自然な色合いで撮るときは

より楽しく

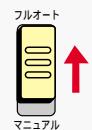
### 3 回して、選択する



セットモードを選択し、セット値を設定するときは、手順4を行ってください。

### 元に戻すには

「フルオート」にする、またはマルチッシュダイヤルを回して「AWB」表示にする

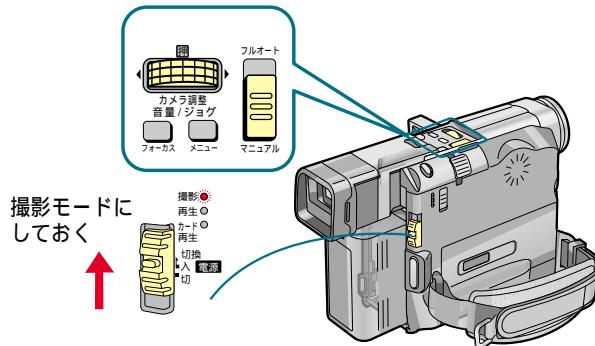


または



動きの速いものを撮るときは(電子シャッター)

明るさを調整して撮るときは(絞り/ゲイン)



## タイトル

### 動きの速いものを撮るときは (電子シャッター)

テニスやゴルフのスイングを撮るのに効果的です。

1 「マニュアル」にする



2 2回押す



3 回して、シャッター速度を設定する



元に戻すには  
「フルオート」にする

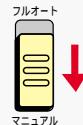


## タイトル

### 明るさを調整して撮るときは (絞り/ゲイン)

場面が明るすぎるときや暗すぎるときに調整できます。

1 「マニュアル」にする



2 3回押す



3 回して、絞り/ゲインを設定する



元に戻すには  
「フルオート」にする



またはマルチプッシュダイヤルを押す



## お願い／ヒントなど

電子シャッターについて

明るく光っているものや、反射の強いものは縦方向に光の帯が出ているように撮れることがあります。

通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。

蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。

選択できるシャッター速度は1/60～1/8000の14段階です。

プログレッシブ機能が「入」のときは、1/500までしか使えません。(P40)

プログレッシブ機能が「オート」のときは1/750以上になると、プログレッシブ機能は使えなくなります。(P40)

デジタル機能の「コウカンド」使用時(P72)、AE設定使用時(P68)はシャッター速度は設定できません。設定していたときは解除されます。

撮影する場面に応じたシャッター速度を選んでください。(P134)

白バランス(P64)が設定できない場合、手順2でマルチプッシュダイヤルを押す回数は1回少なくなります。

絞り/ゲインについて

ゲインを上げると、画面にノイズが増えます。

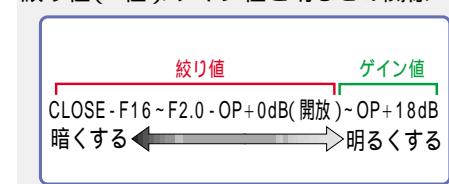
ズーム倍率によっては、F2.0、F2.4の表示が出ないことがあります。

AE設定時(P68)は使用できません。

シャッター速度と絞り値の両方を設定する場合、まずシャッター速度を設定してから、絞り値を設定してください。

白バランス(P64)や電子シャッターが設定できない場合、手順2でマルチプッシュダイヤルを押す回数が少なくなります。

絞り値(F値)/ゲイン値と明るさの関係

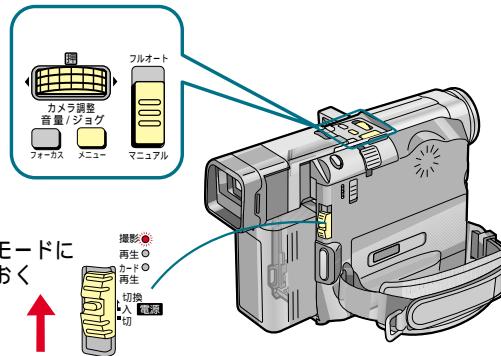


動きの速いものを撮るときは／明るさを調整して撮るときは

より楽しく



## いろいろな場面で撮るときは（AE設定）



### タイトル

#### いろいろな場面で撮るときは (AE設定)

##### ① スポーツ

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮るとき。

##### ② ポートレート

背景をぼかして、手前の人物を引き立たせて撮るとき。

##### ③ ローライト

暗い場面を明るく撮るとき。

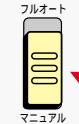
##### ④ スポットライト

結婚式などスポットライトが当たる人物をきれいに撮るとき。

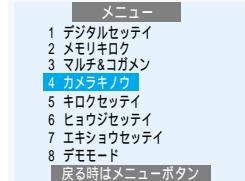
##### ⑤ サーフ＆スノー

スキー場や海水浴場などまぶしい場面で人物などを撮るとき。

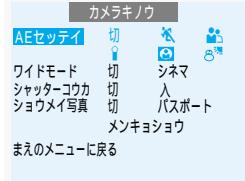
### 1 「マニュアル」にする



### 2 メニューで「カメラキノウ」を選ぶ (P34)



### 3 「AEセッティ」を希望の設定にする



### 4 押す

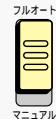


メニュー画面が消えます。

### 元に戻すには 「AEセッティ」を「切」に設定する、



### または「フルオート」にする



#### ① スポーツ



#### ② ポートレート



#### ③ ローライト



#### ④ スポットライト



#### ⑤ サーフ＆スノー



## お願い／ヒントなど

スポーツモード、ポートレートモードとデジタル機能の「コウカンド」(P72)は同時に使用できません。

スポーツモード、ポートレートモード時にプログレッシブ機能を使うと、明るさが変わることがあります。(P40)

AE設定時は電子シャッター(P66)、絞り/ゲイン(P66)は使用できません。

### スポーツモード

撮った後、スロー再生や静止画再生したときに、ぶれの少ない映像になります。通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。

蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。

明るく光っているものや、反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。

明るさが足りない場合は が点滅します。

屋内で使うと、画面がちらつくことがあります。

### ポートレートモード

屋内で使うと、画面がちらつくことがあります。

### ローライトモード

極端に暗い場面では、きれいに撮れないことがあります。

### スポットライトモード

撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることもあります。

### サーフ＆スノーモード

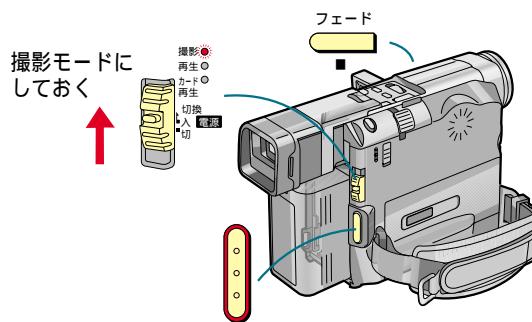
撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

いろいろな場面で撮るときは

より楽しく

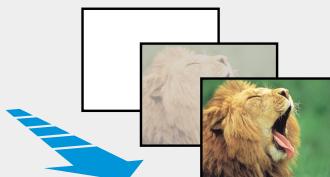
映像と音声を徐々に現して撮るときは（フェードイン）

映像と音声を徐々に消して撮るときは（フェードアウト）



### タイトル 映像と音声を徐々に現して撮るときは (フェードイン)

白い映像から少しづつ映像と音声が現れてくるように撮れます。

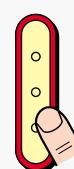


1 撮影の一時停止中に押し続ける

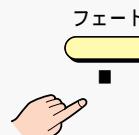


映像が少しづつ消えていきます。

2 映像が消えてから、撮る



3 撮影を始めて約3秒後をめやすに、指を離す

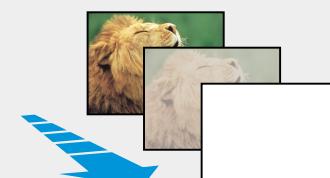


映像が少しづつ現れてきます。

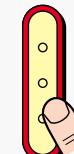
**お願い／ヒントなど**  
フォトショット (P38)、静止画 (P38) 中、マルチ画面 (P78、80) は、映像のフェードはしません。

### タイトル 映像と音声を徐々に消して撮るときは (フェードアウト)

映像と音声が少しづつ消えて、白い映像になっていくように撮れます。



1 撮る

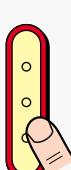


2 撮影中、押し続ける



映像が少しづつ消えていきます。

3 映像が消えてから、押す



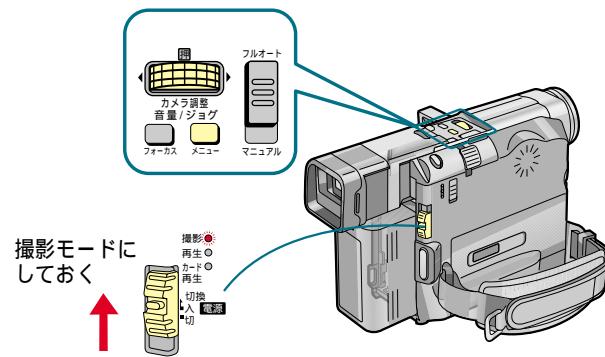
撮影の一時停止となります。

4 指を離す





## 特殊効果を使って撮るときは（デジタル機能/デジタル効果）



### タイトル 特殊効果を使って撮るときは デジタル機能

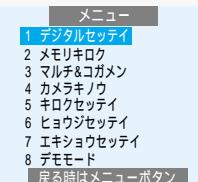
9種類の特殊効果があります。（右図参照）

「プログレッシブ」が「入」のときは、デジタル機能は使えません。

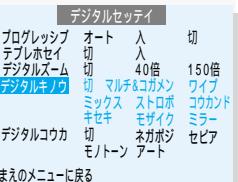
「コウカンド」にするとフォーカスはマニュアルになります。また、手ぶれ補正（P46）は働かなくなります。

「コウカンド」はAE設定のスポーツモード、ポートレートモード（P68）と同時に使用できません。

#### 1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ（P34）



#### 2 「デジタルキノウ」を希望の機能に設定する



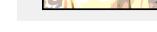
#### 3 押す



メニュー画面が消えます。

機能を解除するには手順2で「切」を選びます。  
ワイプ、ミックスは次のページの操作で効果が現れます。  
「マルチ＆コガメン」についてはP76～81をお読みください。

#### デジタル効果

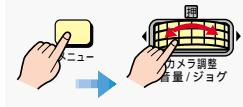


### タイトル デジタル効果

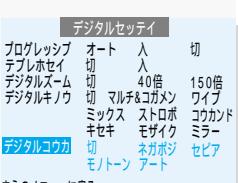
4種類の特殊効果があります。（右図参照）

デジタル機能とデジタル効果は同時に設定することができます。例えば、セピア効果でワイプ機能を使うことができます。

#### 1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ（P34）



#### 2 「デジタルコウカ」を希望の機能に設定する



#### 3 押す



メニュー画面が消えます。

効果を解除するには手順2で「切」を選びます。  
セピア、モノトーンを選ぶと、白バランスは設定できません。（P64）

## お願い／ヒントなど

### デジタル機能



#### マルチ

画面に9画面取り込みます。



#### コガメン

静止画を子画面に取り込みます。



#### ワイプ

場面がカーテンを引くように変わります。



#### ミックス

場面が重なりながら変わります。



#### ストロボ

コマ送りのような映像になります。



#### コウカンド

高感度になり、暗い場面を明るくします。



#### キセキ

映像の軌跡が残ります。



#### モザイク

映像にモザイクがかかります。



#### ミラー

画面中央に鏡を置いたような効果になります。



#### ネガポジ

ネガフィルムのような映像になります。



#### セピア

セピアカラーの映像になります。



#### モノトーン

白黒映像になります。



#### アート

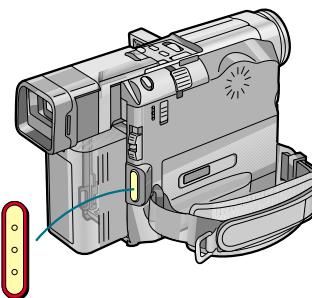
絵画のような映像になります。

特殊効果を使って撮るときは

より楽しく



## 特殊効果を使って撮るときは(つづき) ~ワイプ/ミックス

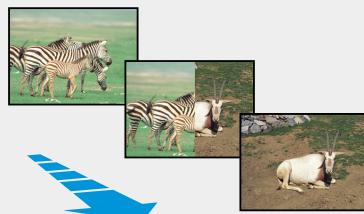


### タイトル

**特殊効果を使って撮るときは  
(つづき)**

#### ワイプ

場面がカーテンを引くように変わります。



#### 1 撮る

「デジタルセッティ」メニューの「デジタルキノウ」を「ワイプ」に設定する(P72)

#### 2 撮る



通常の撮影をします。

#### 3 撮影を一時停止する



最後の場面が内部にメモリーされ、「ワイプ」の文字が白黒反転します。

#### 4 撮る



最後の場面から新しい場面へワイプします。

### お願い/ヒントなど

「デジタルセッティ」メニューの「プログレッシブ」が「入」のときは、デジタル機能は使えません。(P 40)

手順3の後に以下の操作をすると、メモリー画像が消えて、ワイプ、ミックスはできなくなります。

- ・デジタル機能、デジタル効果を別の項目に設定し直す
- ・カメラサーチする
- ・静止画ボタンを押す

テープフォトショット撮影すると、フォトショット画像がメモリーされます。

最後の場面が内部にメモリーされると、「ワイプ」や「ミックス」の文字表示が白黒反転し、画像がメモリーされていることを知らせます。

#### ワイプの例

##### ワイプ

メモリー画像なし

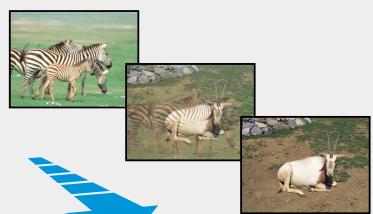
##### ワイプ

メモリー画像あり

### タイトル

#### ミックス

場面が重なりながら変わります。



#### 1 撮る

「デジタルセッティ」メニューの「デジタルキノウ」を「ミックス」に設定する(P72)

#### 2 撮る



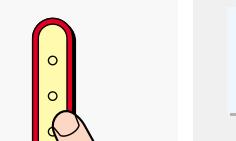
通常の撮影をします。

#### 3 撮影を一時停止する



最後の場面が内部にメモリーされ、「ミックス」の文字が白黒反転します。

#### 4 撮る



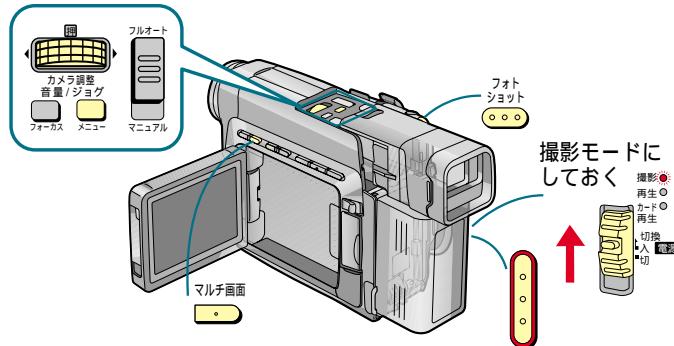
最後の場面から新しい場面へミックスしながら変わります。

特殊効果を使って撮るときは

より楽しく



## 9画面の連続画像を撮るときは（ストロボ マルチモード撮影）



### タイトル

## 9画面の連続画像を撮るときは (ストロボ マルチモード撮影)

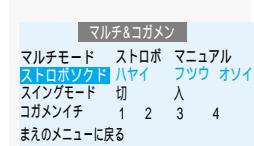
1画面に連続した9枚の静止画を取り込みます。取り込んだ映像は撮影、フォトショット(P38、96)できます。



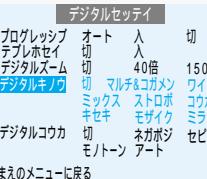
### 1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ(P34)



### 5 「ストロボソード」を希望の速度に設定する(右参照)



### 2 「デジタルキノウ」を「マルチ&コガメン」に設定する



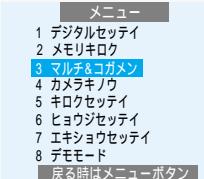
### 6 押す



メニュー画面が消えます。



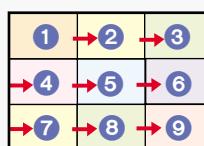
### 3 「まえのメニューに戻る」にし、「マルチ&コガメン」を選ぶ



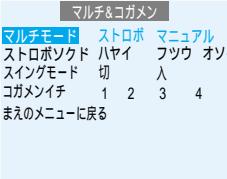
### 7 ポンと押す



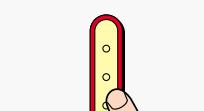
9画面の連続画像が表示されます。



### 4 「マルチモード」を「ストロボ」に設定する



### 8 撮る



または



プログレッシブ機能は使えません。(P40)

### リモコンを使う場合

マルチ画面表示、撮影、フォトショット撮影の操作ができます。



### お願い／ヒントなど

マルチ画面を消すには：

マルチ画面ボタンをポンと押す

マルチ画面を再表示するには：

マルチ画面ボタンを1秒以上押す

スイングモードについて：

「マルチ&コガメン」メニューの「スイングモード」を「入」にすると、中間部分が速く、前後がゆるやかになります。

プログレッシブ機能が「入」のときはマルチ画面機能は使用できません。(P40)

子画面機能(P76)とマルチ画面機能は、同時に使用できません。

対面撮影(P48)のミラーモード時にマルチ画面ボタンを押すと右側から画像が取り込まれます。

画面にマルチモード表示(STR)が出ていたときにこの機能を使うことができます。(STR: STROBEの略です)

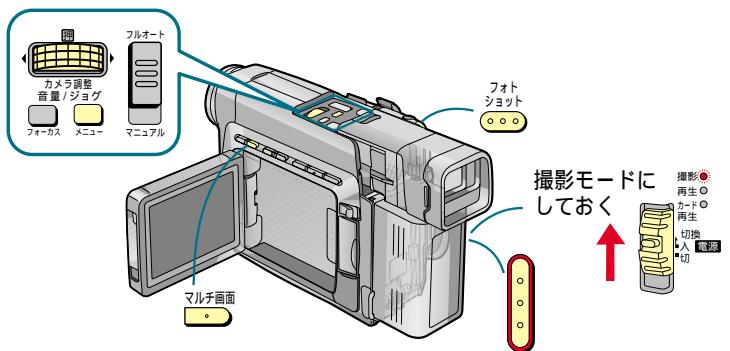
静止画時はマルチ画面になりません。

マルチ画面は画質が少し悪くなります。

### ストロボ速度のめやす

| ストロボ速度 | 9画面の取り込み時間 |
|--------|------------|
| ハヤイ    | 約1秒        |
| フツウ    | 約1.5秒      |
| オスイ    | 約2秒        |

## 9画面の任意画像を撮るときは（マニュアルマルチモード撮影）



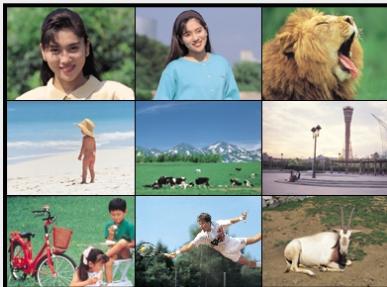
**リモコンを使う場合**  
マルチ画面表示、撮影、フォトショット撮影の操作ができます。



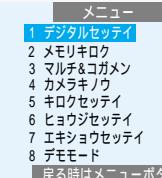
### タイトル

## 9画面の任意画像を撮るときは (マニュアルマルチモード撮影)

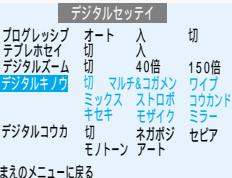
1画面に任意の静止画を9枚取り込みます。  
取り込んだ映像は撮影、フォトショット  
(P38、96) できます。



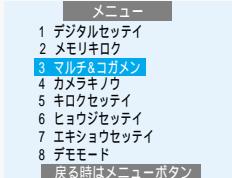
1 メニューで「デジタルセッティ」を選ぶ  
(P34)



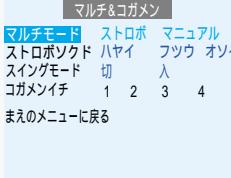
2 「デジタルキノウ」を「マルチ&コガメン」に設定する



3 「まえのメニューに戻る」にし、「マルチ&コガメン」を選ぶ



4 「マルチモード」を「マニュアル」に設定する



5 押す



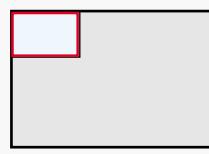
メニュー画面が消えます。



6 押す



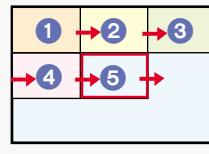
マルチモードになります。



7 撮りたい場面でポンと押す



押すごとに左上から画像が表示されます。



8 撮る



または



プログレッシブ機能は使えません。(P40)

### お願い／ヒントなど

マルチ画面を消すには：  
9画面表示後、マルチ画面ボタンをポンと押す

マルチ画面を再表示するには：  
マルチ画面ボタンを1秒以上押す

1画面消去するには：  
マルチ画面の表示中に、マルチ画面ボタンを1秒以上押す

- 最後に取り込んだ画面が消去されます。  
さらに押し続けると、連続して消去されます。
- 一度消去した画面の再表示はできません。

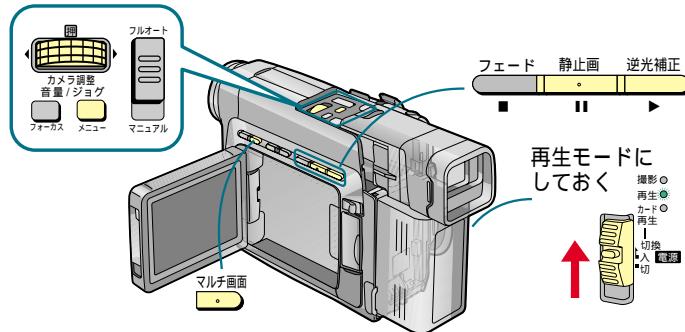
プログレッシブ機能が「入」のときはマルチ画面機能は使用できません。(P40)  
子画面機能 (P76) とマルチ画面機能は、同時に使用できません。

対面撮影のミラーモード時にマルチ画面ボタンを押すと右側から画像が取り込まれます。

画面にマルチモード表示 ( MNL ) が出て  
いるときにこの機能を使うことができます。  
( MNL : MANUALの略です。)

静止画時はマルチ画面になりません。  
マルチ画面は画質が少し悪くなります。

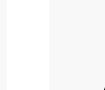
## 再生映像から連続で9画面取り込むときは (ストロボ マルチモード)



### タイトル 再生映像から連続で9画面 取り込むときは (ストロボ マルチモード)

再生映像から、連続した静止画を次々と取り込みます。スポーツのフォームチェックなど、動きのあるシーンに効果的です。



- 1** メニューで「再生キノウ」を選ぶ (P14)  
  
メニュー  
1 再生キノウ  
2 メモリクロク  
3 マルチセッティ  
4 VTRセッティ  
5 ヒヨウセッティ  
6 エキショウセッティ  
戻る時はメニューボタン
- 2** 「エイゾウコウカ」を「マルチ」に設定する  
  
回して、押す  
カメラ調整 音量/ジョグ  
エイゾウコウカ  
切 マルチ ワイブ  
ミックス ストロボ ネガポジ  
セピア モノトーン キセキ  
アート モザイク ミラー
- 3** 「まえのメニューに戻る」にし、「マルチセッティ」を選ぶ  
  
回して、押す  
カメラ調整 音量/ジョグ  
メニュー  
1 再生キノウ  
2 メモリクロク  
3 マルチセッティ  
4 VTRセッティ  
5 ヒヨウセッティ  
6 エキショウセッティ  
戻る時はメニューボタン
- 4** 「マルチモード」を「ストロボ」に設定する  
  
回して、押す  
カメラ調整 音量/ジョグ  
マルチセッティ  
マルチモード ストロボ マニュアル インデックス  
ストロボソード ハヤイ フツウ オソイ  
スイングモード 切 入  
まえのメニューに戻る
- 5** 「ストロボソード」を希望の速度に設定する (右参照)  
  
回して、押す  
カメラ調整 音量/ジョグ  
マルチセッティ  
マルチモード ストロボ マニュアル インデックス  
ストロボソード ハヤイ フツウ オソイ  
スイングモード 切 入  
まえのメニューに戻る
- 6** 押す  
  
メニュー  
メニュー画面が消えます。  
STR
- 7** 再生し、取り込み始めるところで静止画にする  
  
逆光補正  
静止画
- 8** ポンと押す  
  
マルチ画面  
9画面の連続画像が取り込まれ、テープは停止します。

リモコンを使う場合  
マルチ画面表示、再生、一時停止操作ができます。



**お願い／ヒントなど**  
マルチ画面を消すには：  
マルチ画面ボタンをポンと押す、または再生ボタンを押す

マルチ画面を再表示するには：  
マルチ画面ボタンを1秒以上押す

スイングモードについて：  
「マルチセッティ」メニューの「スイングモード」を「入」にすると、中間部分が速く、前後がゆるやかになります。テニスやゴルフなどのスイングを分析するときに効果的です。

再生のマルチ画面はDV端子 (P114)、デジタル静止画端子 (P121) から出力されません。

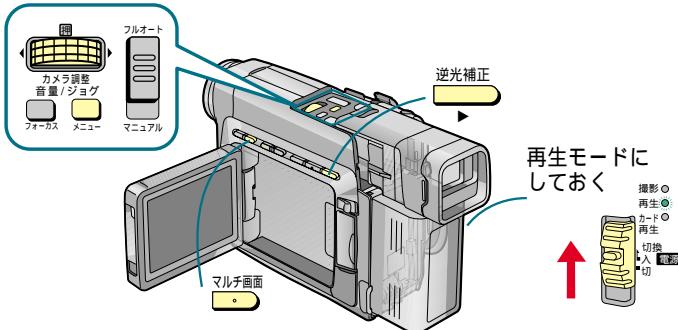
マルチ画面は画質が少し悪くなります。  
DV端子から入力映像がある場合、マルチ画面になりません。DV入力を止めてください。

画面にマルチモード表示 (STR) が出ていたときにこの機能を使うことができます。  
(STR : STROBEの略です)

ストロボ速度のめやす

| ストロボ速度 | 9画面の取り込み時間  |
|--------|-------------|
| ハヤイ    | 再生映像の約1秒分   |
| フツウ    | 再生映像の約1.5秒分 |
| オソイ    | 再生映像の約2秒分   |

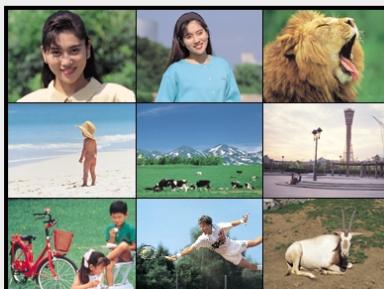
## 再生映像から任意に9画面取り込むときは (マニュアル マルチモード)



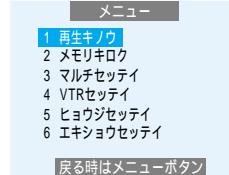
### タイトル

## 再生映像から任意に9画面取り込むときは (マニュアル マルチモード)

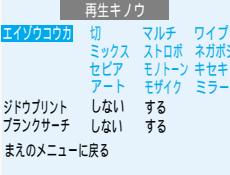
任意の画像を1つずつ選んで、9画面表示にします。1画面にいろいろなシーンを取り込むことができます。



### 1 メニューで「再生キノウ」を選ぶ (P34)



### 2 「エイゾウコウカ」を「マルチ」に設定する



### 5 押す



メニュー画面が消えます。

### 6 押す

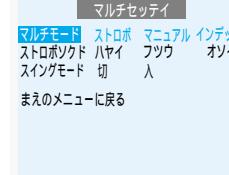


再生します。

### 3 「まえのメニューに戻る」にし、「マルチセッティ」を選ぶ



### 4 「マルチモード」を「マニュアル」に設定する



### 7 ポンと押す

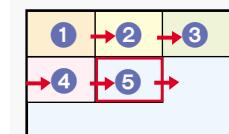


マルチモードになります。

### 8 取り込みたい場面でポンと押す



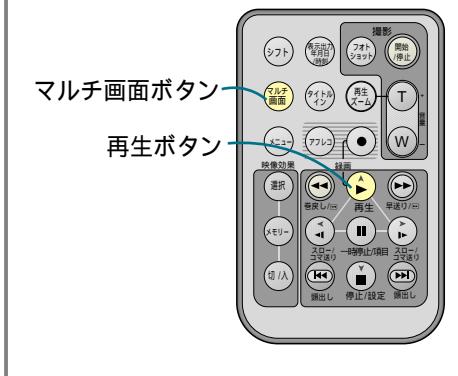
押すごとに左上から  
画像が表示されます。



9画面取り込むとテープは停止します。

### リモコンを使う場合

マルチ画面表示、再生操作ができます。

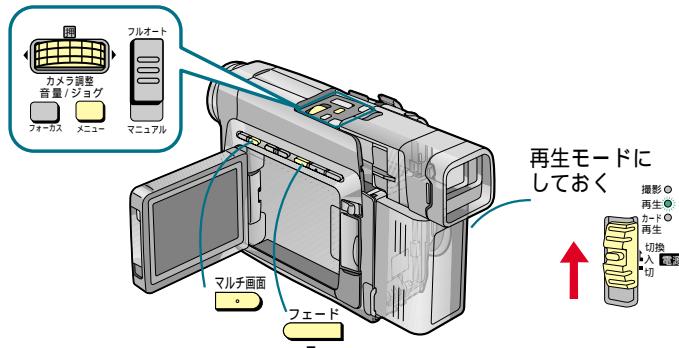


再生映像から任意に9画面取り込むときは

より楽しく



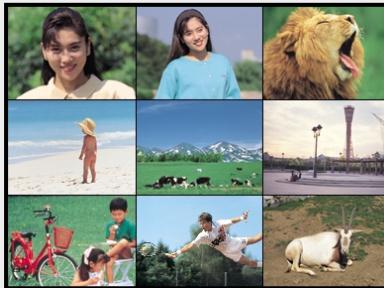
## 再生映像からインデックス信号で9画面取り込むときは (インデックス マルチモード)



### タイトル

**再生映像からインデックス信号で9画面取り込むときは  
(インデックス マルチモード)**

インデックス信号の付いた画像を9画面取り込みます。



#### インデックス信号について

インデックス信号には次の2種類があります。

**フォト**：フォトインデックス信号を使ってサーチし、画像を取り込みます。

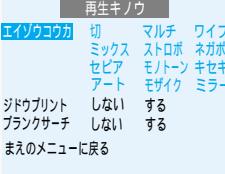
**シーン**：シーン（場面）インデックス信号を使ってサーチし、画像を取り込みます。

インデックス信号は、撮影時に自動で記録されます。（P61）

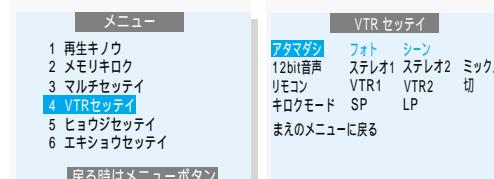
### 1 メニューで「再生キノウ」を選ぶ (P34)



### 2 「エイゾウコウカ」を「マルチ」に設定する



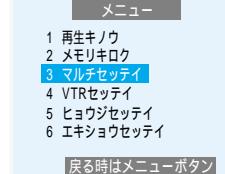
### 5 「まえのメニューに戻る」にし、「VTRセッティ」を選ぶ



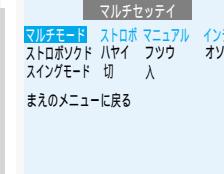
### 6 「アタマダシ」を希望の信号に設定にする



### 3 「まえのメニューに戻る」にし、「マルチセッティ」を選ぶ



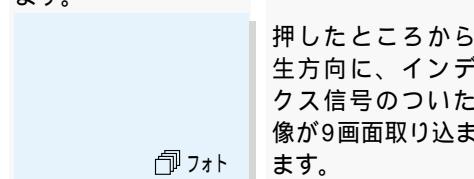
### 4 「マルチモード」を「インデックス」に設定する



### 7 押す



### 8 ポンと押す



リモコンを使う場合  
マルチ画面表示ができます。

マルチ画面ボタン



### お願い／ヒントなど

マルチ画面を消すには：  
インデックス信号のついた画像の取り込み後、マルチ画面ボタンをポンと押す、または再生する

マルチ画面を再表示するには：  
マルチ画面ボタンを1秒以上押す

途中で取り込みをやめるには：  
停止(■)ボタンを押す

9画面取り込まれるとテープは停止します。取り込まれる画像が8つ以下の場合は、テープの終端で停止します。

再生のマルチモードを「インデックス」に設定した後、「撮影」にすると、撮影のマルチモードの設定は「ストロボ」になります。

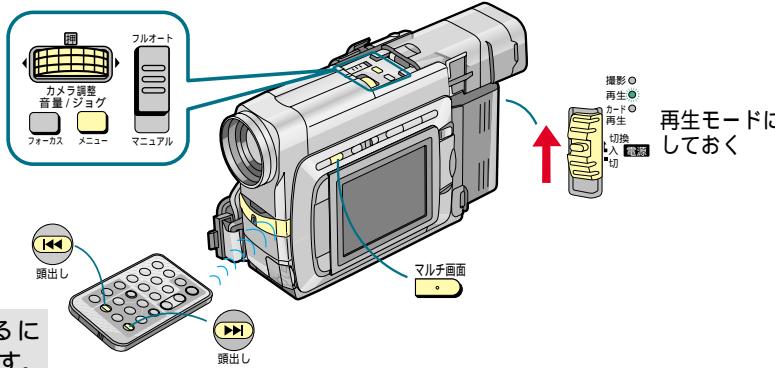
再生のマルチモード画面はDV端子(P114)、デジタル静止画端子(P121)から出力されません。

マルチ画面は画質が少し悪くなります。  
DV端子から入力映像がある場合、マルチ画面になりません。DV入力を止めてください。

画面にマルチモード表示(□フォト/□シーン)が出ているときにこの機能を使うことができます。



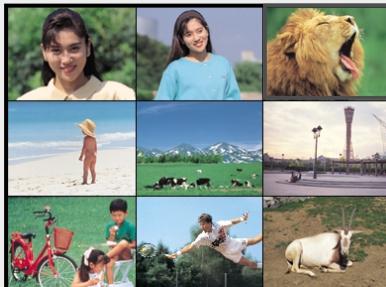
## 再生の9画面表示した画像から1枚さがすときは (マルチ画面サーチ)



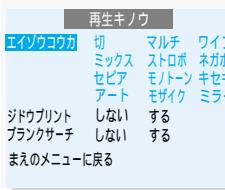
### タイトル

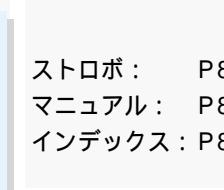
## 再生の9画面表示した画像 から1枚さがすときは (マルチ画面サーチ)

9画面の中の任意の画像のテープ位置をさがします。



- 1** メニューで「再生キノウ」を選ぶ (P34)  
  

- 2** 「エイゾウコウカ」を「マルチ」に設定する  
  

- 3** 「まえのメニューに戻る」にし、「マルチセッティ」を選ぶ  
  

- 4** 「マルチモード」を希望の設定にする  
  

- 5** 押す  

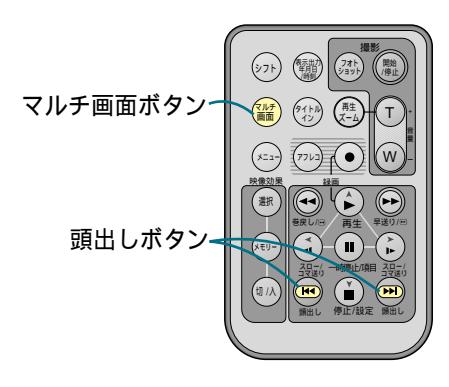
- 6** 押して、9画面表示にする  

- 7** 回して、さがす画像を選択する  
  
選んだ画像が赤枠で点滅します。  

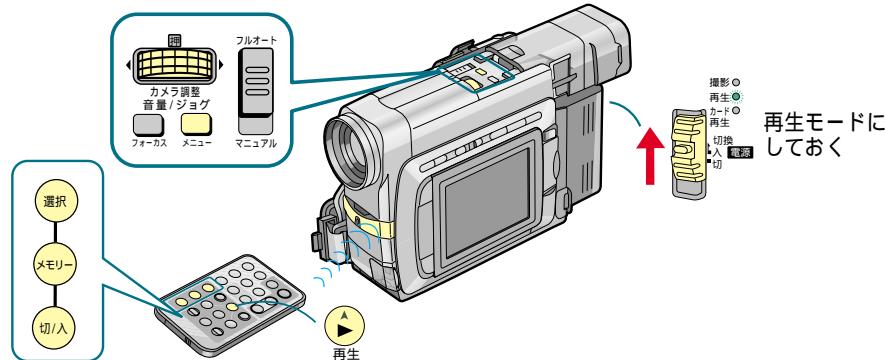
- 8** ポンと押す  
  
または  
  
選んだ画像のところで静止画再生となります。  


### リモコンを使う場合

マルチ画面表示、頭出し操作ができます



## 映像効果を入れて再生するときは



## 映像効果はメニューでも設定できます (P34)

- ① メニューで「再生キノウ」 ② 「エイゾウコウカ」を希望の設定にする  
を選び ③ 押して、メニュー表示を消す



### タイトル

## 映像効果を入れて再生するときは

撮影した映像に映像効果を入れて再生します。(再生映像効果)

映像効果は次の11種類です。

**マルチ** : 9画面取り込んで表示します。  
(P82~89)

**ワイプ** : 場面がカーテンを引くように変わります。

**ミックス** : 場面が重なりながら変わります。

**ストロボ** : コマ送りのような映像になります。

**ネガポジ** : ネガフィルムのような映像になります。

**セピア** : セピアカラーの映像になります。

**モノトーン** : 白黒映像になります。

**キセキ** : 映像の軌跡が残ります。

**アート** : 絵画のような映像になります。

**モザイク** : 映像にモザイクをかけます。

**ミラー** : 画面の中央に鏡を立てたような効果になります。

### 1 再生する



### 2 押して、希望の効果を選ぶ



押すごとに効果が変わります。  
効果を解除するには画面の映像効果表示を無表示にします。

### ワイプ・ミックス

「ワイプ」、「ミックス」に設定した場合、リモコンで次の操作をすると実際の効果が現れます。

### 1 再生する



### 効果の一時解除 押す



画面の映像効果表示が点滅します。  
ただし、マルチ、ワイプ、ミックス設定時は点滅しません。

### 1 再生する



### 2 メモリーしたいところで押す



画面の「ワイプ」、「ミックス」の文字が白黒反転します。

### 3 メモリー画像につなげる場面で押す



ワイプまたはミックス効果で場面が変わります。

### お願い／ヒントなど

#### 映像効果



#### ストロボ



#### モノトーン



#### モザイク



#### ミラー

映像効果を入れて再生するときは

より楽しく

再生時の映像効果のワイプ・ミックス、映像効果の切/入設定はリモコンでのみ操作できます。

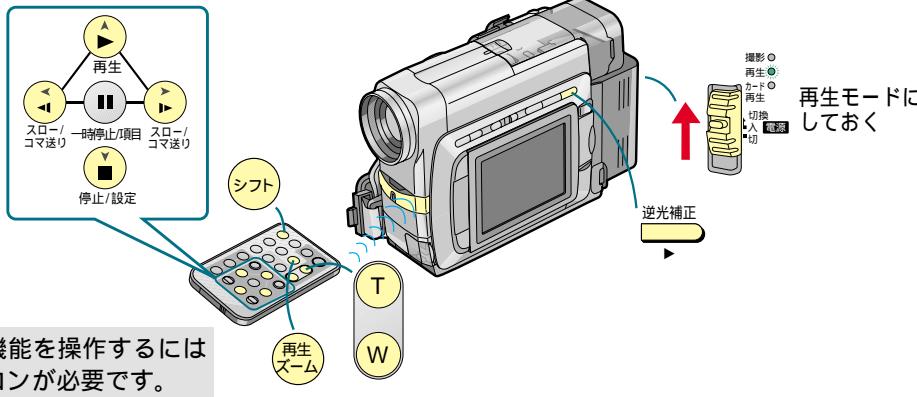
映像効果を入れた映像はDV端子(P114)、デジタル静止画端子(P121)から出力されません。

無記録部分(ブルーバック画面)からのワイプ、ミックスはできません。

ワイプ(ミックス)効果中にリモコンの「切/入」ボタンを押すと、効果を途中で止められます。再度押すと効果が続きます。

ミラーモードと再生ズーム(P92)は同時に使えません。

## 再生画面を大きく表示するときは（再生ズーム）



### タイトル 再生画面を大きく表示する ときは (再生ズーム)

テープの再生中に再生画面を拡大して表示することができます。  
(最大10倍まで)



#### 1 再生する 逆光補正



#### 2 押す 再生ズーム



画面の中央が約2倍に  
拡大されます。

元に戻すには：  
再度押す



#### 倍率を変える 倍率を変えることができます。

リモコンのズームボタンで倍率を変える  
ことができます。最大10倍まで拡大  
できます。

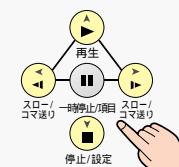


#### 拡大位置を変える 拡大している位置を変えることができます。

リモコンのシフトボタンを押しながら、  
方向ボタンを押します。  
押した方向に位置が変わります。



押しながら



テープが停止すると、拡大位置は中央に戻ります。

#### お願い／ヒントなど

再生ズーム時は、音量を変えることはで  
きません。

電源を切ると、再生ズームモードは解除  
されます。

再生ズームを使っても、DV端子(P114)、  
デジタル静止画端子(P121)から出力さ  
れるのはもとのテープ内容です。

再生映像効果のミラーモードと再生ズー  
ムは同時に使えません。

再生ズームは、拡大するほど画質が悪く  
なります。

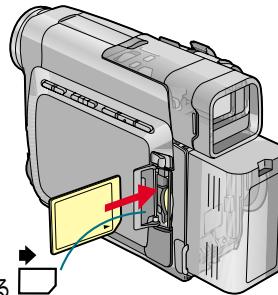
再生ズーム時にマルチ画面にすると、ズ  
ーム倍率が1倍(1×)になります。

再生画面を大きく表示するときは

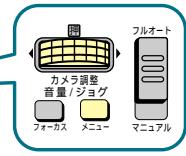
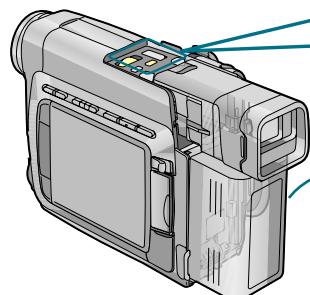
より楽しく

● カードを入れるときは

● 認識できないカードを使えるようにするには(フォーマット)



この表示に  
合わせて入れる

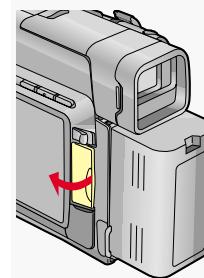


## タイトル カードを入れるときは

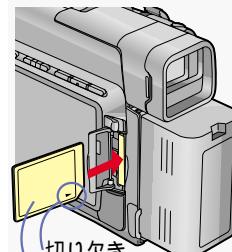
マルチメディアカードに画像を記録するため、本機にカードを入れておきます。(ご購入時はカードは本機に挿入されていません)

カードを出し入れするときは  
必ず電源を「切」にしてから、カードを出  
し入れしてください。

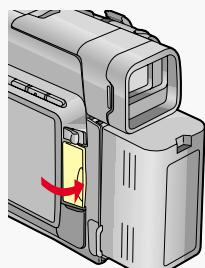
### 1 電源を「切」にしてから、開く



### 2 カードの切り欠きを下に、ラベルをファインダー側にして、まっすぐ最後まで押し込む



### 3 閉める

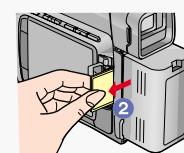


### 取り出すときは

電源を「切」にしてから、カードの側面の中央を押す



まっすぐ引き抜く



### お願い／ヒントなど

カードにアクセス(認識/記録/再生/消去/テープ伝送など)中は、カードを引き抜いたり、電源を切らないでください。カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。カード裏の接続端子部分に触れないでください。

カードが正しく入っているか確認し、カード扉を閉じてください。

## タイトル 認識できないカードを使える ようにするには(フォーマット)

本機で認識できない、またはできなくなったマルチメディアカードを使えるように初期化します。

初期化する前に

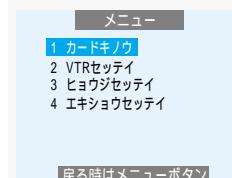
初期化するとカードに記録されているデータ(メモリー画像、オリジナルタイトル画像、プリセットタイトル画像)はすべて消去されます。

初期化すると、当社製のマルチメディアカードに収録されているタイトルもすべて消去されます。

### 1 カード再生ランプを点灯させる(P29)



### 2 メニューで「カードキノウ」を選ぶ(P34)



### 3 「フォーマット」を「する」にする 回して、押す



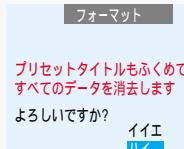
|         | しない | する |
|---------|-----|----|
| ガソウデンソウ | しない | する |
| ジドウプリント | しない | する |
| DPOF設定  | しない | する |
| フォーマット  | しない | する |

まえのメニューに戻る

### 4 回して「ハイ」を選び、押す



カードが初期化され  
ます。



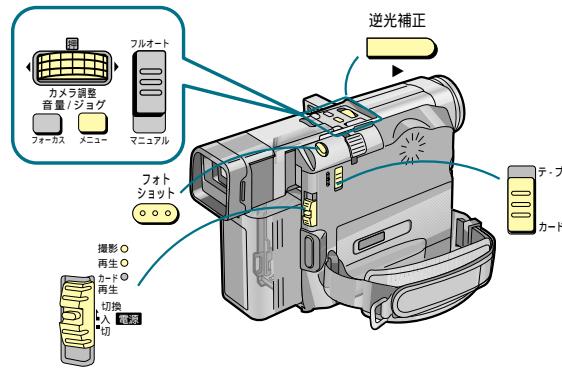
### お願い／ヒントなど

カードを初期化するときは、途中で電源が切れないように別売のACアダプターを使うことをおすすめします。

フォーマットが終了すると、白い画面になります。

カード再生モードに  
なります。

## 静止画をカードに記録するときは（カードフォトショット）



### タイトル

## 静止画をカードに記録するときは (カードフォトショット)

レンズを通した画像や撮影済みのテープの画像をマルチメディアカードに記録できます。

音声は記録できません。

シャッターコウカは働きません。

大切な画像はテープやパソコン（P100、122）などにも保存してください。電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などにより、カードのデータが壊れたり、消失することがあります。

### 1 撮影モードにする (撮影映像の記録)



### 5 押す

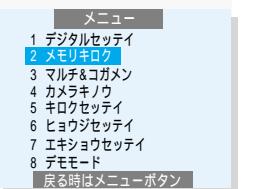


メニュー画面が消えます。

### 2 メニューで「メモリキロク」を選ぶ (P34)



#### 撮影モードの例



### 6 「カード」にする



N 残11枚

### リモコンを使う場合

カードフォトショット、再生操作ができます。



### お願い／ヒントなど

#### メモリーショットについて

「メモリショット」で記録する画像の種類を選びます。（手順3）

フレーム：止まっているものをきれいな画像で記録するとき  
(動きのあるものを記録すると、ぶれた画像になります)

フィールド：動きのあるものを記録するとき

#### メモリー画質について

メモリー画像の画質は「ファイン」、「ノーマル」、「エコノミー」の3種類から選びます。（手順4）

ファイン : 最大約25枚記録できます。

ノーマル : 最大約50枚記録できます。

エコノミー : 最大約100枚記録できます。

枚数は付属のマルチメディアカード(4MB)使用時です。別売のマルチメディアカード/VW-MMT8(8MB)を使うと、記録できる画像数も2倍になります。「ファイン」に設定すると高画質な画像となり、「エコノミー」に設定すると多くの画像を記録できます。

記録可能枚数はおおよそのめやすです。細かいものや複雑な画像を記録すると、カードの消費メモリーが多くなるため、記録可能枚数は少くなります。

カード画像の画質を「エコノミー」に設定すると、シーンによってモザイク状になることがあります。

#### 画面の表示について

: フォトショット画像をカードに記録できることを表します。記録中は赤色になります。

残00枚 : カードにあと何枚記録できるかを表します。（枚数はめやすです。1枚記録したときに、残り枚数が2枚減ることや1枚も減らないことがあります）

N(F、E) : 設定したメモリー画質を示します。Nはノーマル、Fはファイン、Eはエコノミーを表します。

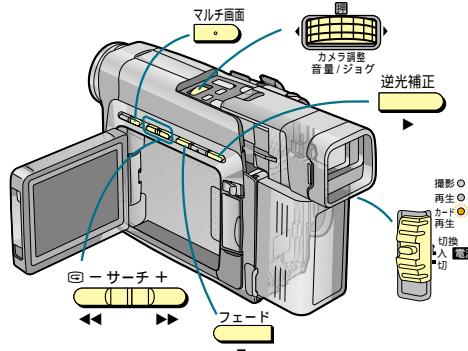
撮影中にカードフォトショットすると、撮影は一時停止になります。

静止画をカードに記録するときは

より楽しく

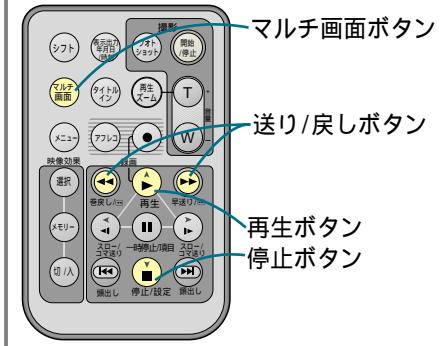


## カードのメモリー画像を再生するときは（カード再生）



### リモコンを使う場合

再生画像の送り、戻し、連続再生、停止、マルチ画面表示ができます。



#### タイトル

## カードのメモリー画像を再生するときは（カード再生）

マルチメディアカードに記録している画像を本機で再生します。

画像を再生する

#### 1 カード再生ランプを点灯させる (P29)



カード再生モードになります。  
最後に記録した画像が再生されます。

#### 次の画像を再生する 押す



押すごとに次の画像が再生されます。  
最後に記録した画像の次は最初の画像になります。

#### 前の画像を再生する 押す



押すごとに前の画像が再生されます。

#### 連続で再生する 押す



メモリー画像が約5秒ずつ連続再生します。

最初の再生画像に戻って停止します。  
途中でやめるときは停止 (■) ボタンを押します。

#### お願い／ヒントなど

カードにメモリー画像が記録されていない場合は白い画面になり、日付、日時が「- -」表示になります。

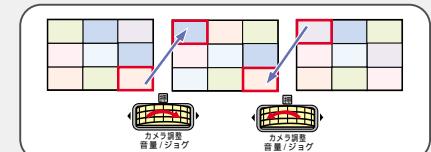
タイトルを入れて再生できます。(P102)  
形式の異なる画像や壊れた画像を再生したときは、画面中央に「×」が表示され、「再生できません」というメッセージが出る場合があります。

マルチ画面での画像選択はリモコンではできません。マルチプッシュダイヤルをお使いください。

カード再生時のメモリー画質表示 (F、N、E) は記録画像のデータ量を示しています。(F: 約128KB、N: 約64KB、E: 約32KB)

データ量は記録する画像の細かさなどで影響されますので、記録時のメモリー画質設定と一致しないことがあります。例えば、「N(ノーマル)」に設定して記録した画像を再生したときに、「F(ファイン)」や「E(エコノミ-)」と表示されることがあります。

メモリー画像をマルチ画面表示する場合、画像が10枚以上記録されていると一度に表示できません。マルチプッシュダイヤルを回して、次のマルチ画面を表示させます。



#### タイトル

## マルチ画面表示から画像を選んで再生する



#### 1 カード再生ランプを点灯させる (P29)



カード再生モードになります。  
最後に記録した画像が再生されます。

#### 2 押す



メモリー画像がマルチ画面表示されます。

#### 3 回して、希望の画像を選ぶ



選んだ画像が赤枠で囲まれます。

#### 4 押す



または



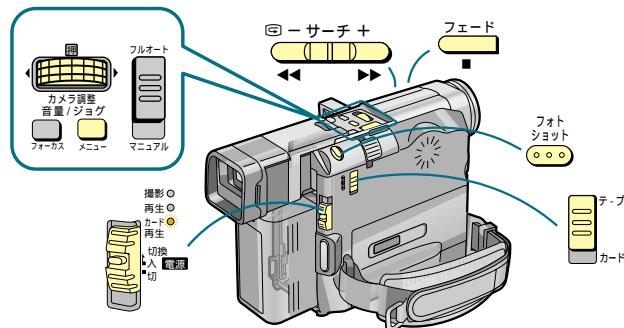
選んだ画像が表示されます。

カードのメモリー画像を再生するときは

より楽しく

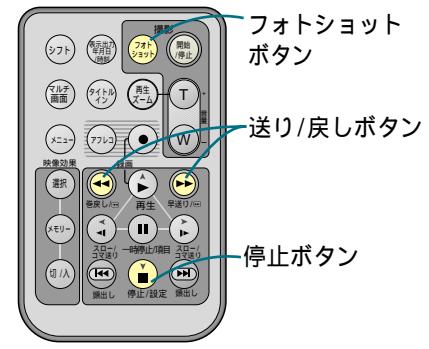


## カードのメモリー画像をテープに記録するときは



### リモコンを使う場合

送り、戻し、伝送の停止、フォトショットボタン操作ができます。



#### タイトル

## カードのメモリー画像をテープに記録するときは

大切な画像はテープに保存しておきましょう。

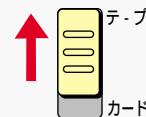
### 任意のメモリー画像を記録する

#### 1 カード再生ランプを点灯させる (P29)



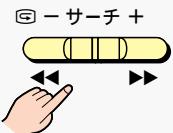
カード再生モードになります。

#### 2 「テープ」にする



カード再生モードになります。

#### 3 テープに記録したい画像を表示させる (P98)



#### 4 押す



画像が約7秒間テープに記録されます。

#### お願い／ヒントなど

画像伝送を途中でやめるには  
停止 (■) ボタンを押す

テープにメモリー画像を記録する前に、  
ブランクサーチ機能 (P58)などを使つて、  
メモリー画像を記録するテープ位置  
をさがしておくことをおすすめします。  
カードのメモリー画像をテープに記録した  
場合、自動的にインデックス信号が記  
録されますので、頭出し (P60) や自動  
プリント (P116) ができます。

画像伝送でメモリー画像を記録した場  
合、記録した画像と画像の間に約1秒間  
のスクロール映像が記録されます。

画像伝送したテープを再生すると、スク  
ロール映像のところで、日時表示が一瞬  
消えます。

記録中は「メモリ画をテープに記録中で  
す」という表示と、記録している画像の  
データ番号 (No.00) が表示されます。

#### タイトル

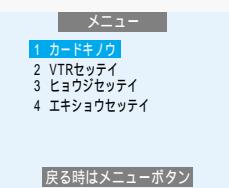
## メモリー画像をすべて記録する (画像伝送)

#### 1 カード再生ランプを点灯させる (P29)



カード再生モードになります。

#### 2 メニューで「カードキノウ」を選ぶ (P34)

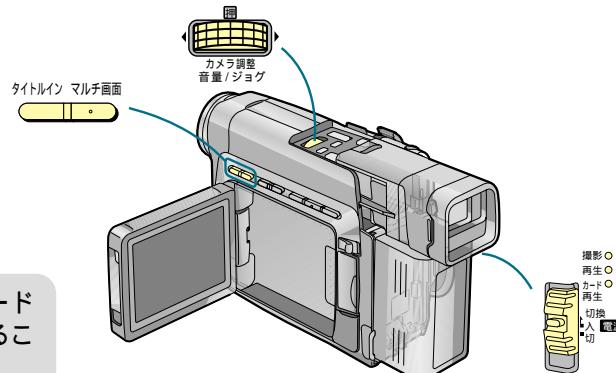


#### 3 「ガゾウデンソウ」を「する」にする





## タイトルを入れるときは(タイトルイン)



タイトルは撮影、再生、カード再生のどのモードでも入れることができます。

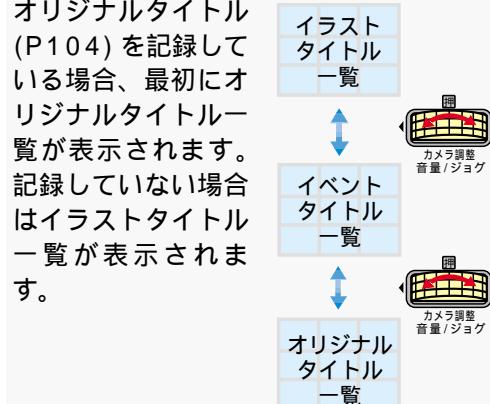
| タイトル  |
|---|
| <b>タイトルを入れるときは<br/>(タイトルイン)</b>   |
| 付属のマルチメディアカードには以下のイラストタイトルとイベントタイトルが9つずつ入っています。(プリセットタイトル)<br>この中からタイトルを選んで、表示させることができます。             |
| <b>イラストタイトル</b><br> |

| 運動会     | 発表会      | お・わ・り   |
|---------|----------|---------|
| おたんじょうび | 入学式      | 卒業式     |
| Party   | Vacation | Wedding |

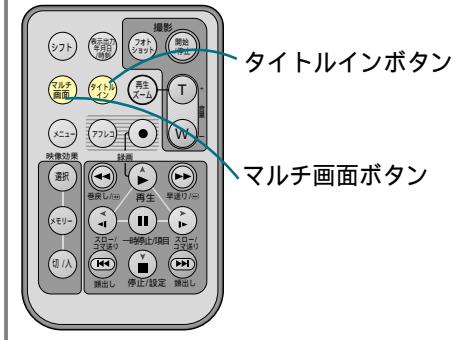
|                             |   |                |   |
|-----------------------------|---|----------------|---|
| <b>1</b>                    | 押す  | <b>2</b>       | 押す  |
|                             |  |                |    |
| タイトルが表示されます。                |   | タイトルが一覧表示されます。 |   |
| <b>表示を消すには</b><br><b>押す</b> |   |                |  |

|          |   |          |   |
|----------|---|----------|---|
| <b>3</b> | 回して、希望のタイトルを選ぶ  | <b>4</b> | 押す  |
|          |  |          | <br>または<br> |

| タイトル表示について  |
|---|
| オリジナルタイトル(P104)を記録している場合、最初にオリジナルタイトル一覧が表示されます。記録していない場合はイラストタイトル一覧が表示されます。 |



リモコンを使う場合  
タイトルイン操作、タイトル一覧表示ができます。



## お願い／ヒントなど

再生モードでタイトルを表示している場合、タイトルはDV端子(P114)、デジタル静止画端子(P121)から出力されません。

タイトルインボタンを押すと(手順1)、最後に作ったオリジナルタイトル(P104)が表示されます。オリジナルタイトルを作っていない場合はプリセットタイトルが表示されます。

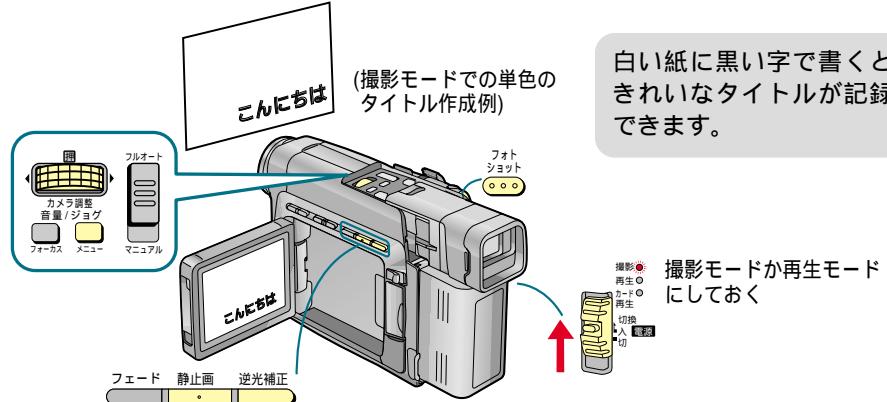
タイトルを入れると、マルチ画面になりません。

タイトルを入れるときは

より楽しく



## タイトルを作るときは（タイトル作成）



## タイトル を作るときは (タイトル作成)

タイトルを作り、カードに記録します。記録したオリジナルタイトルは撮影時、再生（カード再生）時に表示させることができます。（P102）

単色のタイトル



\* 文字をタイトル  
インした例

原色のタイトル



\* 右図のBをタイトル  
インした例

### 1 撮影モード： 撮影モードにする

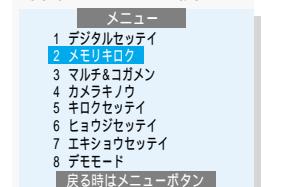
再生モード：  
再生モードにして、  
タイトルにする画像  
を静止画再生する



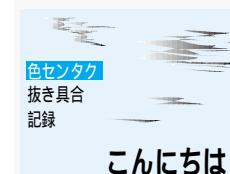
### 2 メニューで「メモリキロク」を選ぶ (P34)



#### 撮影モードの例



### 5 回して、「色センタク」、「抜き具合」 を選び、押す



### 6 色選択

回して、色を選んで、  
押す（右記参照）



## リモコンを使う場合

フォトショット、再生、静止画ができます。



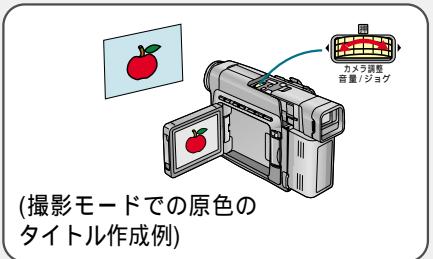
フォトショット  
ボタン

再生ボタン

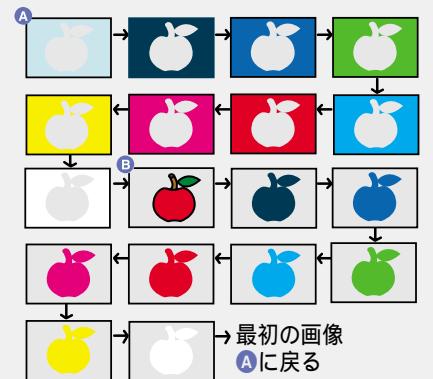
静止画ボタン

## お願い／ヒントなど

### 色選択について



マルチプッシュダイヤルを回すと、以下  
のように色が変わります。（右に回した場合）



タイトルを作るときは

より楽しく

A: もとの画像の暗い部分（黒っぽい部分）が抜けたタイトルになります。

B: もとの画像の明るい部分（白っぽい部分）が抜けたタイトルになります。

抜き具合を調整してもタイトルにしたい  
画像の明暗差が少ない部分や明暗の境目  
がきれいに抜けないことがあります。  
細かいものをタイトルにすると、きれい  
に出ないことがあります。

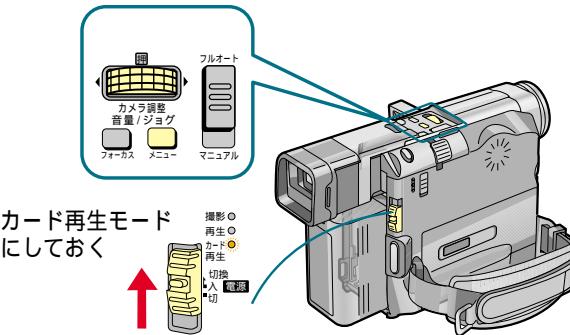
タイトルの記録中は「タイトルを記録中  
です」と表示がでます。

ピントが合いにくいときは、マニュアル  
フォーカス（P62）でピントを合わせて  
から、タイトル作成をしてください。

オリジナルタイトルを記録すると、記録  
できるメモリー画像が少なくなります。  
メモリー画像の記録可能枚数が残り少  
ない場合、オリジナルタイトルが記録され  
ていないことがあります。



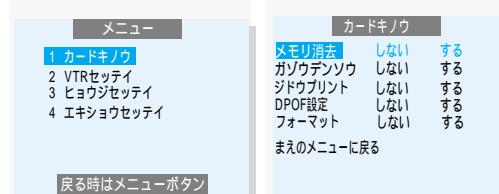
## カードの画像を消去するときは（メモリー消去）



### タイトル カードの画像を消去するときは (メモリ - 消去)

マルチメディアカードに記録した画像を消去します。  
一度消去した画像は元に戻りません。

- 1 メニューで「カードキノウ」を選ぶ (P34)  
回して、押す
- 2 「メモリ消去」を「する」にする  
回して、押す

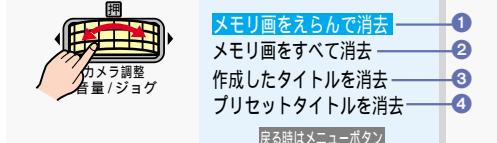


- 4 回して、消したい画像を選び、押す  
選んだ画像が点滅します。
- 5 押す

確認のメッセージが表示されます。  
マルチプッシュダイヤルを回し、前後の9画面に移動しようとしたときにもメッセージが表示されます。



- 3 回して、消したい画像の種類を選び、押す  
メモリ消去



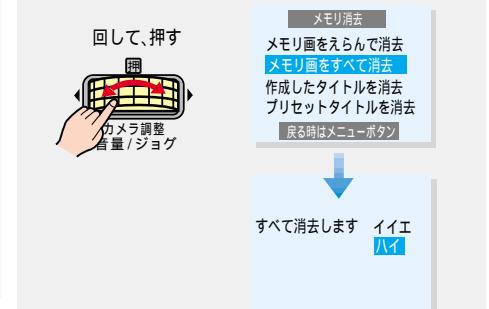
- 1 メモリー画像を9画面から選んで消去する
- 2 メモリー画像をすべて消去する (右記参照)
- 3 オリジナルタイトルの画像を9画面から選んで消去する
- 4 プリセットタイトル画像を9画面から選んで消去します。

- 6 「ハイ」を選び、押す  
選んだ画像がカードから消去されます。
- 7 「ハイ」を選び、押す  
選んだ画像の選択がすべて解除されます。

消去しますか? イエ  
ハイ

メニューボタンを押すと、カード再生画面に戻ります。

**お願い/ヒントなど**  
カードのメモリー画像をすべて消去するときは (手順3の②)  
手順3で「メモリ画をすべて消去」を選んで押し、確認画面で「ハイ」を選び押す



手順4で、点滅している画像を選び、マルチプッシュダイヤルを押すと、画像が点滅から点灯に戻ります。(消去画像の選択が解除されます)

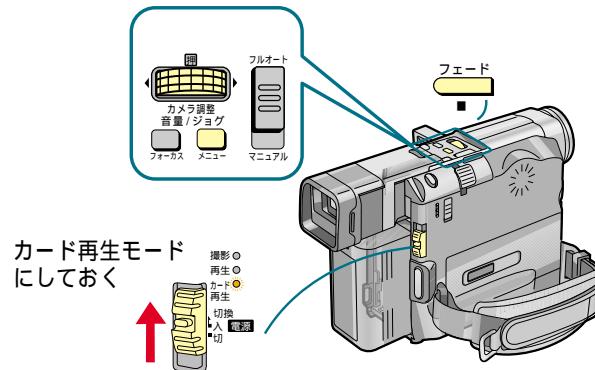
手順4で、表示中の9画面の中から複数の画像を選んで、消去することができます。

カードの画像を消去するときは

より楽しく



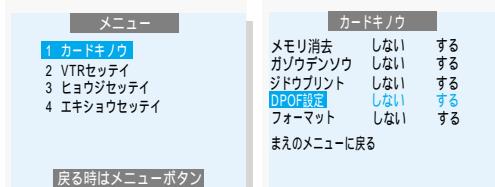
## プリント情報をカードに書き込むときは（DPOF設定）



### タイトル プリント情報をカードに書き込むときは (DPOF設定)

プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOFデータ）をマルチメディアカードに書き込むことができます。

- 1 メニューで「カードキノウ」を選ぶ（P34）  
回して、押す
- 2 「DPOF設定」を「する」にする  
回して、押す



- 5 回して、プリント枚数を設定し、押す
- 6 手順4、5を繰り返し、設定が終わったら押す

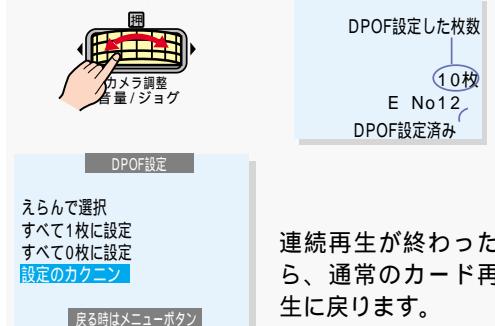


DPOF : Digital Print Order Formatの略です。将来におけるラボプリントサービスなど、DPOF対応のシステムで活用できるようにカードのメモリー画像にプリント情報などを付加できるようにしたものです。

- 3 回して、「えらんで設定」を選び、押す
- 4 回して、設定したい画像を選び、押す



- 手順3で「設定の力クニン」を選び、押す
- DPOF設定で1枚以上に設定している画像が連続再生されます。



**プリント情報をカードに書き込むときは**  
すべての画像を1枚ずつプリントするように設定するには：  
手順3で「すべて1枚に設定」にする  
(本機で記録した画像はすべて0枚に設定されています)

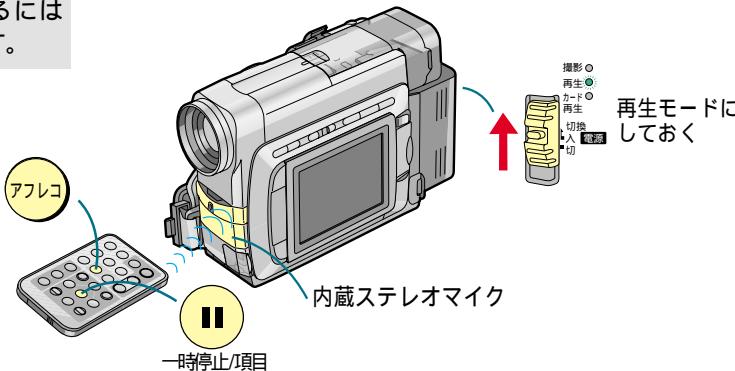
すべての画像をプリントしないように設定するには：  
手順3で「すべて0枚に設定」にする

DPOF設定の確認を途中でやめるには：  
停止（■）ボタンを押す

プリント枚数は0～99枚まで設定できます。  
DPOFデータの書き込み中は、「DPOFデータを設定中です」と表示が出ます。  
DPOFでプリント枚数を1枚以上に設定している画像には「」が表示されます。  
DPOF設定で1枚以上に設定している画像が多数ある場合、電源を入れたあと、カードが使えるまでに時間がかかります。

## 撮った後に別の音声を入れるときは(アフレコ)

この機能を操作するには  
リモコンが必要です。



### タイトル

## 撮った後に別の音声を入れるときは (アフレコ)

内蔵マイクや外部マイク端子を使って、撮った映像に後からBGMやナレーションを入れることができます。

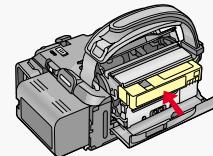
アフレコ録音する前に

撮影時の音声も残したい場合は「キロクセッティ」メニューの「音声キロク」を「12bit」にして撮影する(撮影時に「16bit」になっていると、アフレコ録音後、撮影時の音声は消えます)

「キロクセッティ」メニューの「キロクモード」を「SP」にして撮影する('LP'モードで撮影した部分にはアフレコできません)

### 1

#### 撮影済みのカセットを入れる



カセットの誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているとアフレコできません。(P52)

### 2

#### 音声を入れたいところをさがす

早送り再生、巻戻し再生、可変速サーチ機能を使うと便利です。(P52)

### 5

#### 押して、録音を始める



アフレコ▷

録音が始まるので、

本機の内蔵ステレオマイクに向かって音声を入れます。マイク端子で音声機器とつないでいれば、音声機器の音声を再生します。

### 3

#### 静止画再生にする



▷

### 6

#### 録音をやめるには

押す



▷

### 4

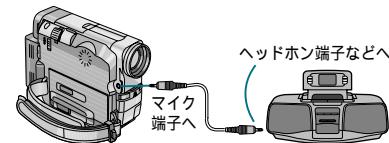
#### 押す



アフレコ▷

### 外部音声機器を使ったアフレコ

以下の接続コード(別売)を使用します。  
大型ステレオプラグのヘッドホン端子の場合は大型・ミニ録音コードS/RP-CA6A  
ピンプラグ×2の出力端子の場合は大型・ミニラインコードS/RP-CA59A  
ミニステレオプラグのヘッドホン端子の場合はミニ・ミニ録音コードS/RP-CA2A



### お願い／ヒントなど

無記録部分にアフレコはできません。  
アフレコ中に無記録部分があると、その部分を再生したときに、映像、音声が乱れます。

DV端子からの音声をアフレコすることはできません。

アフレコ録音のときに、カウンターメモリー機能を使うと便利です。(P145)

アフレコした音声を聞くには  
「VTRセッティ」メニューの「12bit音声」の設定によって、アフレコ音声と元の音声を切り換えることができます。(P34)  
ステレオ1：元の音声を再生します。  
ステレオ2：アフレコ音声を再生します。  
ミックス：元の音声とアフレコ音声を同時に再生します。

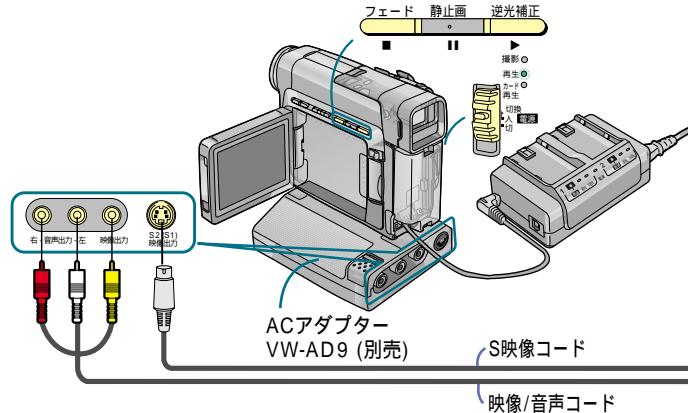
音声を聞きながらアフレコするには  
「VTRセッティ」メニューの「12bit音声」を「ステレオ2」または「ミックス」に設定し、ヘッドホンを使うと、音声を聞きながらアフレコできます。(ヘッドホン端子は別売のアクセサリーキット内のAVワンタッチステーションについています)

撮った後に別の音声を入れるときは

より楽しく



## S-VHS(VHS)カセットにコピーするときは(ダビング)

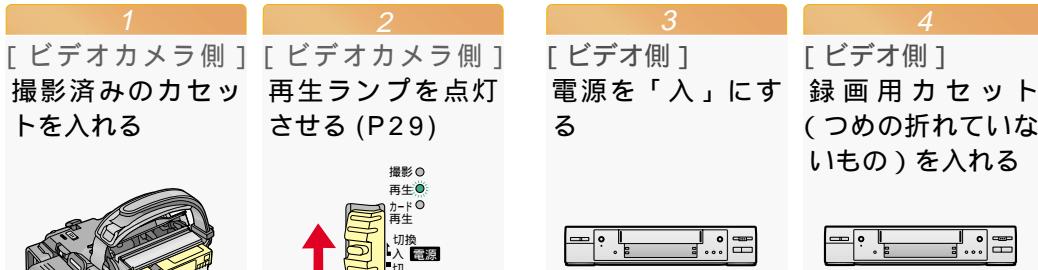


### タイトル S-VHS(VHS)カセットに コピーするときは (ダビング)

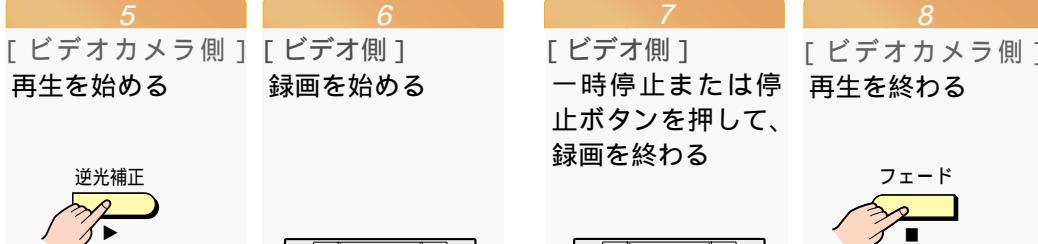
本機で撮った作品を、ビデオを使ってS-VHSまたはVHSカセットにダビングすることができます。また、再生時の映像効果を使って楽しめます。

付属の映像/音声コード(ミニジャック対応)を使用してもダビングできます。(P56)  
S映像コード、映像/音声コードはアクセサリーキットに入っています。

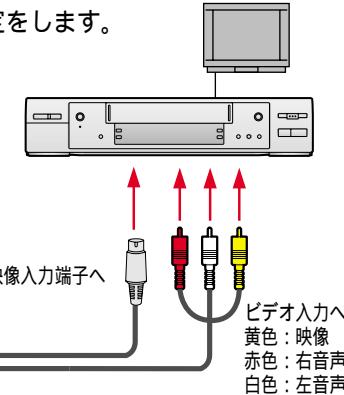
ダビングする前に  
ダビングするときは、リモコンのシフトボタンを押しながら、表示出力ボタン(P57)を押して、機能表示を消しておいてください。  
表示されたままでは、カウンター表示や機能表示などが映像に入ったままダビングされてしまします。



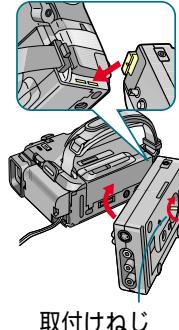
カセットを入れた後、  
上図のように接続し  
ます。  
再生モードになります。



ビデオ側で入力切換  
の設定をします。

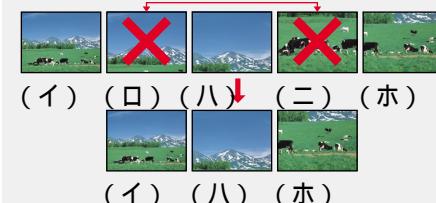


AVワンタッチステーションの付けかた  
底面に付け、ねじで固定します。  
詳しくはアクセサリーキットの説明書を  
お読みください。



**お願い／ヒントなど**  
ビデオ側で入力切換などの設定が必要で  
す。ビデオの説明書をお読みください。

録画時に不要な場面をカット(編集)  
したいときは

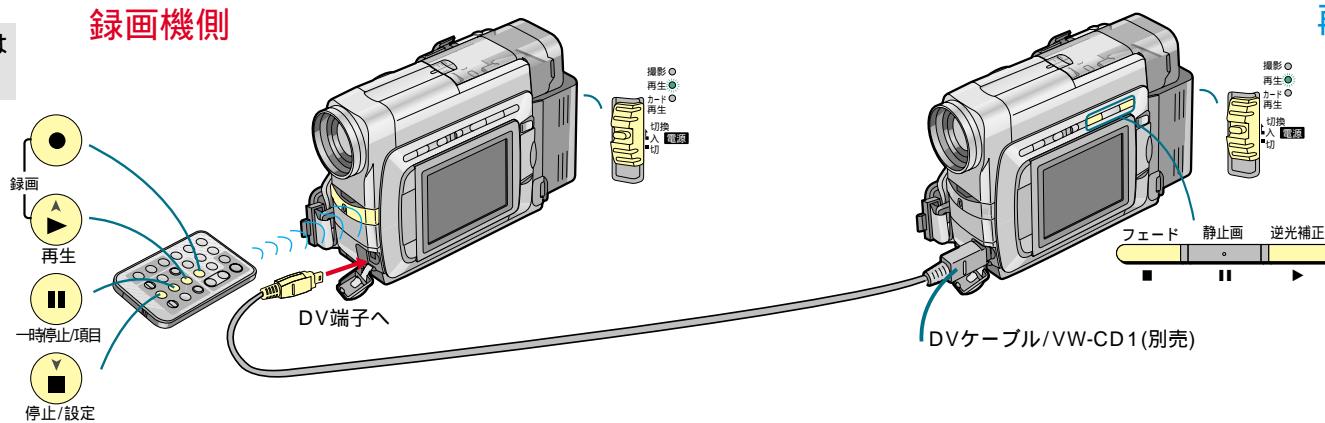


- ① カットしたいところ(口)でビデオを一時停止する
- ② 録画したい場面(ハ)が現れたらビデオで録画する
- ③ 操作①・②をくり返して編集する



## デジタルビデオ機器とつないで使うときは(デジタルダビング)

この機能を操作するには  
リモコンが必要です。



### タイトル デジタルビデオ機器とつな いで使うときは (デジタルダビング)

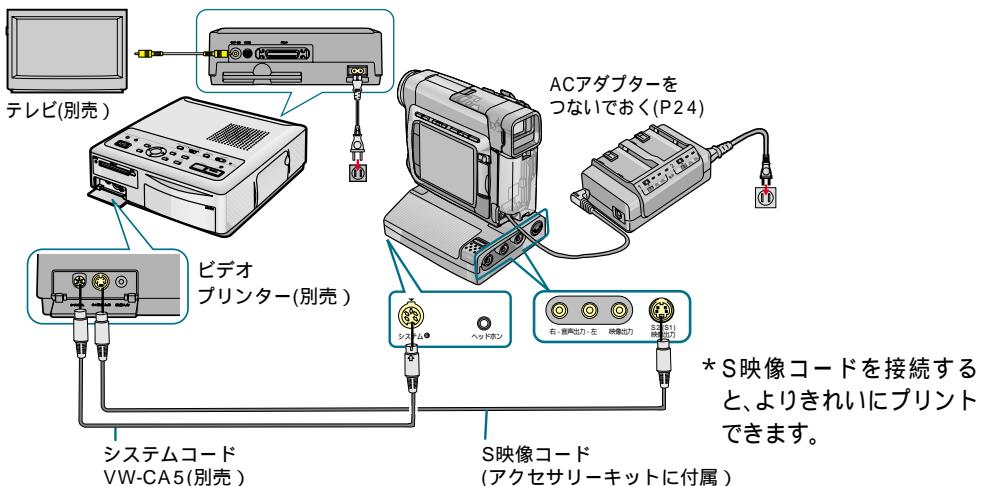
DV出入力端子(i.LINK)を持ったデジタルビデオ機器どうしをDVケーブルVW-CD1(別売)でつなぐと、デジタル信号による高画質なダビングができます。

上図のように接続した後、操作してください。

| タイトル<br>デジタルビデオ機器とつな<br>いで使うときは<br>(デジタルダビング) | 1<br>[再生機側]<br>再生ランプを点灯させる(P29) | 2<br>[録画機側]<br>再生ランプを点灯させる(P29)     | 3<br>[再生機側]<br>撮影済みのカセットを入れる           | 4<br>[録画機側]<br>録画用のカセットを入れる  | お願い／ヒントなど   |
|---|---------------------------------|-------------------------------------|--|------------------------------|---|
|   |                                 |                                     |  |                              | 2台の当社製デジタルビデオカメラをお使いの場合、リモコン設定をそれぞれ「VTR1」、「VTR2」にしておくとリモコンによる誤動作を防ぐことができます。(P31)<br>録画機側のメニューの設定に関係なく、再生テープの「音声キロク」モードと同じモードでダビングされます。<br>録画機側のモニター映像(液晶モニターやファインダー、テレビに映した映像)の画面下部がゆがんだり、上下にゆれることがあります、故障ではありません。実際に記録される映像には影響ありません。<br>再生の映像効果(P90)、再生ズーム(P92)、再生のタイトルイン(P102)を使っても、ダビングされるのはもとのテープ内容です。<br>ダビング中にDVケーブルを抜き差ししないでください。正常にダビングできないことがあります。<br>著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像を本機で録画すると、再生時に映像がモザイクになります。<br>DV端子からの入力映像にタイトルを入れてテープに記録することはできません。<br>「VTRセッティ」メニューの「キロクモード」を「LP」にしておくと、「SP」モードの1.5倍長く記録できます。(P145) |
|   | 再生モードになります。                     | 再生モードになります。                         |  | カセットの誤消去防止つまみは「REC」側にしておきます。 |   |
|   | 5<br>[再生機側]<br>再生を始める           | 6<br>[録画機側]<br>録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押す | 7<br>[録画機側]<br>一時停止または停止ボタンを押して、録画を終わる | 8<br>[再生機側]<br>再生を終わる        |   |
|   |                                 |                                     |  |                              |   |

# 本機の自動プリント機能を使うときは

5ピン型システム（編集）端子を持った当社製ビデオプリンターの場合、自動でプリントすることができます。  
ビデオプリンターの説明書もお読みください。



## フォトインデックス信号の付いた静止画像の自動プリント

### ビデオプリンター側

- ① 電源を入れる
- ② 入力信号の設定をする

### ビデオカメラ側

- ③ 再生モードにする
- ④ 撮影済みのカセットを入れる

⑤ 自動プリントを開始する部分を頭出し（フォトサーチ）（P60）しておく（テープ始端にしておくとフォトインデックス信号付きの画像をすべてプリントします）

⑥ 「再生キノウ」メニューで「ジドウプリント」を「する」に設定する（P34）

自動プリントが始まります。

自動プリントを途中でやめる場合：  
本機の停止（）ボタンを押す

- カードフォトショット画像の自動プリント  
カードに記録されているメモリー画像がすべてプリントされます。

### ビデオプリンター側

- ① 電源を入れる
- ② 入力信号の設定をする
- ビデオカメラ側
- ③ 記録済みのカードを入れる
- ④ カード再生モードにする
- ⑤ 「カードキノウ」メニューで「ジドウプリント」を「する」に設定する

自動プリントを途中でやめる場合：  
本機の停止（）ボタンを押す

## マルチ画面の自動プリント

マルチ画面から任意の画像を1枚選んで自動プリントします。

### ビデオプリンター側

- ① 電源を入れる
- ② 入力信号の設定をする
- ビデオカメラ側
- ③ 再生モードにする
- ④ 撮影済みのカセットを入れる
- ⑤ マルチ画面表示にする（P82～89）

- ⑥ マルチプッシュダイヤルを回して、プリントしたい画像を選ぶ（P88）
- ⑦ 「再生キノウ」メニューで「ジドウプリント」を「する」に設定する（P34）

自動プリントが始まります。

プリントするときは、以下のことに気を付けてください。

ビデオプリンターご使用時のお願い  
ビデオプリンターを使う前に、リモコンのシフトボタンを押しながら、表示出力ボタン（P57）を押して、機能表示を消してください。表示された状態では、カウンター表示や機能表示などもプリントされてしまいます。  
9画面の画像をプリントするときは、マルチモード（P82～89）の画像をそのままプリントするよりも、プリンター側で「異画面マルチ」モードを「9面」に設定して、プリントすることをおすすめします。よりきれいにプリントできます。  
本機とビデオプリンターとの接続が誤っていたり、プリンター側にインクや用紙がないときは「プリンターエラー」の表示が出ます。

### 自動プリント時のお願い

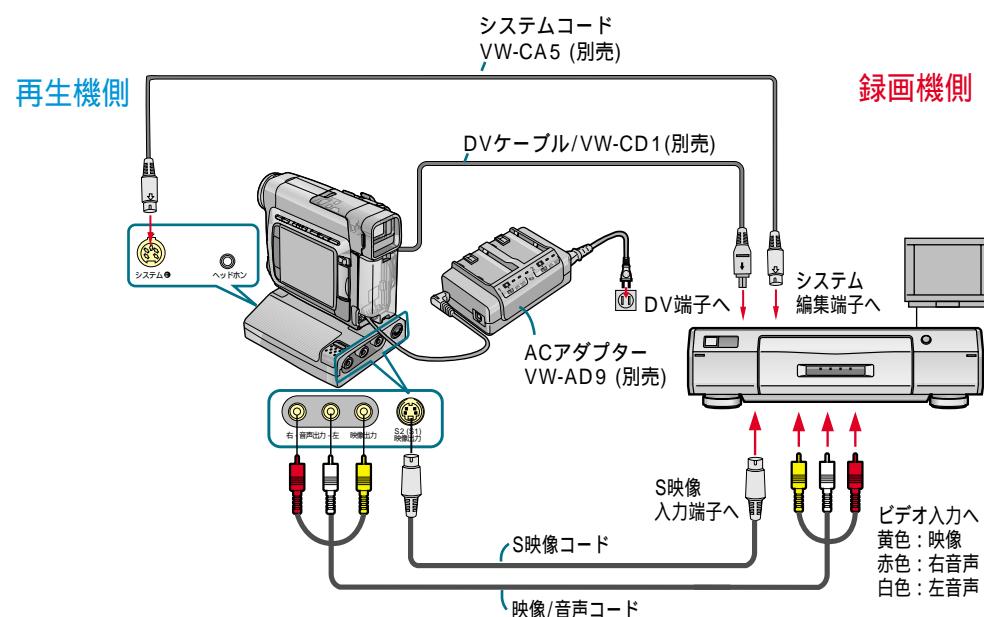
連写フォトショットの画像はインデックス信号が入りませんので、自動プリントできません。  
マルチモードの画面から任意の画像を選んで自動プリントすると、選んだ画像が多少前後にずれることがあります。  
ビデオプリンター側の熱さまし処理で、自動プリントを停止する場合があります。このときは再度、メニューの「ジドウプリント」を「する」に設定してください。

### 自動プリント中には

- ・1枚目のプリントが抜けことがあります。
- ・インクや用紙の交換をすると、同じプリントが2枚出ることがあります。
- ・テープ始端付近の画像がプリントできないことがあります。
- ・テープに画像が連続して記録されるとプリントが抜けことがあります。

## ● デジタルビデオカセットレコーダーをつないで使うときは

デジタルビデオカセットレコーダーとつなぐと、高度な編集作業ができます。



デジタルビデオカセットレコーダーの説明書をよくお読みください。

接続を行うときは、各機器の電源は「切」にしてください。

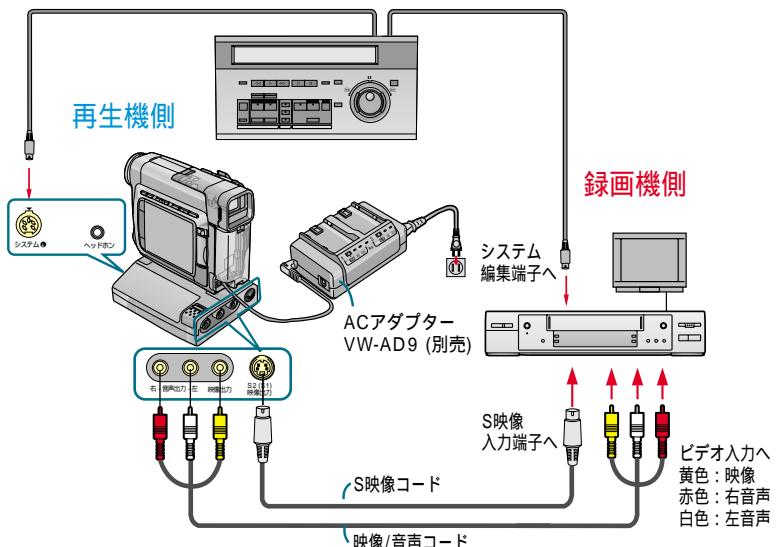
デジタルビデオカセットレコーダーとDVケーブルで接続するだけでも以下の編集ができます。

- ・ダビング編集・ビデオインサート
- ・オーディオインサート・アッセンブル編集

この場合、デジタルビデオカセットレコーダーの入力切換は「DV入力」に、編集端子切換スイッチは「DV」にしてください。

## ● 編集コントローラーをつないで使うときは

5ピン型システム（編集）端子を持った当社製編集コントローラー（ホームエディティングコントローラーなど）とつなぐと、編集コントローラー側で、本機の操作を制御することができます。



編集コントローラーの操作方法は、編集コントローラーの説明書をお読みください。

ビデオは、当社製で5ピン型システム（編集）端子の付いたものが必要です。

編集コントローラーVW-EC1 (別売)をつなぐときは、編集コントローラーとビデオをシステム（編集）端子で接続する必要はありません。リモコンによる制御となりますので、編集端子が付いていないビデオでも編集ができます。

編集コントローラーには、VW-EC500またはVW-EC1をお使いになることをおすすめします。

ACアダプター、AVワンタッチステーション、映像／音声コード、S映像コードは、別売のアクセサリーキットに入っています。

- ・タイムコードで編集する場合
- ・「ヒュウジセッティ」メニューの「ガメンヒュウジ」を「タイムコード」にし、タイムコードを液晶モニターに表示させてください。(P130)

液晶モニターまたはファインダーにタイムコードが表示されているときには、システム編集端子からタイムコード信号が outputされます。

カウンター表示時は、リニアカウンター信号を出力します。

## パソコンにつないで使うときは

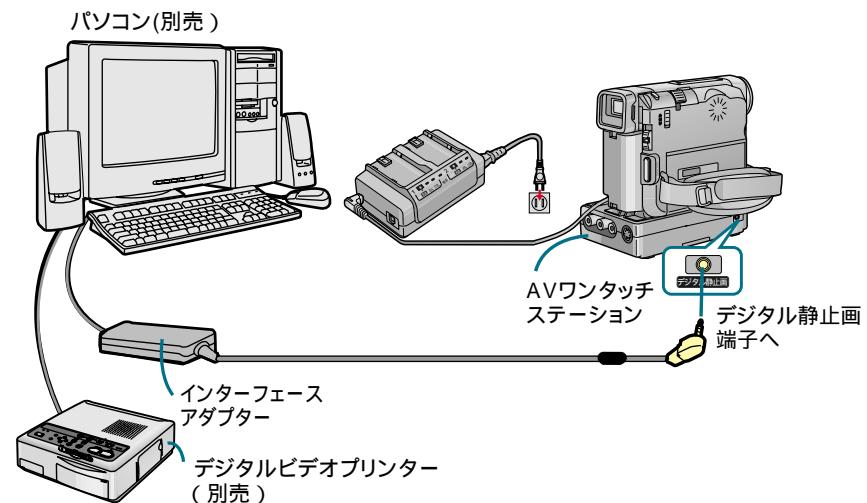
別売のデジカム用パソコン静止画キットVW-DTA2W (Windows<sup>®</sup>95用) /VW-DTA2M (Macintosh用) を使うと、本機をパソコンに接続し、画像データをパソコンに伝送することができます。(別売のアクセサリーキットに入っているAVワンタッチステーションも必要です)

パソコン静止画キットには、デジカム連動のソフト「DVスタジオ2」が付いています。4つのソフトウェアがひとつになった統合ソフトです。



パソコン静止画キット  
VW-DTA2W

\*写真はWindows<sup>®</sup>95用です



### アルバム

静止画像を取り込み、アルバムとしてまとめます。(タイトルや日付などの情報を書き込むこともできます)

パソコン側からデジカムを制御することができます。(制御できない機能もあります)取り込んだ画像を他のソフトウェアで使えるように、いろいろなフォーマットに変換できます。

### レタッチ

取り込んだ画像を編集・加工(トリミング、変形、特殊効果など)することができます。

### レイアウト

画像や文字データを使って、自由にレイアウトしてオリジナルはがきなどを作ることができます。

### 住所録

あて名印刷と連動できる住所録を作成することができます。

- パソコンとの接続には、パソコン静止画キットに入っている専用のインターフェースアダプターを使います。

- デモモードを「切」にしてからお使いください。(P125)

- リピート再生(P51)になっていると、取り込み時に誤動作します。

- テープの途中に無記録部分がある場合は、誤動作することがあります。撮影時は、タイムコードがテープ始端から途切れずに記録されるようにしてください。(P144)

- 静止画を取り込む場合は、SPモードで撮影しておくことをおすすめします。

- 連写フォトショット画像(P38)は、フォトショット画像の自動取り込みはできません。

- 当社のデジタルビデオプリンターを使うと、取り込んだ画像をきれいにプリントすることができます。

- 再生の映像効果(P90)、再生ズーム画像(P92)、再生のタイトル画像(P102)は、取り込むことはできません。

### Windows<sup>®</sup>95でご使用の場合

80486以上のCPU搭載機種

Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup>95日本語版が動作するDOS/Vおよび

PC-9800シリーズパソコン

メモリー： 16MB以上  
(24MB以上を推奨)

ハードディスク： 50MB以上の空き容量  
(150MB以上を推奨)

CD-ROMドライブ(4倍速以上を推奨)  
640×480以上 256色以上  
(1024×768以上)

True Color(24bit以上)を推奨)  
RS232Cポート

D-sub 9ピン(DOS/Vの場合)  
25ピン(PC-9800シリーズ)

マウス

(MSPゴシックフォント、MSゴシックフォントがシステムにインストールされていないと文字が正しく表示されません。インストールされていない場合は、Windowsのマニュアルを参照してフォントをインストールしてください)

Windows<sup>®</sup>98動作確認済み

### Macintoshでご使用の場合

Power PC以上のCPU搭載機種

(OS漢字Talk7.5.3以降が動作するシステム)

メモリー： 32MB以上  
(64MB以上を推奨)

ハードディスク： 50MB以上の空き容量  
(150MB以上を推奨)

CD-ROMドライブ(4倍速以上を推奨)  
グラフィック表示： 約1670万色以上を推奨  
(256色でも動作可能)

シリアルポート(ミニDIN8ピン)  
マウス

(Quick Time 2.1以上がインストールされていないと動作しません)

Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの商標です。

Macintosh、漢字TalkはApple Computer Inc.の登録商標または商標です。

その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

実際のメニュー操作は  
34ページをお読みください。

## メニュー画面の表示

### 撮影系メニュー画面

| メニュー       |     |          |  |
|------------|-----|----------|--|
| ① デジタルセッティ | オート | 入        | 切                                      |
| ② テプレホセイ   | 切   | 入        |  |
| ③ デジタルズーム  | 切   | 40倍      | 150倍                                   |
| ④ デジタルキノウ  | 切   | マルチ&コガメン | ワイプ<br>ミックス ストロボ コウカンド<br>キセキ モザイク ミラー |
| ⑤ デジタルコウカ  | 切   | ネガポジ     | モノトーン アート                              |
| まえのメニューに戻る |     |          |  |

戻る時はメニューボタン

| デジタルセッティ   |     |          |  |
|------------|-----|----------|--|
| プログレッシブ    | オート | 入        | 切                                      |
| テプレホセイ     | 切   | 入        |  |
| デジタルズーム    | 切   | 40倍      | 150倍                                   |
| デジタルキノウ    | 切   | マルチ&コガメン | ワイプ<br>ミックス ストロボ コウカンド<br>キセキ モザイク ミラー |
| デジタルコウカ    | 切   | ネガポジ     | モノトーン アート                              |
| まえのメニューに戻る |     |          |  |

| メモリキロク     |       |            |
|------------|-------|------------|
| メモリショット    | フィールド | フレーム       |
| メモリガシツ     | ファイン  | ノーマル エコノミー |
| タイトル作成     | しない   | する         |
| まえのメニューに戻る |       |            |

| マルチ&コガメン   |         |         |
|------------|---------|---------|
| マルチモード     | ストロボ    | マニュアル   |
| ストロボソクド    | ハヤイ     | ツヅク オソイ |
| スイングモード    | 切       | 入       |
| コガメンイチ     | 1 2 3 4 |         |
| まえのメニューに戻る |         |         |

- ① プログレッシブ (P40)  
「入」または「オート」にすると高画質の静止画が撮れます。
- ② テプレホセイ (P46)  
「入」にすると手ぶれを抑えてくれます。
- ③ デジタルズーム (P42)  
40倍と150倍が選択可能です。「切」にするとデジタルズーム機能を解除します。
- ④ デジタルキノウ (P72 ~ 81)  
デジタル機能を選択します。「切」にすると、デジタル機能を解除します。
- ⑤ デジタルコウカ (P72)  
デジタル効果を選択します。「切」にするとデジタル効果を解除します。
- ⑥ メモリショット (P96)  
カードフォトショットをするときのモードを選択します。
- ⑦ メモリガシツ (P96)  
カードフォトショットの画質を選択します。選択によって、1枚のカードに記録できる画像の数が違います。
- ⑧ タイトル作成 (P104)  
タイトルを作るときに選択します。
- ⑨ マルチモード (P78、80)  
マルチモードを選択します。
- ⑩ ストロボソクド (P78)  
ストロボ マルチモードのストロボ速度を選択します。
- ⑪ スイングモード (P79)  
「入」にすると「ストロボ」時に中間部分が速く、前後がゆるやかになります。
- ⑫ コガメンイチ (P77)  
子画面の表示位置を選択します。

## パソコンでカードのメモリー画像を使うときは

別売のPCカードアダプター/VW-MAP1を使うと、マルチメディアカードの画像をPCカード Standard 準拠/PCカード Type カードスロット搭載のパソコンで見ることができます。

使用方法については、パソコン、PCカードアダプターの説明書をお読みください。

### マルチメディアカードのデータについて

メモリー画像やタイトル画像を記録したマルチメディアカードをパソコンに入れると、以下の3つのフォルダーが表示されます。

「Im01cdpf」：メモリー画像がJPEG形式で記録されています。(Img0001.jpgなど)  
JPEG画像対応のレタッチソフトなどで開くことができます。

「Misc」：メモリー画像に設定されたDPOFデータのファイル(P108)が入っています。  
「Title」：プリセットタイトル(Pre00001.ttlなど)やオリジナルタイトル(Usr00001.jpg、Usr00001.ttlなど)のデータが入っています。

本機で記録した画像データなどは、パソコン上で削除せず、本機で削除するようにしてください。

画像データをパソコンなどにコピーすると、パソコンなどで編集、加工することができます。(編集、加工後のデータは本機で再生できなくなります)

パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機ではそのデータを認識することはできません。

対応OSはWindows®98、Windows®95、Mac OS(漢字Talk7.5以降)\*です。

\*PC Exchangeで対応

Windowsは米国Microsoft Corporationの、Mac OSはApple Computer Inc.の登録商標または商標です。

その他の名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

## 使い終わったら

ビデオカメラを使い終わったら、以下の手順の後、別売のソフトケースなどに入れて保管することをおすすめします。

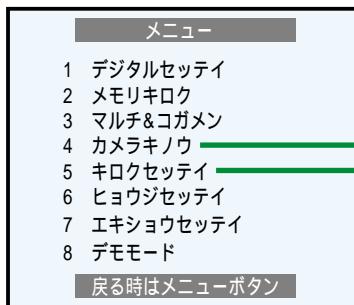
- ① 液晶モニターを閉じる
- ② カセットを出す (P26)
- ③ 電源を「切」にする (P29)
- ④ マルチメディアカードを取り出す (P95)
- ⑤ バッテリー (DCコード) を外す (P23)
- ⑥ レンズキャップを付ける (P32)

マルチメディアカードは必ず電源を「切」にしてから取り出してください。

# メニュー画面の表示(つづき)

実際のメニュー操作は  
34ページをお読みください。

## 撮影系メニュー画面



**カメラキノウ**

- ⑬ AEセッティ 切 ● ●
- ⑭ ワイドモード 切 シネマ
- ⑮ シャッターコウカ 切 入
- ⑯ ショウメイ写真 切 パスポート

まえのメニューに戻る

**キロクセッティ**

- ⑰ キロクモード SP LP
- ⑱ 音声キロク 12 bit 16 bit
- ⑲ 風音低減 切 入
- ⑳ リモコン VTR1 VTR2 切
- ㉑ シーンインデックス 日付 2ジカン
- ㉒ サツエイランプ 切 入
- ㉓ おしさせブザー 切 入

まえのメニューに戻る

## ⑬ AEセッティ (P68)

AE設定をします。「切」にするとAE設定を解除します。

## ⑭ ワイドモード (P44)

「シネマ」にするとシネマモードになります。

## ⑮ シャッターコウカ (P38)

「入」にすると、テープフォトショット時にカメラのシャッターのような効果になります。また連写フォトショットができるようになります。(連写フォトショットは「プログレッシブ」が「切」の時だけです)

## ⑯ ショウメイ写真 (P48)

証明写真の枠の大きさを選択することができます。

## ⑰ キロクモード (P44)

SP : 通常の記録モード

LP : SPモードの1.5倍の記録モード。  
例えば、60分テープでは、90分記録できます。

## ⑯ 音声キロク (P142)

12bit : 音声を12bit、32kHz、4トラックで録音します。  
16bit : 音声を16bit 48kHz、2トラックの高音質で録音します。

## ⑰ 風音低減 (P46)

風がマイクにあたる音を低減します。ただし、低域の音質が少し悪くなります。

## ⑱ リモコン (P31)

VTR1 : VTR1用に設定されたリモコンの操作を受け付けます。  
VTR2 : VTR2用に設定されたリモコンの操作を受け付けます。  
切 : リモコン操作を受け付けません。

## ⑲ シーンインデックス (P61)

日付 : 撮影終了後、日付が変わった後の最初の撮影のシーンにインデックス信号を入れます。  
2ジカン : 撮影終了後、2時間経過した後の最初の撮影のシーンにインデックス信号を入れます。

## ㉑ サツエイランプ (P37)

「入」にすると、撮影時に撮影お知らせランプが点灯します。

## 撮影系メニュー画面



## カメラキノウ

## キロクセッティ

## ヒョウジセッティ

## エキショウセッティ

## デモモード

## ㉓ おしさせブザー (P127)

「入」にすると、警告表示時などにブザーが鳴ります。

## ㉔ ガメンヒョウジ (P130)

液晶モニターまたはファインダーに表示される情報を切り替えます。

## ㉕ カウンタリセット (P145)

「する」にすると、(リニア)カウンターの値がゼロになります。

## ㉖ 日時ヒョウジ (P51)

画面に日付、日時を表示させます。

## ㉗ 日時セッティ (P129)

「する」にすると、年月日、時刻設定画面になります。

## ㉘ タイメンモード (P49)

ミラー : 対面撮影時、液晶モニターの映像が左右反転します。

ノーマル : 対面撮影時、液晶モニターの映像は左右反転しません。

## ㉙ バックライト (P128)

ヒョウジュン : 液晶モニターの明るさを標準にします。

アカルイ : 液晶モニターを明るくします。

## ㉚ LCD/VFチョウセイ (P128)

「する」にすると、ファインダーと液晶モニターの画面調整メニューが表示されます。

## ㉛ デモモード

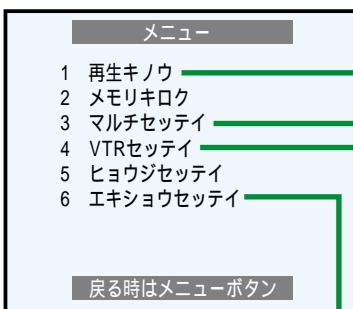
撮影モードで、カセットが入っていないときに、本機の機能が紹介されます。

「スタンバイ/入」にして、メニュー画面表示を消すと、デモが始まります。ボタンを押すなどするとデモが中断されますが、約3分以上操作しなければデモは再開します。「スタンバイ/入」設定時は、電源を入れ、撮影モードにして約10分間なにも操作しない場合に、デモが始まります。

テープを入れるか、デモモードを「切」にすると、デモモードは停止します。通常は「切」にしてお使いください。

# メニュー画面の表示 (つづき)

## 再生系メニュー画面



2 メモリキロク  
5 ヒヨウジセッティ  
および、その他の同じ名前の設定項目は撮影メニューと同じです。



### ③② エイゾウコウカ (P82~91)

映像効果を選択します。  
「切」にすると、映像効果を解除します。

### ③③ ジドウプリント (P116)

ビデオプリンターとつないだときに「する」  
にすると、自動プリントを実行します。

### ③④ ブランクサーチ (P58)

「する」にすると、テープの未記録部分を  
さがします。

### ③⑤ マルチモード (P82~89)

マルチモードを選択します。

### ③⑥ アタマダシ (P60、86)

頭出し機能やインデックスマルチモード機能を使ったときの動作を設定します。

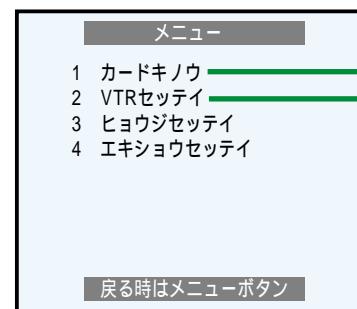
フォト：フォトインデックス信号の入り  
の画像の頭出し(取り込み)

シーン：場面の頭出し(取り込み)

### ③⑦ 12bit 音声 (P110、142)

12bit音声モードでアフレコしたときの再生音声を選択します。  
ステレオ1：元の音声を再生します。  
ステレオ2：アフレコ音声を再生します。  
ミックス：元の音声とアフレコ音声を同時に再生します。

## カード再生系メニュー画面



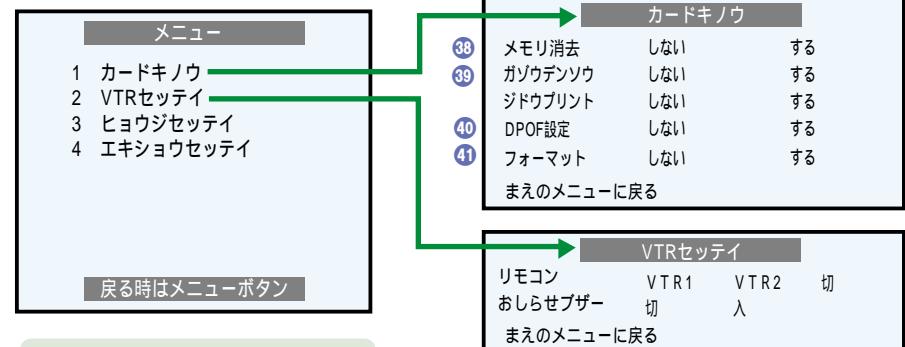
### 3 ヒヨウジセッティ

は撮影メニューと同じです。

### 4 エキショウセッティ

は再生メニューと同じです。

および、その他の同じ名前の設定項目は撮影メニュー、再生メニューと同じです。



### ③⑧ メモリ消去 (P106)

「する」にするとカードの画像を消去する画面になります。

### ③⑨ ガゾウデンソウ (P100)

「する」にすると、カードに記録されているメモリー画像をすべてテープに記録します。

### ③⑩ DPOF設定 (P108)

プリントしたい画像の枚数などをデータとして書き込みます。

### ③⑪ フォーマット (P94)

カードを初期化します。  
(プリセットタイトルも含めてカード内のすべてのデータが消去されます)

### お知らせブザーについて (P125)

「おしらせブザー」が「入」時には、下記の場合にブザーが鳴ります。

| ブザー音               | ビデオカメラの状態   |
|--------------------|---|
| 「ピッ」               | 撮影開始時や電源を「切」から撮影モードにしたときに鳴ります。  |
| 「ピピッ」              | 撮影の一時停止時に鳴ります。  |
| 「ピッ、ピッ…」<br>と連続10回 | カセットやカードが入っていないかたり、誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れたとき、つゆつきが起こったときなどに鳴ります。<br>画面に文章表示が出ますので、内容を確認してください (P133) |

## ● 液晶モニター/ファインダーを調整するときは

「エキショウセッティ」メニューで「LCD/VFチョウセイ」を「する」に設定すると、下図のように8段階のバー表示が出来ます。

### LCDアカルサ

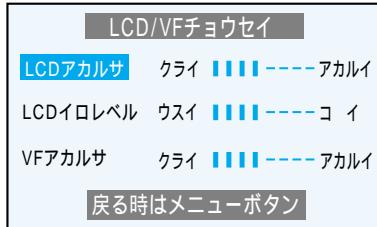
画面の明るさ調整します。右にするほど明るくなります。

### LCDイロレベル

画面の色の濃さを調整します。右にするほど濃くなります。

### VFアカルサ

ファインダーの明るさを調整します。右にするほど明るくなります。



\* LCDは液晶モニターのことで、  
リキッドクリスタルディスプレイ  
Liquid Crystal Displayの略です。  
またVFはファインダーのこと  
で、View Finderの略です。

- 1 押して、調整したい項目を選ぶ



押すごとに、項目が変わります。

- 2 回して、調整する



回すと、バー表示が変わります。

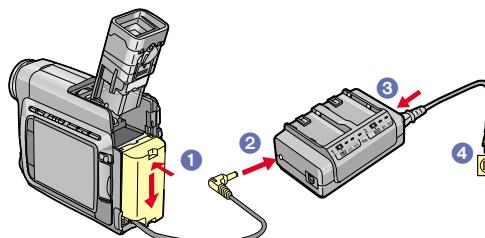
リモコン使用時は、項目ボタンで選択、設定ボタンで調整します。設定ボタンを押し続けると、バー表示が変わります。

液晶モニター全体を明るくする  
「エキショウセッティ」メニューで「バックライト」を「アカルイ」に設定すると、液晶モニターが明るくなります。

液晶モニター、ファインダーの調整内容は、実際に録画される画像には影響しません。

## ● 内蔵日付用電池を充電するときは

年月日、時刻は、内蔵電池を使って記憶させています。電源を入れたときに、「」表示が出ると、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。充電完了後、日時を設定してください(右記参照)



- 1 本機にACアダプターVW-AD9(別売)をつなぐ(P24)
- 2 本機の電源は「切」にしておく
- 3 約4時間、そのままの状態にしておく  
内蔵電池が充電されます。

## ● 年月日、時刻を合わせるときは

「ヒョウジセッティ」メニューの「日時セッティ」を「する」に設定すると、以下の画面が表示されます。(P34)



時間は誤差が生じますので撮影前に時間が合っているか確認してください。また「」表示が出ている場合、内部電池を充電後、日時を設定してください。(左記参照)  
年の変わりかた  
1990 1991 … 2089

1990 時間は24時間表示です。

例えば、1999年10月15日12時30分に合わせるには



# ファインダー / 液晶モニターの表示



## ①バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ、  
[■■■] [■■■] [■■■] [■■] [■] と変わります。容量が無くなると、  
[■] ([■]) が点滅します。  
(ACアダプター使用時に[■]が表示さ  
れる場合がありますが、問題ありません)

## ②撮影時間モード表示 (P44)

撮影時間モードの表示が出ます。

SP : 標準モード  
LP : 長時間モード

## ③カウンター・タイムコード表示

カウンタ値、メモリー機能、タイムコード値の表示が出ます。

表示の切換えかた

「ヒョウジセッティ」メニューの「ガメンヒョウジ」設定 (P34) によって、表示が変わります。

カウンタ : 0:00.00

カウンタメモリ : M0:00.00

タイムコード : 0h00m00s00f

切 : テープ走行状態、警告、日付表示など以外は消えます。

## ④インデックス表示 (P61)

INDEX : シーンインデックス信号記録時に表示が数秒間点滅します。

サーチ番号 (P61)

S 1 : シーンサーチのときに何番目のシーンを頭出しおけるかを番号表示します。

## ⑤テープ走行状態表示

- サツエイ : 撮影中 (P36)
- テイシ : 撮影の一時停止中 (P36)
- > : 再生 (P50) カメラサーチ (送り) (P58)
- < : カメラサーチ (戻し) (P58)
- II : 静止画再生中 (P54)
- >> : 早送り/早送り再生 (P52)
- << : 巻戻し/巻戻し再生 (P52)
- >>/<< : スロー再生/逆スロー再生 (P54)
- >>/<<II : 正方向コマ送り/逆方向コマ送り (P54)
- >><< : 正方向頭出し/逆方向頭出し (P60)
- チェック : 撮影の確認中 (P36)
- アフレコ> : アフレコ中 (P110)
- アフレコII : アフレコ一時停止中 (P110)
- フォト : テープフォトショット撮影中 (P38)
- ブランク : ブランクサーチ (P58)
- 2x>> : 可变速サーチ中 (P52)
- R> : リピート再生中 (P51)
- : 録画 (デジタルダビング) 中 (P114)

## ⑥テープ残量表示

テープ残量を分単位で表示します。  
(3分未満は点滅表示)  
15秒以下の撮影では残量表示が出ないか、または正確に出ないことがあります。  
実際のテープ残量より2~3分少ない表示が出る場合があります。

## ⑦デジタルキノウ表示 (P72)

撮影モードのときにデジタル機能を設定すると表示が出ます。

## デジタルコウカ表示 (P72)

撮影モードのときにデジタル効果を設定すると表示が出ます。

## デジタルズーム表示 (P42)

デジタルズーム機能を設定すると表示が出ます。

## エイゾウコウカ表示 (P90)

再生モードのときに映像効果を設定すると表示が出ます。

## 再生ズーム表示 (P92)

再生ズーム時に倍率と表示が出ます。

## ⑧年月日、時刻表示 (P51)

時間は24時間表示です。

## ⑨ズーム倍率表示 (P42)

ズーム操作をするとズームの倍率表示とバー表示が出ます。

## マニュアル表示 (P62~69)

MNL : マニュアル時に「MNL」が出ます。オート時は表示しません。

## 手ぶれ補正表示 (P46)

([■]) : 「デジタルセッティ」メニューで「テプレホセイ」を「入」に設定すると、手ぶれ補正の表示が出ます。

## 音声記録モード表示 (P110、142)

12bit/16bit :  
再生時には録音されたときの音声記録モードの表示が出ます。

## ジドウプリント表示 (P116)

自動プリント機能使用時に表示が出ます。

## ⑩電子シャッター速度表示 (P66)

電子シャッター機能で、シャッター速度を設定すると表示が出ます。

## ⑪F値表示 (P66)

絞り値を調整すると絞り値 (F値) が表示されます。

## ゲイン表示 (P66)

絞り値 (F値) が開放「OP+0dB」以降になると、ゲイン調整になります。

## ⑫マルチモード表示 (P78~89)

マルチモードの表示が出ます。

## ⑬カード (メモリー) 画像表示

(P94~109)

残20枚 : カードフォトショットの残り枚数 (残り0枚で赤色点滅となります)

E : エコノミー画質モード

N : ノーマル画質モード

F : ファイン画質モード

(カード再生時のE、N、F表示は記録画像のデータ量を表しているため、記録時のメモリー画質設定と必ずしも一致しません)

[ ] : カードフォトショットモード

[ ] : カードフォトショット中

[ ] : カードなし

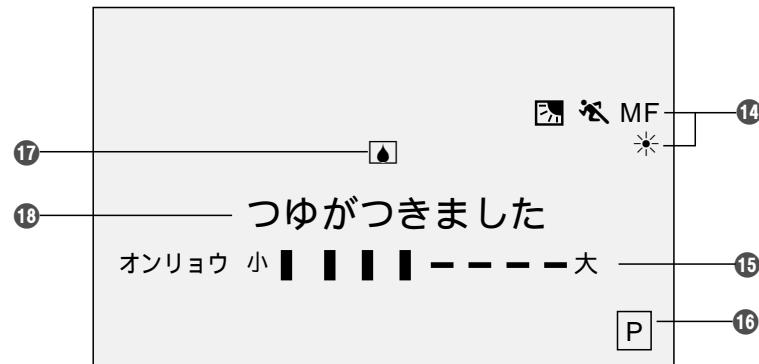
[ ] : カードにアクセス中

No.00 : メモリー画像のデータ番号

00枚 : DPOF設定枚数

: DPOF設定済み  
(1枚以上に設定)

# ファインダー / 液晶モニターの表示 (つづき)



- ⑭ マニュアルフォーカス表示 (P62)  
マニュアルフォーカス時に「MF」表示が出ます。  
オート時は表示しません。
- 白バランス表示 (P64)  
白バランスを設定すると、以下の表示が出ます。
- △ : 室内 (白熱電球) モード
  - \* : 屋外モード
  - ※ : 蛍光灯モード
  - : セットモード
- オート時は、「AWB」と表示されます。
- AEモード表示 (P68)  
AEモードを選択すると表示が出ます。
- ▲ : スポーツモード
  - : ポートレートモード
  - ◆ : ローライトモード
  - ◎ : スポットライトモード
  - △△ : サーフ＆スノーモード
- 逆光補正表示 (P62)  
▽ : 逆光補正機能が働いていると表示が出ます。
- ⑮ 音量表示 (P50)  
内蔵スピーカーの音量を調整するときに表示が出ます。  
再生時に音量表示バーが出るまでマルチプッシュダイヤルを押します。  
ダイヤルを回して音量を調整します。

- ⑯ プログレッシブ表示 (P40)  
プログレッシブ機能が使えるときに表示されます。
- \*ミラーモードの対面撮影時には、これらの表示は出ません。バッテリー残量表示、撮影中の「」表示、撮影の一時停止中の「■」、カーフォトショットマーク「□」のみ表示されます。
- ⑰ 確認表示  
以下のマークが点滅または点灯しているときは、ビデオカメラの状態を確認してください。
- △ : つゆつきが起こったとき (P138)
  - ◎ : 誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れたとき (P27)
  - : 内蔵日付用電池が消耗したとき (P128)
  - カセットなし : カセットが入っていないとき
  - ヘッドよごれ : ヘッドがよごれているとき (P138)
  - テープおわり : 撮影中にテープが終端になったとき
  - リモコン : リモコンの設定が合っていないとき (P31)

## ⑯ 文章表示

確認内容を文章で表示します。

「つゆがつきました」  
「カセットを取りだしてください」が交互点滅  
つゆつきが起こっています。カセットを取り出してしばらくお待ちください。 (P138)

「バッテリーを取りかえてください」  
バッテリー容量がなくなっています。  
十分に充電したバッテリーと交換してください。 (P22)

「カセットを入れてください」  
カセットが入っていません。 (P26)

「カセットを取りかえてください」  
テープの終端です。

「このカセットでは撮影できません」  
誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れて、撮影操作をしています。 (P27)

「このカセットでは録画できません」  
誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れて、アフレコや録画 (デジタルダビング) 操作をしています。 (P110, 114)

「リモコンのセッティをカクニンしてください」  
リモコンの設定が合っていません。  
(P31)

電源を入れて、最初のリモコン操作のときだけ表示されます。

「再生できません」  
再生不能のテープかメモリー画像です。 (P50, 98) または、ヘッドがよごれています。 (P138)

「このカセットは使えません」  
未対応のテープです。

「LP記録部のため録画できません」  
LPモードで撮影したテープに、アフレコ操作をしています。 (P110, 145)

「コピーガードあり ただし録画できません」  
著作権保護の信号 (コピーガード) が入っている映像を録画しています。 (P114)

「プリンターエラー」  
プリンターの接続が正しくないか、プリンター側に問題があります。 (P116)

「このカードは使えません」  
未対応のカードです。

「カードを入れてください」  
カードが入っていません。 (P94)

「タイトルがありません」  
タイトル画像が記録されていません。 (P102)

「メモリ記録はできません」  
カードのメモリーが不足しています。  
オリジナルタイトルやメモリー画像を消すか、新しいカードを入れてください。

「メモリ記録がありません」  
カードにメモリー画像が記録されていません。

メモリー画像が記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。一度電源を入れ直してください。

「ヘッドをクリーニングしてください」  
ヘッドがよごれています。ヘッドをクリーニングしてください。 (P138)

# 撮影のテクニックガイド

## 照明について

なるべく太陽を背にして撮影してください。逆光では被写体が暗く撮影されます。海辺やスキー場など周囲が明るすぎ、人物が暗いときはAE設定を「サーフ&スノー」(P68)にして撮影してください。また全体が明るすぎるときはNDフィルター/VW-LND30(別売)を使うのも効果的です。

屋内で撮影するときは屋内の照明に合わせた白バランスモード(P64)を選んでください。

## 撮影場面に合わせた設定例

以下の設定はあくまでやすです。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。

大切な撮影の前にはどの設定でどのように撮れるか試しておきましょう。

## 披露宴、舞台、発表会の撮影

白バランス：場面ごとに白バランス  
(P64)

スポットライトが当たっている場所ではAE設定(P68)を「スポットライト」にすることをおすすめします。



## 運動会の撮影

白バランス：オートモード  
フォーカス：マニュアル  
近距離でお子様の動きが速い場合は、オートフォーカスでは、ピントが合わなくなることがあります。マニュアルフォーカスで撮ることをおすすめします。(P62)



## 夜景や花火の撮影

白バランス：屋外モード  
フォーカス：マニュアル

## ゴルフスイングのフォームなど、動きの速いシーンの撮影

AE設定：スポーツ  
白バランス：オートモード  
フォーカス：マニュアル

## 動きの速い場面を撮影するときのめやすとなるシャッター速度

バレー・ボールの試合の撮影：

1/100~1/350

ジェットコースター撮影：

1/500~1/1000

ゴルフやテニスのスイング撮影：

1/500~1/2000



# 使用上のお願い

## ビデオカメラについて

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

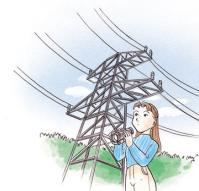
テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声の乱れことがあります。

スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。

マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、画像や音声の乱れことがあります。

本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプターを一度外してからあらためて接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない



近くで撮ると、電波や高電圧の影響で、撮影映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする  
また海水などでぬらさないようにする



砂やほこりは、本機やテープの故障につながります。(カセット、カードの出し入れ時はお気を付けください)

万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、その後かわいた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落したり、ぶつけたりしない  
強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障します。

お手入れの際は、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない

お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、電源プラグをコンセントから抜いておきます。

溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装のはげるおそれがあります。

本機は、やわらかい、かわいた布でほこりをふいてください。よごれがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞ってよごれをふき、かわいた布で仕上げてください。

化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

監視用など業務用として使わない  
長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。  
本機は業務用ではありません。

# 使用上のお願い(つづき)

## バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

## 使用後は、必ずバッテリーを外す

付けたままにしておくと、ビデオカメラの電源が「切」であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。

## 出かけるときは余分のバッテリーを準備する

撮影したい時間の3~4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。(P140)

## バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取る

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

端子部が変形したまま本体やACアダプターに付けると、本体やACアダプター側をいためます。

- 使用後は、必ずカセットを取り出し、バッテリーを外す、または、電源プラグをコンセントから抜く

バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度：15 ~ 25 ℃、推奨湿度：40% ~ 60%です)

極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。長期間保管する場合、1年に1回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。

## 不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

加熱や火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。

バッテリーには、寿命があります。

- 不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



- 使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ詳しくは社団法人電池工業会にご確認ください。

電話：03-3434-0261

ホームページ：

<http://www.hi-ho.ne.jp/bajapan/>  
または、お買い上げの販売店へ

- 使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

## カセットについて

使用後は、必ずカセットを始端まで巻き戻し、取り出して保管する

カセットをビデオカメラに入れたまにしたり、テープを途中で止めた状態で半年以上(保管状態により異なります)置いておくとテープがたるみ、いたみます。

半年に一度テープを巻き直ししてください。テープを一年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度による膨張、収縮などでゆがみが起きことがあります。またテープどうしがはりついてしまうことがあります。

カセットはケースに入れ、立てて保管してください。

ほこりや直射日光(紫外線)、湿気などでテープをいためます。このようなテープを使用すると、本機やヘッドをいためるおそれがあります。必ずケースに入れてください。

## カセットに強い磁気を近づけない

磁石を使った器具(磁気ネックレスやおもちゃなど)は、思ったより磁気が強く、大切な撮影内容を消したり、ノイズを増やす原因となります。

## マルチメディアカードについて

マルチメディアカードにアクセス中は、マルチメディアカードを引き抜いたり、電源を切らない

また振動や衝撃を与えない

マルチメディアカードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない、

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動をあたえない

カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。

- 使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

使用後や保管時、持ち運びの時は付属の収納ケースに入れてください。カード裏の接続端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また、手などで触れないでください。

## 液晶モニターについて

液晶面がよごれたときは、付属の液晶クリーナーでふいてください。

温度差が激しいところでは、液晶モニターにつぶが付くことがあります。やわらかい、かわいた布でふいてください。

寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯(赤、青、緑色)するものがあります。これは不良ではなく、また録画には支障ありません。

## ファインダーについて

ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯(赤、青、緑色)するものがあります。これは不良ではなく、また録画には支障ありません。

## 定期点検のお願い

美しい画像をご覧いただくために、使用環境(温度、湿度、ほこり)などによって異なりますが、およそ使用1000時間を目安に清掃、ヘッドなどの摩耗部品を交換されることをおすすめします。

ヘッドのよごれについては138ページをお読みください。

## つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機やカセット（テープ）に起こった場合が「つゆつき」です。

つゆつきが起こっていると撮影できなくなります。つゆつきを起こさない注意と、起こったときの注意を正しく守ってください。

### つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだとき。  
冷房のきいた車などから車外へ出したとき  
寒い部屋を急に暖房したとき

エアコンなどの冷風がデジタルビデオカメラに直接当たっていたとき  
湯気がたち込めるなど湿度の高いところ

### つゆつきが起こった場合の処置

つゆつきが起こっているときに電源を入れると、ファインダーや液晶モニターにつゆつきマークが点滅します。約1分間経過すると、自動的に電源が切れます。以下の処置をしてください。

#### 1 カセットを出す

その他の機能は働きません。つゆつきの状態によっては、カセットが出せない場合があります。この場合は、2~3時間待ってから出してください。

#### 2 2~3時間後、電源を入れて、つゆつき表示が消えているかどうかを確かめる

消えていても念のために1時間ほど待ってから使ってください。

つゆつきが始まってから10~15分間は、つゆつき表示が出ない場合があります。

特に温度が低い寒冷地では、つゆが凍結し、しもになることがあります。このような場合、つゆつき表示が出るまでさらに2~3時間ほどかかることがあります。

## ヘッドよごれについて



ヘッドがよごれていれば、上のようないい像になります。



さらによごれると画面全体が青一色になります。

ヘッド（テープが密着する部分）がよごれていれば、撮影時に「ヘッドをクリーニングしてください」と表示されます。また、再生時に部分的にモザイク状のノイズが出たり画面全体が青一色になります。（上図参照）

よごれがひどくなると、正常に撮影や再生ができなくなりますので、ヘッドをクリーニングしてください。

ヘッドよごれが起こった場合、別売のデジタルビデオ用ヘッドクリーナー／VFK1449S（サービスルート扱い）で、ヘッドをクリーニングしてください。ヘッドクリーナーのご使用方法についてはヘッドクリーナーの説明書をお読みください。

ヘッドをクリーニングしても、再びヘッドよごれが発生した場合は、テープに起因している可能性がありますので、このテープのご使用を避けてください。パナソニック製テープのご使用をおすすめします。

### ヘッドよごれが発生する原因

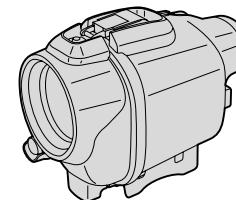
高温・多湿な環境  
長時間の使用  
テープの傷  
空気中のほこり

### レンズがくもっているときの処置のしかた

電源スイッチを「切」にし、1時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

## オールウェザーパック/レンズフード/ごみ取りカバーについて

オールウェザーパック/VW-SPDS9（別売）に本機を装着して使うときは



テープフォトショット機能を使う場合（P38）

- 1 テープ/カード選択スイッチを「テープ」側にする
- 2 電源を「撮影」にし、撮影ランプが点灯しているのを確認してから、オールウェザーパックに装着する
- 3 オールウェザーパック側で電源を切る

カードフォトショット機能を使う場合（P96）

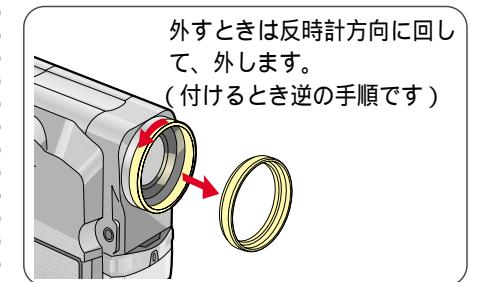
- 1 本機の電源を「切」にしておく
- 2 マルチメディアカードを本機に入れる
- 3 テープ/カード選択スイッチを「カード」側にする
- 4 電源を「撮影」にし、撮影ランプが点灯しているのを確認してから、オールウェザーパックに装着する
- 5 オールウェザーパック側で電源を切る

テープ、バッテリーを装着し、本機のモードの設定などもしておいてください。

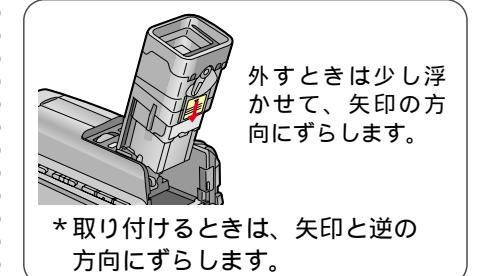
使用方法など、詳しくはオールウェザーパックの説明書をお読みください。

レンズフードについて  
テレコンバージョンレンズVW-LT3014（別売）やワイドコンバージョンレンズVW-LW3007（別売）、MCプロテクターVW-LMC30（別売）、NDフィルターVW-LND30（別売）を付けるときは、レンズフードを外してから取り付けてください。

NDフィルターとテレコンバージョンレンズなどを2枚重ねて取り付けたり、ズームをW側にすると、四隅が暗く（ケラレ）なる場合があります。レンズフードの上には、別のレンズなどを付けることができない構造になっていますので、何も付けないでください。



ごみ取りカバーについて  
ファインダーの中のごみを取りたいときは、ごみ取りカバーを外して、ごみを取り除いてください。ごみが取りにくいときは、水で少し湿らせた綿棒などで取り除いてください。その後、かわいた綿棒などでふいてください。



つゆつき/ヘッドよごれ/オールウェザーパック/レンズフード/ごみ取りカバーについて

便利な情報

# ● 海外で使うときは

撮ったものを海外で見るには

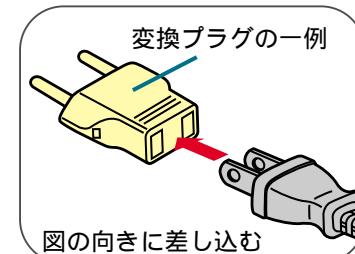
テレビに接続して見る場合、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）の映像／音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

日本と同じNTSC方式を採用している国、地域

アメリカ合衆国、アンチグア・バーブーダ、スリナム、イエメン（一部地域）、英領バーミューダ諸島、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム島、グレナダ、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント・グレナディーン諸島、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ共和国、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、フィジー、フィリピン、エルトリコ、米領サモア、ベトナム（一部地域）、ベネズエラ、ベリーズ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、マーシャル諸島、マリアナ諸島、ミクロネシア連邦、ミャンマー、メキシコ

ACアダプター（別売）を海外で使用するには

ACアダプターは、自動で全世界の電源電圧（100V、120V、220V、240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に旅行先のプラグ形状を確かめ、その国、地域に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。



海外の電源コンセントの形状と変換プラグ一覧（地域別の表は次ページ）

| タイプ   | A    | B | BF | C | S |
|-------|------|---|----|---|---|
| 形状    |      |   |    |   |   |
| 変換プラグ | 不要です |   |    |   |   |

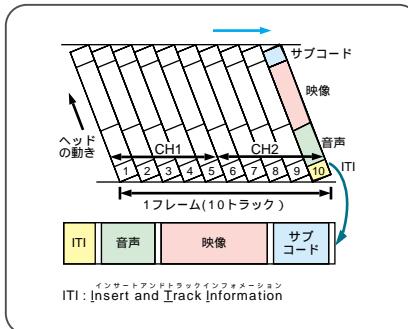
本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

主な国、地域と変換プラグ一覧

| 北米          |          |         |        |          |        |
|-------------|----------|---------|--------|----------|--------|
| カナダ         | A        | アメリカ合衆国 | A      |          |        |
| ヨーロッパ・旧ソ連地域 |          |         |        |          |        |
| アイスランド      | C        | ノルウェー   | C      | アイルランド   | C      |
| ハンガリー       | C        | イギリス    | B.BF   | フィンランド   | C      |
| イタリア        | C        | フランス    | C      | オーストリア   | C      |
| ベルギー        | C        | ギリシャ    | C      | ポーランド    | B.C    |
| オランダ        | C        | ポルトガル   | B.C    | スイス      | B.C    |
| ルーマニア       | C        | スウェーデン  | C      | ロシア      | C      |
| スペイン        | A.C      | ウクライナ   | C      | デンマーク    | C      |
| ベラルーシ       | C        | ドイツ     | C      | カザフスタン   | C      |
| アジア         |          |         |        |          |        |
| インド         | B.C      | モルジブ    | B      | インドネシア   | B.C    |
| バングラデシュ     | C        | シンガポール  | B.BF   | フィリピン    | A.C.S  |
| タイ          | A.B.F.C  | ベトナム    | A.C    | 大韓民国     | A.B.C  |
| 香港特別行政区     | B.BF     | スリランカ   | B      | マカオ      | B.C    |
| 中華人民共和国     | A.B.BF.C | マレーシア   | B.BF.C | ネパール     | C      |
| モンゴル        | C        | パキスタン   | B.C    | 台湾       | A      |
| オセアニア       |          |         |        |          |        |
| オーストラリア     | S        | トンガ     | S      | グアム島     | A      |
| ニュージーランド    | S        | タヒチ     | C      | フィジー     | S      |
| 中南米         |          |         |        |          |        |
| アルゼンチン      | B.F.C    | バハマ     | A      | コロンビア    | A      |
| エルトリコ       | A        | ジャマイカ   | A      | ブラジル     | A.C    |
| チリ          | B.C      | ベネズエラ   | A      | ハイチ      | A      |
| ペルー         | A.C      | パナマ     | A      | メキシコ     | A      |
| 中東          |          |         |        |          |        |
| イスラエル       | C        | クウェート   | B.C    | イラン      | C      |
| ヨルダン        | B.BF     |         |        |          |        |
| アフリカ        |          |         |        |          |        |
| アルジェリア      | A.B.BF   | ザンビア    | B.BF   | エジプト     | B.BF.C |
| タンザニア       | B.BF     | カナリア諸島  | C      | 南アフリカ共和国 | B.C    |
| ギニア         | C        | モザンビーク  | C      | ケニア      | B.C    |
| モロッコ        | C        |         |        |          |        |

## デジタルビデオ

デジタルビデオは、映像や音声をデジタル信号に変換し、テープに記録します。デジタル信号で記録すると画質や音質の劣化の少ない記録・再生が可能になります。



## 特長

高解像度、高S/N比  
色のにじみが少ない(広帯域)、安定した画面  
ダビング劣化が少ない  
PCM音声  
LPモードでも画質劣化しない  
タイムコード編集

S-VHS (VHS) カセットとの互換性について  
デジタルビデオは、デジタル信号を記録しているため、アナログ信号を記録しているS-VHSビデオやVHSビデオとは互換性がありません。

出力信号の互換性について  
映像・音声出力端子からの信号は、従来の信号と同じ信号なので、テレビやビデオで再生画を見ることができます。

## ピーシーエム

PCM音声について  
本機の音声サンプリング周波数は、  
16bit 48kHz 2トラック  
12bit 32kHz 4トラック  
の2種類を選択して記録することができます。  
16bit 48kHz 2トラックでは、高音質で記録することができます。  
アフレコする場合に撮影時の音声を残したいときは12bit 32kHz 4トラックで撮影してください。16bit 48kHz 2トラックでアフレコすると撮影時の音声は消去されます。

## サブコードについて

デジタルビデオの記録方式は、テープ上にサブコードという領域を確保し使用することができます。  
(左図参照)  
本機では、このサブコード領域に、  
タイムコード  
撮影時の年月日 / 時刻  
インデックス信号  
などを記録しています。

## オートフォーカス

オートフォーカス機能はレンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせています。

オートフォーカスは、以下のような特性があります。

被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する  
よりコントラストの強いものに焦点を合わせようとする  
画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンではオートフォーカスはうまく働きません。マニュアルフォーカス (P62) で撮影してください。

### ①遠くと近くのものを撮る

画面の中央に焦点が合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。  
遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

### ②よごれたガラスの向こうのものを撮る

よごれたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

### ③キラキラと光るものがある

キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。  
海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

### ④暗い場所を撮る

レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

### ⑤動きの速いものを撮る

機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。例えば、激しく動き回る子どもを撮るときはピントがぼけることがあります。

### ⑥コントラストの少ないものを撮る

コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

## 白バランス (ホワイトバランス)

ビデオカメラで撮影すると光源の影響を受け青っぽく撮れたり、赤っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起らないようにホワイトバランスという調整をします。

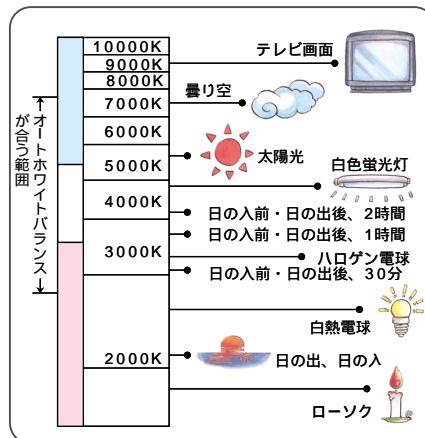
ホワイトバランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識することによって、その他の色のバランスを調整します。白色はすべての色(光)の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

## オートホワイトバランス

本機には数種類の光源の下での白色情報があらかじめ記憶されています。

撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサー (P17) とレンズからの情報によって判断し、記憶されているホワイトバランスの中から最も近いものを選びます。この機能のことをオートホワイトバランスといいます。

しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶させていないので、それ以外の光源の下での撮影では、ホワイトバランスが正常に働きません。



オートホワイトバランスが働く範囲は、上の通りです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、上図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。その場合、白バランス (P64) を調整してください。

## タイムコード

タイムコードとは、撮影 (録画) したテープ上に記録される時間データのことで、時、分、秒、フレーム (1秒は約30フレーム) で表されます。タイムコードは撮影と同時に記録されているので、撮影した映像のテープ上での絶対位置を知ることができます。

- ・新しい(何も記録されていない)カセットを入れると、タイムコードはゼロから始まります。
- ・途中まで記録されているカセットを入れると、そこから続けてタイムコードが記録されます。(カセットそう入時はゼロの表示が出ることがあります、撮影を始めると続きの値から表示します)

ただし、テープの途中に無記録部分があると、タイムコードは再びゼロから記録され始めます。その結果、テープを後で編集する場合に誤動作の原因となります。したがって本機で撮影するときは、記録部分がとぎれないように、カメラサーチ (P58) やブランクサーチ (P58) をすることをおすすめします。

タイムコードは、リセットできません。通常再生時以外では、タイムコードが表示されない(または、不正確になる)ことがあります。

タイムコードに対応した編集コントローラーを使って編集をすると、正確な編集が可能になります。

## カウンター表示

撮影や再生の経過時間を表示するためのものです。

カウンター表示は、自由にリセット(カウンター表示を0:00.00に戻す)することができます。したがって、撮影や再生を始めた位置でリセットしておけば、その時点からの経過時間を表示することができます。しかしタイムコードのように映像のテープ上での絶対位置を知ることはできません。

カウンターをリセットするには「ヒョウジセッティ」メニューの「カウンタリセット」を「する」に設定します。(P34)

## メモリー機能

メモリー機能を使うと、以下のことができます。

テープを任意の位置まで巻き戻す(早送りする)

①「ヒョウジセッティ」メニューの「ガメンヒョウジ」を「カウンタメモリ」にする(P34)

②後で戻りたい場面で、「ヒョウジセッティ」メニューの「カウンタリセット」を「する」にする

③再生や撮影をする

④電源スイッチを「再生」にする

⑤巻戻しまたは早送り操作をする  
カウンターをリセットした位置付近で自動的にテープ走行が停止します。

アフレコ時に、自動的に編集を停止させる

①アフレコを終了させたいところで静止画再生する

②「ヒョウジセッティ」メニューの「ガメンヒョウジ」を「カウンタメモリ」にする

③「ヒョウジセッティ」メニューの「カウンタリセット」を「する」にする

④アフレコを開始したい位置まで戻り、静止画再生する

⑤アフレコを開始する  
カウンターをリセットした位置で、自動的にアフレコが停止します。

## LPモード

LPモード (P44) では、SP (標準) モードの1.5倍の時間記録することができます。

デジタルビデオでは、LPモードで撮っても画質は劣化しませんが、以下のことに気を付けください。

他のデジタルビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズが出る場合があります。

LPモードのないデジタルビデオ機器では、正常な再生とはなりません。  
アフレコ (P110) はできません。

本機の性能を十分に生かすために当社の「LPモード」表示テープを使用することをおすすめします。

# 用語解説 (つづき)

## プログレッシブ機能

フォトショット撮影をしたときや、デジタル静止画機能を使ったときに、よりきれいな静止画を撮る機能です。

通常、  
単板式CCDビデオカメラの静止画は、フィールド静止画と呼ばれるもので、フレーム静止画に比べると、垂直解像度が約半分になり、きめ細かい静止画にはなりません。

(2つのフィールドで1フレームになります)

ビデオカメラの場合、動いている物を撮影しますので、通常は2つのフィールドに記録される画像は、それぞれ別のが記録されることになります。

そのまま2つのフィールドの映像を、フレーム単位の静止画にすると、ずれのある画像になります。

そこで、  
本機のフレーム静止画機能は、ずれのない高画質な静止画を撮影するために、  
・絞りをシャッター動作させ、  
・フィールドメモリーを2個搭載し、  
制御しています。

実際には、  
1 フォトショットボタンを押す  
(または静止画ボタンを押す)  
2 瞬間に、絞りを閉じ、次の映像がレンズから入ってこないようにする  
3 同じ画像データを2つのフィールドメモリーに記憶する  
といった動作をします。

その成果として、  
2つのフィールドにそれぞれ同じ映像を記録し、フレーム映像にするのでフィールド画像に比べると約1.5倍の解像度になり、しかもずれがありません。

プログレッシブ機能について  
本機では、プログレッシブ機能を使って、フォトショットボタンを押したり、静止画ボタンを押すと、フレーム静止画になります。

フレーム静止画で撮った映像は、ビデオプリンターでプリントしたときや、パソコンに画像を取り込むときに、きめの細かい画像が楽しめます。

## マルチメディアカード

本機で静止画を撮る場合、テープの他に、マルチメディアカード(付属)にも記録することができます。

マルチメディアカードは小型、軽量な外部メモリーとして使い勝手がよいため、デジタルスチルカメラ、PDA(Personal Digital Assistantの略です)などの次世代の記憶メディアとして期待されています。

## その特長は

重さ2g以下、寸法32×24×1.4mm  
別売のPCカードアダプター/VW-MAP1の使用で、パソコンに画像データを容易に取り込める

などがあります。

付属のマルチメディアカード以外に、別売のマルチメディアカード/VW-MMT4(4MB)、VW-MMT8(8MB)があります。各カードには、いろいろなタイトル(プリセットタイトル)が収録されています。

# 故障?と思ったら (Q & A)

## 電源関係

Q1 : 電源が入らない。

A1-1 : バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。(P22, 24)

A1-2 : バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。(P22)

Q2 : 電源が勝手に切れる。

A2 : バッテリーの消耗やテープの摩耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が5分以上続くと、自動的に電源が切れます。(P37)

Q3 : 電源が入ってもすぐに切れる。

A3-1 : バッテリーが消耗していないですか。バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。(P22)

A3-2 : つゆつきになってしまいかねませんか。寒いところから暖かいところにビデオカメラを持ち込んだときなど、内部につゆつきが発生することがあります。この場合は、自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつきがなくなるまでお待ちください。(P138)

## バッテリー関係

Q1 : バッテリーの消耗が早い。

A1-1 : 十分に充電されていますか。ACアダプターで充電してください。(P22)

A1-2 : 低い温度のところで使っていますか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用時間が短くなります。(P136)

A1-3 : バッテリーが寿命になっていますか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。(P136)

## 記録モード関係

Q1 : 編集、デジタルビデオ機器からのダビング、別売のパソコン静止画キットの「DVスタジオ2」の使用時に誤動作する。

A1-1 : 同じテープ上に、

- ・SPとLP(記録モード)
- ・12bitと16bit(音声記録モード)
- ・ノーマルとワイド
- ・記録部分と無記録部分

などモードが混在して記録されていると、モードの切り換わるところで誤動作することがあります。編集などをする場合、モードが混在しないように記録してください。

A1-2 : 連写フォトショット撮影した画像を「DVスタジオ2」で自動取り込みしようとしたが、連写フォトショットの画像は自動では取り込めませんでした。(P38)

# 故障?と思ったら ( Q & A )(つづき)

## 撮影関係

通常撮影時

Q1 : 電源、カセットを正しく入れているのに撮影できません。

A1-1 : カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている(SAVE側になっている)と撮影できません。(P27)

A1-2 : カセットのテープ終端(テープの一番最後)になってしまいかねます。新しいテープに交換してください。(P26)

A1-3 : 電源スイッチを「撮影」にしていますか。「再生」、「カード再生」になっているときは撮影できません。(P36)

A1-4 : つゆつきになってしまいかねます。つゆつき時は、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつきがなくなるまでお待ちください。(P138)

Q2 : 画面が急に変わった。

A2 : デモが始まったのではないですか。デモモードを「スタンバイ/入」に設定し、カセットを入れずに電源スイッチを「撮影」にするとデモモードになります。通常は「切」にしてお使いください。(P125)

## いろいろな撮影時

Q1 : 映像が止ままっている。

A1-1 : フォトショットボタンを押しませんでしたか。フォトショットボタンを押すと、約7秒間、静止画撮影します。約7秒後に撮影の一時停止状態に戻ります。(P38)

A1-2 : 静止画ボタンを押しませんでしたか。静止画ボタンを押すと撮っている映像が静止画になります。(P38)

もう一度(「マルチ&コガメン」設定時は2回)静止画ボタンを押すと、元に戻ります。

A1-3 : マルチ画面ボタンを押しませんでしたか。マルチ画面ボタンを押すと、マルチ画面となります。マルチ画面表示時にもう一度ポンと押すと、元に戻ります。

Q2 : 自動でピントが合わない。

A2-1 : マニュアルフォーカスモードになってしまいかねます。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。

A2-2 : オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。(P143)この場合はマニュアルフォーカスモードで手動でピントを合わせることができます。(P62)

A2-3 : デジタル機能を「コウカンド」に設定していませんか。「コウカンド」にすると、フォーカスはマニュアルになります。(P72)

## 編集関係

Q1 : アフレコができない。

A1-1 : カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている(SAVE側になっている)と編集できません。(P27)

A1-2 : LPモードで撮影した部分にアフレコしようとしていませんか。LPモードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。(P145)

## 表示関係

Q1 : タイムコード表示がおかしくなる。

A1 : 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないことがあります。故障ではありません。

Q2 : テープ残量表示が消える。

A2 : フォトショット撮影、コマ送り、マルチモード画面表示(ストロボ)などをすると、一時的にテープ残量表示が消える場合があります。

通常の撮影や再生を続けると元に戻ります。

Q3 : テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない。

A3-1 : 約15秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。

A3-2 : 実際のテープ残量より約2~3分少ない表示が出る場合があります。

Q4 : 機能表示(モード表示、残量表示、カウンター表示など)が出ない。

A4 : メニューの「ガメンヒョウジ」が「切」になっていると、液晶モニターやファインダーのテープ走行状態、警告、日付表示など以外は消えます。

## 再生関係(映像)

Q1 : 早送り再生、巻戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。

A1 : デジタル特有の現象です。故障ではありません。

Q2 : テレビと正しく接続しているのに再生画像が出ない。

A2 : テレビの入力切換えがビデオ入力になっていますか。テレビの説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。

Q3 : 再生画像がきれいに映らない。

A3-1 : 本機のヘッドがよごれていますか。ヘッドがよごれていると、再生画像がきれいに映りません。別売のデジタルビデオ用ヘッドクリーナーを使ってヘッドを清掃してください。(P138)

A3-2 : 映像/音声コードの端子部がよごれていると、画面にノイズが入ることがあります。やわらかい布でよごれをふき取ってからAV出力端子に接続してください。

A3-3 : 著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像を録画していませんか。このカセットを本機で再生すると、映像がモザイクになります。

## 再生関係(音声)

Q1 : 本機のスピーカーから再生音声が出ない。

A1 : 本機の音量調整が小さくなりすぎていますか。再生時にマルチプッシュダイヤルを押し続けて、音量調整表示を出し、ダイヤルを回すと、音量を調整することができます。(P50)

故障?  
と思ったら

便利な情報

# 故障?と思ったら ( Q & A )(つづき)

Q2 : 音声が重なって聞こえる。  
 A2 : 「VTR セッティ」メニューの「12bit音声」を「ミックス」に設定していませんか。「音声キロク」モードを「12bit」にして撮影したテープにアフレコ編集すると、撮影時の音声と後から録音した音声を同時に重ねて聞くことができます。また、それぞれを別々に聞くこともできます。(P110)

Q3 : アフレコすると元の音声が消えてしまった。  
 A3 : 16bitモードで撮影した部分にアフレコすると元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に12bitモードで撮影してください。(P110)

Q4 : テレビ、本機のスピーカーとも再生音が出ない。  
 A4-1 : アフレコしていないのにステレオ2にしていますか。アフレコしていない場合は、ステレオ1に切り換えてください。(P110)

A4-2 : 可变速サーチになつていませんか。可变速サーチ中は音声は出ません。再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。(P52)

Q5 : 再生音に「カチッ」音が録音されている。  
 A5 : 撮影中にプログレッシブフォトショットやプログレッシブ静止画にすると、本機から「カチッ」音がし、この音がテープに録音されてしまいます。撮影の一時停止中にプログレッシブフォトショットやプログレッシブ静止画にした場合は、「カチッ」音は録音されません。(P40)

## カード関係

Q1 : メモリー画像がきれいに記録されない。  
 A1 : 「メモリキロク」メニューの「メモリガシツ」を「エコノミー」にして、細かいものを記録していませんか。「エコノミー」で細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。「ノーマル」または「ファイン」にして、記録してください。(P96)

Q2 : メモリー画像を再生すると、カードフォトショット時に設定したものと異なるメモリー画質が表示される。

A2 : 記録時と再生時のメモリー画質表示は一致しないことがあります。(P99)

Q3 : カードフォトショットをしていないのに「残0枚」と表示され、記録できない。

A3 : オリジナルタイトルを作りすぎていませんか。オリジナルタイトルを作ると、メモリーが消費され、その分カードフォトショットできる枚数が少なくなります。いらなくなつたタイトル、メモリー画像を消すか、新しいカードを入れてください。(P94、106)

Q4 : カードのメモリー画像がおかしい

A4 : 画像のデータが壊れているおそれがあります。カードの画像データは静電気や電磁波で壊れることができます。大切な画像は、テープやパソコンなどにも記録するようにしてください。

Q5 : メモリー画像の再生中に「×」マークが表示される

A5 : 形式の異なる画像や壊れた画像を再生しています。(P98)

Q6 : カードをフォーマットしても使えるようにならない

A6 : 本機、またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

## その他

Q1 : カセットの取り出しができない。

A1-1 : 電源の供給はされていますか。ACアダプターやバッテリーが正しく入っていますか。電源が供給されていると、電源スイッチを入れなくてもカセットを取り出すことができます。(P26)

A1-2 : 放電したバッテリーを使用していませんか。バッテリーを充電してから取り出してください。

A1-3 : グリップベルトがひつかかっていると、カセットが出ないときがあります。(P26)

Q2 : カセットの取り出し操作以外何もできない。

A2 : つゆつきになつていませんか。つゆつきになっていると、自動的に電源が切れ、カセット取り出しあります。(P26)

外の操作はできなくなります。つゆつきがなくなるまで待ってください。(P138)

Q3 : リモコンが働かない。

A3-1 : リモコンのボタン電池が消耗していますか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、ボタン電池が消耗しています。新しいボタン電池と交換してください。(P30)

A3-2 : リモコンの設定は合っていますか。リモコンと本機の「リモコン」設定が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。電源を入れた後の最初の操作時の「リモコンのセッティをカクニンしてください」のメッセージが表示されます。(P31、133)

## 自己診断表示機能

本機は異常を知らせる自己診断機能があります。

液晶モニターまたはファインダーに表示(サービス番号)が出ますので、異常と思われる場合は、電源を一度「切」にし、再び「入」にしてください。それでも表示が消えないときは下表を参考に対応してください。

| 異常表示                      | 本機の状態         | 対応のしかた   |
|---------------------------|---------------|--|
| U10                       | つゆつきが起こっています。 | 表示が消えるまで待つ(P138)                                   |
| U11                       | ヘッドがよごれています。  | ヘッドをクリーニングする(P138)                                 |
| F01・F02<br>F03・F04<br>F05 | 異常と思われます。     | カセットの出し入れ操作をしてください。(P26)それでも表示が消えないときは、修理をご依頼ください。 |
| F31・F51・F52               | 異常と思われます。     | 修理をご依頼ください。  |

本機の状態によって、異常表示の番号は変わります。修理をご依頼の際には異常表示の番号(サービス番号)をお知らせください。

(例えば、F01と出ている場合は「F01」とお知らせください)

F01～F52の異常表示が出た場合、上記処置を行ってもその表示が消えないときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理ご相談窓口へご依頼ください。お客様での修理は、ご遠慮ください。

# 仕様

デジタルビデオカメラ

電 源 DC 7.9/7.2 V  
消費電力 録画時4.3 W (ファインダー使用時) 5.1 W (液晶使用時明るさ:標準)

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 信号方式                               | NTSC日米標準信号方式   |
| 録画方式                               | Mini DV方式 (民生用デジタルVCR SD仕様)  |
| 使用テープ                              | 6.35ミリ幅デジタルビデオテープ  |
| 録画時間                               | 最大80分 (SP) 120分 (LP) (DVM80 使用時)   |
| テープ速度                              | SP時: 18.812 mm/秒 LP時: 12.555 mm/秒  |
| 映像記録方式                             | デジタルコンポーネント記録  |
| 音声記録方式                             | PCMデジタル記録: 16 bit (48 kHz/2ch) 12bit (32 kHz/4ch)  |
| 撮像素子                               | CCD 固体撮像素子 (有効画素31万画素、総画素48万画素)  |
| レンズ                                | 自動絞り15倍電動ズームF1.8 (f=3.7~55.5 mm) マクロ付き (フルレンジAF)   |
| 早送り・巻き戻し                           | 約2分20秒 (DVM60 使用時)   |
| フィルター径                             | 30.5 mm  |
| ズーム                                | 光学15倍・デジタル40倍・スーパーデジタル150倍   |
| モニター                               | 2.5型液晶モニター (20万画素)   |
| ファインダー                             | 電子カラービューファインダー   |
| マイク                                | ステレオマイクロホン   |
| スピーカー                              | 20 mm 丸形1個   |
| 白バランス調整                            | 自動追尾ホワイトバランス方式   |
| 標準被写体照度                            | 1400ルクス  |
| 最低照度                               | 9ルクス   |
| 映像出力                               | 1 Vp-p 75  |
| S映像出力*                             | Y出力: 1 Vp-p 75 C出力: 0.286 Vp-p 75  |
| 音声出力                               | 316 mV 600   |
| ヘッドホン出力*                           | 32 mV 32 (ステレオ: M3ジャック)  |
| デジタル静止画                            | デジタル静止画出力、制御信号入出力 (転送レート: 最大115 kbps)  |
| マイク入力                              | -70 dBV 600 適合マイク(ステレオ: M3ジャック)  |
| デジタルインターフェース DV入出力端子 (i.LINK、4pin) |  |
| 外形寸法                               | 幅47×高さ94×奥行き129 mm   |
| 本体質量                               | 約490 g   |
| 使用時質量                              | 約630 g (バッテリー: VW-VBD33、テープ: AY-DVM60E使用時)<br>約570 g (バッテリー: VW-VBD21、テープ: AY-DVM60E使用時)<br>約610 g (バッテリー: VW-VBD22、テープ: AY-DVM60E使用時)<br>約710 g (バッテリー: VW-VBD25、テープ: AY-DVM60E使用時) |
| 推奨使用温度                             | 0 ~ 40   |
| 許容相対湿度                             | 10% ~ 80%  |
| バッテリー持続時間                          | 23ページを参照してください。  |
| メモリー機能                             |  |
| 記憶メディア                             | マルチメディアカード   |
| 画像圧縮方式                             | JPEG準拠   |
| 記録枚数                               | ファイン: 約25枚、ノーマル: 約50枚、エコノミー: 約100枚<br>(付属のマルチメディアカード(4MB)使用の場合)<br>ファイン、ノーマル、エコノミーが混在している場合記録枚数が変わります。   |

152 \*マークの端子は別売のアクセサリーキットに同梱のAVワンタッチステーションについています。

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!  
その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書をそえてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、デジタルビデオカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター

パナは 365日  
**0120-878-365**

フリーダイヤル (料金無料) 365日 / 受付9時~20時

International Customer Care Center  
ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)  
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)(つづき)

| ナショナル / パナソニック 修理ご相談窓口                     |   |  |
|--|---|--|
| 北海道地区                                      |   |  |
| 札幌 ☎ (011)894-1251<br>札幌市厚別区厚別<br>南2丁目17-7 | 帯広 ☎ (0155)33-8477<br>帯広市西19条南<br>1丁目7-11 | 函館 ☎ (0138)48-6631<br>函館市西桔梗<br>589番地241<br>(函館流通卸<br>センター内) |
| 旭川 ☎ (0166)31-6151<br>旭川市2条通<br>21丁目左1号    |   |  |

| 東北地区                                      |  |  |
|---|--|--|
| 青森 ☎ (0177)39-9712<br>青森市大字ハッ役<br>字矢作1-37 | 岩手 ☎ (019)639-5120<br>盛岡市羽場13地割<br>30-3    | 山形 ☎ (023)641-8100<br>山形市流通センター<br>3丁目12-2 |
| 秋田 ☎ (018)826-1600<br>秋田市御所野湯本<br>2丁目1-2  | 宮城 ☎ (022)375-2512<br>仙台市泉区市名坂<br>字清水端59-2 | 福島 ☎ (0243)34-1301<br>福島県安達郡本宮町<br>字南/内65  |

| 首都圏地区                                    |   |   |
|--|---|---|
| 栃木 ☎ (028)632-8450<br>宇都宮市中央<br>1丁目8-13  | 埼玉 ☎ (048)728-8960<br>桶川市赤堀2丁目<br>4-2   | 東京 ☎ (03)5477-9780<br>東京都世田谷区<br>宮坂2丁目26-17 |
| 群馬 ☎ (027)352-1217<br>高崎市萩原町沖中<br>205-18 | 千葉 ☎ (043)208-6011<br>千葉市中央区<br>星久喜町172 | 山梨 ☎ (0552)22-5171<br>甲府市下飯田<br>2丁目1-27     |
| 水戸 ☎ (029)225-0119<br>水戸市柳河町309-2        | 船橋 ☎ (047)334-5111<br>船橋市本中山<br>6丁目11-7 | 神奈川 ☎ (045)847-9720<br>横浜市港南区日野<br>5丁目3-16  |
| つくば ☎ (0298)64-8090<br>つくば市花畠<br>2丁目8-1  | 柏 ☎ (0471)63-8905<br>柏市北柏1丁目6-6         | 新潟 ☎ (025)286-7725<br>新潟市東明1丁目<br>8-14      |

| 中部地区  |   |  |
|---|---|--|
| 石川 ☎ (076)294-2683<br>石川県石川郡<br>野々市町稻荷<br>3丁目80 | 長野 ☎ (0263)58-0073<br>松本市大字笠置<br>7600-7   | 岡崎 ☎ (0564)55-5719<br>岡崎市岡町南久保28             |
| 富山 ☎ (0764)32-8705<br>富山市寺島1298                 | 静岡 ☎ (054)287-9000<br>静岡市西島765            | 岐阜 ☎ (058)323-6010<br>岐阜県本巣郡北方町<br>高屋太子2丁目30 |
| 福井 ☎ (0776)54-5606<br>福井市開発4丁目<br>112           | 名古屋 ☎ (052)819-0225<br>名古屋市瑞穂区<br>塩入町8-10 | 高山 ☎ (0577)33-0613<br>高山市花岡町3丁目82            |
|   |   | 三重 ☎ (059)255-1380<br>久居市森町字北谷<br>1920-3     |

| 近畿地区                                      |  |  |
|---|--|--|
| 滋賀 ☎ (077)582-5021<br>守山市勝部町<br>6丁目2-1    | 大阪 ☎ (06)6359-6225<br>大阪市北区本庄西<br>1丁目1-7 | 和歌山 ☎ (0734)75-1311<br>和歌山市中島<br>499-1     |
| 京都 ☎ (075)672-9636<br>京都市南区上鳥羽<br>石橋町20-1 | 奈良 ☎ (0743)59-2770<br>大和郡山市椎木町<br>404-2  | 兵庫 ☎ (078)272-6645<br>神戸市中央区<br>琴/緒町3丁目2-6 |

| 中国地区                                     |  |   |
|--|--|---|
| 鳥取 ☎ (0857)26-9695<br>鳥取市安長295-1         | 出雲 ☎ (0853)21-3133<br>出雲市渡橋町416          | 広島 ☎ (082)295-5011<br>広島市西区南觀音<br>8丁目13-20        |
| 米子 ☎ (0859)34-2129<br>米子市米原4丁目<br>2-33   | 浜田 ☎ (0855)22-6629<br>浜田市下府町<br>327-93   | 山口 ☎ (0839)86-4050<br>山口市鑄銭司<br>字鑄銭司団地北<br>447-23 |
| 松江 ☎ (0852)23-1128<br>松江市西津田2丁目<br>10-19 | 岡山 ☎ (086)292-1162<br>岡山県都窪郡早島町<br>矢尾807 |   |

| 四国地区  |   |  |
|---|---|--|
| 香川 ☎ (087)868-9477<br>高松市勅使町<br>152-2       | 高知 ☎ (0888)66-3142<br>南国市岡豊町中島<br>331-1 | 愛媛 ☎ (089)971-2144<br>松山市土居田町<br>750-2 |
| 徳島 ☎ (0886)98-1125<br>徳島県板野郡北島町<br>鷲浜字かや108 |   |  |

| 九州地区                                      |   |   |
|---|---|---|
| 福岡 ☎ (092)593-9036<br>春日市春日公園<br>3丁目48    | 大分 ☎ (097)556-3815<br>大分市萩原4丁目<br>8-35      | 天草 ☎ (0969)22-3125<br>本渡市港町18-11          |
| 佐賀 ☎ (0952)26-9151<br>佐賀市本庄町大字<br>本庄896-2 | 宮崎 ☎ (0985)85-6530<br>宮崎県宮崎郡清武町<br>下加納366-2 | 鹿児島 ☎ (099)250-5657<br>鹿児島市与次郎<br>1丁目5-33 |
| 長崎 ☎ (095)830-1658<br>長崎市東町1949-1         | 熊本 ☎ (096)367-6067<br>熊本市健軍本町<br>12-3       | 大島 ☎ (0997)53-5101<br>名瀬市矢之脇町<br>10-5     |

| 沖縄地区               |               |  |
|--------------------|---------------|--|
| 沖縄 ☎ (098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |  |

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0199

# 索引 (アイウエオ順)

## ア行

- アフレコ (P110) 再生  
 映像効果 (P90) 再生  
 液晶モニター (P28)  
 お知らせブザー (P127)  
 オートフォーカス (P143) 撮影  
 音量調整 (P50) 再生

## 力行

- カード再生 (P98) カード再生  
 可変速サーチ (P52) 再生  
 カメラサーチ (P58) 撮影  
 画像消去 (P106) カード再生  
 画像伝送 (P100) カード再生  
 逆光補正 (P62) 撮影  
 ゲイン (P66) 撮影  
 広角 (P42) 撮影  
 子画面P in P機能 (P76) 撮影  
 誤消去防止つまみ (P27) 再生 撮影  
 コマ送り再生 (P54) 再生

## サ行

- サーチロック機能 (P53) 再生  
 サーフ＆スノーモード (P68) 撮影  
 再生映像効果 (P90) 再生  
 再生ズーム (P92) 再生  
 撮影チェック (P36) 撮影  
 シネマ (P44) 撮影  
 紋り (P66) 撮影  
 シャッター効果 (P38) 撮影  
 証明写真機能 (P48) 撮影

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

|          |           |       |       |
|----------|-----------|-------|-------|
| お買い上げ日   | 年   月   日 | 品 番   | NV-C5 |
| 販 售 店 名  |           | 1 ( ) |       |
| お客様ご相談窓口 |           | 1 ( ) |       |

松下電器産業株式会社

ビデオ事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

ビデオシステム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

- ジョグ再生 (P54) 再生  
 白バランス (P64) 撮影  
 ズーム/デジタルズーム (P42) 撮影  
 スポーツモード (P68) 撮影  
 スポットライトモード (P68) 撮影  
 スロー再生 (P54) 再生

## 夕行

- タイトルイン (P102) 再生 撮影  
カード再生  
 タイトル作成 (P104) 再生 撮影  
 タイムコード (P144)  
 対面撮影 (P48) 撮影  
 ダビング (P112, 114) 再生  
 つゆつき (P138) 撮影  
 デジタル機能/効果 (P72) 撮影  
 デジタル静止画 (P38) 撮影  
 手ぶれ補正 (P46) 撮影  
 電子シャッター (P66) 撮影

## ナ行

- 年月日、時刻の表示 (P51)  
 年月日、時刻を合わせる (P129)
- ハイパー・チェック (P53) 再生  
 フェード (P70) 撮影  
 フォーマット (P94) カード再生  
 フォトショット 再生 撮影  
 (P38, 96)  
 ブランクサーチ (P58) 再生  
 フレーム静止画 (P40) 撮影

- プログレッシブ機能 撮影  
 (P40, 146)  
 ヘッドよごれ (P138)  
 ポートレートモード (P68) 撮影

## マ行

- マクロ機能 (P43) 撮影  
 マニュアルフォーカス (P62) 撮影  
 マルチモード 再生 撮影  
 (P78 ~ 89)  
 メニュー (P34, 123)  
 メモリー機能 (P145) 再生

## ラ行

- リセット (P145) 再生 撮影  
 リモコン (P30)  
 連写フォトショット (P38) 撮影  
 ローライトモード (P68) 撮影

## アルファベット順

- エーシー  
 ACアダプター (P22 ~ 25)  
 エイ  
 AE設定 (P68) 撮影  
 ディーポフ  
 DPOF設定 (P108) カード再生  
 デーブ  
 DV端子 (P114, 118)  
 ピーシューム  
 PCM音声 (P142) 再生 撮影  
 エスピーグルビー  
 SP/LPモード 再生 撮影  
 (P44, 110, 145)

\* 再生 は再生モード、撮影 は撮影モード、カード再生 はカード再生モードのことです。

F0699K1069( 30000 C)

